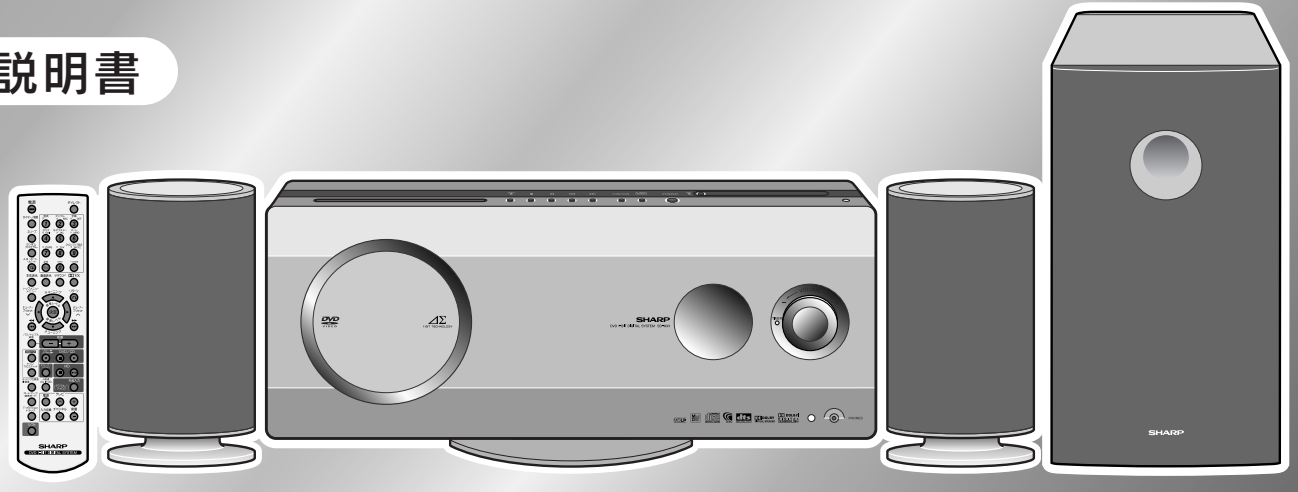
SHARP®

1-BIT TECHNOLOGY

DVD 1ビットデジタルシステム

形名 SD-MX1（エス ディー エム エックス）

取扱説明書



お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「**安全に正しくお使いいただくために**」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができるところに必ず保存してください。

DVD VIDEO™ COMPACT disc DIGITAL AUDIO AAC dts DIGITAL OUT DOLBY VIRTUAL SPEAKER DOLBY DIGITAL PRO LOGIC II Mini Disc MDLP

もくじ

1章 はじめに

ページ
安全に正しくお使いいただくために 4
おもな特長 8
著作権について 8
付属品について 9
各部のなまえ 10
ディスクについて 14

2章 使う前の準備

ページ
本体を設置する 16
スピーカーを設置する 17
システム接続コードを接続する 18
スピーカーを接続する 18
アンテナを接続する 19
テレビを接続する 20
電源コードを接続する 22
リモコンに乾電池を入れる 22
電源を入れる／表示部の明るさを変える 23
テレビに合った映像出力を選ぶ 24
音量や音質を調整する 26
時計を合わせる 27

3章 DVD(CD)やMDの再生・ラジオの聞きかた

ページ
DVD(CD)を再生する 28
MDを聞く 30
聞きたい曲から聞く 32
くり返して聞く 32
好きな曲だけを記憶させて聞く 33
順不同で聞く 33
ラジオ放送を聞く 34
放送局を登録する 35
DVDやCDの表示内容を切り換える 36
MDの表示内容を切り換える 38

4章 DVD(CD)のいろいろな再生

ページ
よく使う操作
早送り／早戻しをする 39
静止画／コマ送りで見る 39
スローモーションで見る 39
ディスクの中を選んで再生する 40
くり返して再生する・順不同で再生する 41
好きな順に再生する 42
DVD-RW（VRモード）ディスクを再生するとき ... 43
MP3・WMA・JPEGディスクを再生するとき 44

5章 DVDのいろいろな設定を変える

ページ
DVDを再生中にいろいろな設定を変える
字幕言語を変更する 45
音声言語（音声出力）を変更する 45
画像を明るくする 46
画質を変更する 46
アングルを変更する 46
画像を拡大表示する 47
ディスクのメニューから字幕や音声などを変更する ... 47
いろいろな音声を楽しむ 48
DVDやアンプの初期設定を変える 50

6章 MDへの録音

ページ
録音する前に、知っておいていただきたいこと 57
CDの1曲目からまるごと曲を録音する 58
CDの途中の曲番を選んで録音する 60
CDの好きな曲を登録して録音する 61
ラジオ放送を録音する 62
録音済みMDの先頭に録音する 64
DVDの音声を録音する 65
MDに録音した曲を消す 66

7章 MDのグループ録音・再生

ページ
グループに分けて録音する 67
グループ録音したMDを聞く 70

8章 MDの編集

ページ
録音したMDにタイトルをつける
ディスク名をつける 72
グループ名をつける 72
曲名をつける 73
MDのタイトルをメモして、他のMDにコピーする
タイトルをメモする 74
メモしたタイトルを他のMDにつける 74
入力したタイトルを消す
ディスク名を消去する 75
グループ名を消去する 75
曲名を消去する 75
録音したMDを編集する
2曲を1つにつなぐ 76
1曲を2つに分ける 76
曲を移動する 76
グループ録音したMDを編集する
グループを先頭に移動する 77
ノングループの曲をMDの最後に移動する 78
曲を別のグループに移動する 78
グループになっていない曲をグループにする 78
グループを作成する 79
グループを消去する 79
グループ情報を消去する 79

9章 便利な使いかた

ページ
タイマーについて 80
おやすみタイマーを使う 81
タイマー再生やタイマー録音を使う 82
タイマーの確認や解除、再設定のしかた 84
他の機器と接続して使う 85
他の機器の再生音を聞いたり、録音する 88
テレビを操作する 90
DVDプレーヤー部を壁にかけて使う 91

10章 ご参考

ページ
4倍速録音の制約について 92
MDのシステム上の制約 93
音楽著作権について 93
DVD・CDやMDの取り扱いについて 94
お手入れ・別売品について 95
「故障かな？」と思ったら 96
こんな表示が出たときは 98
屋外アンテナの接続 100
仕様 101
保証とアフターサービス 102
お客様ご相談窓口のご案内 103

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ 注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

この記号は
気をつける必要がある
ことを表しています。

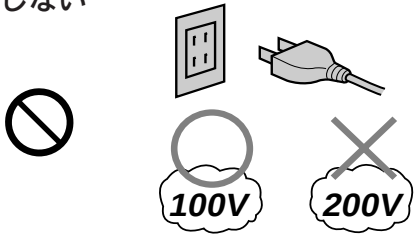
この記号は
してはいけないことを表しています。

この記号は
しなければならない
ことを表しています。

⚠ 警告

電源について

AC100V 以外の電源電圧では使用しない



火災・感電の原因となります。

外国では使用しない

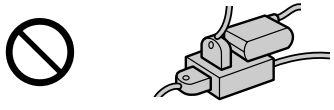
この製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用しないでください。
(This unit cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.)

電源コードについて

付属以外の電源コードは使用しない

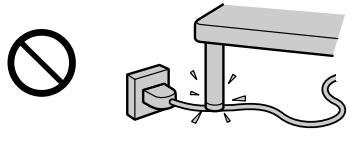
火災・感電の原因となります。

タコ足配線はしない



発熱により、火災の原因となります。

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したり、加工したり、重い物を乗せたりしない



電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたときは…
販売店に交換をご依頼ください

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

内部に物や水などを入れない

開口部（ディスク・MD の挿入口やスピーカーダクトなど）から金属類や燃えやすい物などを入れない

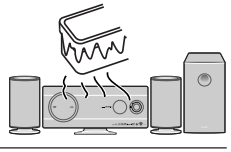
火災・感電・けがの原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

ディスク・MD の挿入口は上についていますので、誤ってコインなどが入らないように注意してください

火災・感電の原因となります。

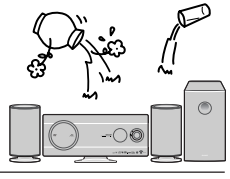
風呂場や雨にあたる所、湿気の多い所では使用しない

火災・感電の原因となります。



近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない

こぼれたり、中に入ると、火災・感電の原因となります。



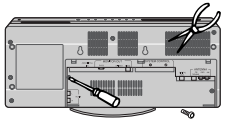
内部に水や異物などが入ったときは…

電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

キャビネットについて

キャビネットを開けたり、改造しない



火災・感電・けがの原因となります。
また、レーザー光が目に当たると目を痛める原因となります。
内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは…

電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください

異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

雷について

雷が鳴りだしたら…

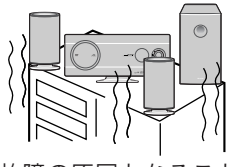
安全のため、製品にさわらないでください

感電の原因となります。

⚠注意

置き場所について

不安定な場所に置かない



落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。

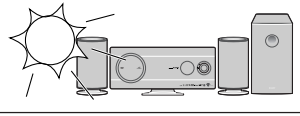
油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・事故の原因となることがあります。

冷気が直接吹きつける所や、極端に寒い場所に置かない

露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。

直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない



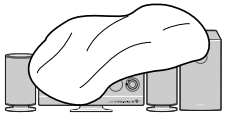
壁掛け等で使うときは

DVD プレーヤー部を壁にかけるときは取り付ける壁面に十分な強度があることを確認し、確実に取り付けてください。壁の強度不足や不安定な取り付けは、落下して、けがや故障の原因となります。またスピーカーにスタンドを取り付けるときは必ず指定のスタンドを使用してください。（☞ P.91、95）

⚠注意

ご使用について

風通しの悪い状態で使用しない
また、布や布団でおおったり、つつんだりしない



熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

この製品の上に物を置かない

キャビネットが変形して、火災・感電の原因となることがあります。

特殊なディスクについて

特殊形状（ハート型や八角形など）のディスクは使用しない

高速回転によりディスクが飛び出し、けがをするおそれがあります。

お手入れのときは

安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください

感電やけがの原因となることがあります。

電源コードの取り扱いについて

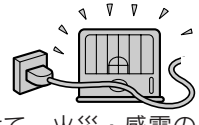
プラグを抜くときはコードを引っぱらない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手でプラグを抜き差ししない

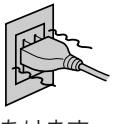
感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない



コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。

コンセントへの差し込みがぐらついていたり、プラグやコードが熱いときは使用を中止する



火災・感電の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは

安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください

移動するときは

電源を切り、電源コードやアンテナ線、接続コードを抜いてください

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

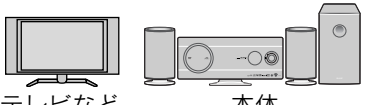
ヘッドホンで聞くときは

音量の設定に十分気をつける

思わぬ大音量がでて、耳を痛める原因となることがあります。
また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

機器の接続について

他の機器を接続するときは、指定のコードをお使いください。



接続するときは、必ず電源を切り、他の機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
また、付属のコードや指定以外のコードを使用すると、故障の原因になります。

外部アンテナの工事について

アンテナ工事には技術と経験が必要です。
また、高いところでの作業は危険です。
取り付ける場合は、販売店に相談してください。

⚠注意

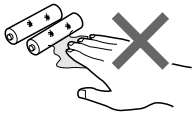
乾電池の取り扱いについて

乾電池は誤った使いかたをしますと、感電・破裂・発火の原因となることがあります。また、液もれをして機器を腐食させたり、手や衣類などを汚す原因にもなります。次の点に特に注意してください。

電池は幼児の手の届く所に置かない

電池を飲み込むと、窒息の原因や胃などに止まると大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

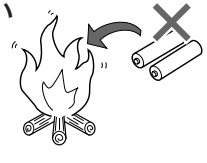
電池の液が漏れたときは素手で触らない



- 電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない また、乾電池は充電しない

電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



電池はプラス ⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

間違えると電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない 新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

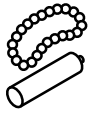
電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使いきったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

その他

- **水に濡らさない**
- **ハンダ付けしない**
- **金属小物（かぎ・装飾品・ネックレス・コイン等）といっしょにポケットやかばんなどに入れない**



- 大切な録音をする前に、あらかじめ試し録音をして、正常に録音されることを確かめてください。（CDからMDに試し録音をするときは、定速で録音してください。）
- 本機を使用中に、万一この製品の不具合により、録音されなかったとき、もしくは消去されたときの内容の補償については、ご容赦ください。
- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。（☞ P.103）
- お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。

おもな特長

高性能1ビットアンプ搭載

CDの128倍に相当する毎秒約560万回（5.6MHz）という高速サンプリングで、アナログ音声信号を1ビットのデジタル信号に変換することで、音声信号へのノイズ混入を抑えた増幅を実現し、迫力のある高音質で楽しめます。

高画質プログレッシブスキャン対応DVDプレーヤー

プログレッシブスキャン出力が可能なD2端子を装備していますので、プログレッシブスキャン対応テレビに接続すれば、チラツキの少ない映像が楽しめます。 （☞ P.25、53）

DVDプレーヤー部の置きかたを、縦置き、水平置き、壁掛けから選べる、スリムスタイルのニューデザイン

お部屋の雰囲気や設置場所に合わせて置きかたを選ぶことができます。 （☞ P.16、91）

CD → MD 4倍速録音＆充実した録音機能

CDからMDへ、4倍速で録音ができます。 （☞ P.58）

CDを再生中に好きな曲を選んで、あとから録音することができます。（マイトラックエディット） （☞ P.61）

MDのグループ録音・再生やMDLP対応

歌手やアルバムごとに、グループに分けて録音したり、グループを選んで再生することができます。 （☞ P.67、70）

高性能な圧縮・伸長処理により、1枚のMDに最大320分（80分ディスク使用時）まで録音することができます。 （☞ P.58）

テレビ操作も可能な多機能リモコン

多機能リモコンで本体以外にテレビも操作できます。 （☞ P.90）

著作権について

DVD 1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-MX1

- ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。
- ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画像は乱れます。
- 本機は、マクロビジョンコーポレーション等が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護テクノロジーを搭載しています。この著作権保護テクノロジーの使用にはマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、同社の認可がない限りは一般家庭および特定の視聴用に制限されています。
  解析（リバースエンジニアリング）または改造は禁止されています。

この製品は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

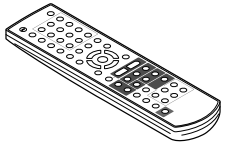
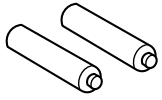
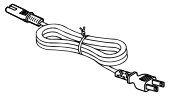
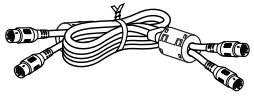
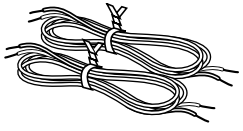
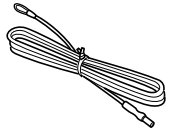
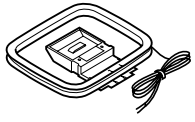
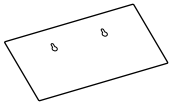
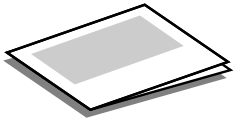
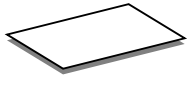
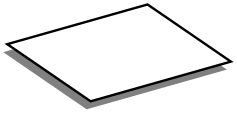
DTS、DTSデジタルアウトは、デジタルシアターシステムズ社の登録商標です。

AACは正式名称をMPEG-2 Advanced Audio Codingといい、MPEG-2仕様の一部として標準化された音声圧縮技術です。
以下が米国パテントナンバーです。

08/937,950	5 297 236	5,481,614	5,490,170
5848391	4,914,701	5,592,584	5,264,846
5,291,557	5,235,671	5,781,888	5,268,685
5,451,954	07/640,550	08/039,478	5,375,189
5 400 433	5,579,430	08/211,547	5,581,654
5,222,189	08/678,666	5,703,999	05-183,988
5,357,594	98/03037	08/557,046	5,548,574
5 752 225	97/02875	08/894,844	08/506,729
5,394,473	97/02874	5,299,238	08/576,495
5,583,962	98/03036	5,299,239	5,717,821
5,274,740	5,227,788	5,299,240	08/392,756
5,633,981	5,285,498	5,197,087	

付属品について

付属品がすべてそろっているか、お確かめください。

 **リモコン送信機×１**	 **単４乾電池×２**（リモコン送信機用）	 **電源コード×１**（コードの長さ：約1.5m）	 **システム接続用コード×１**（コードの長さ：約1.7m）
 **スピーカーコード×２**（コードの長さ：約4.8m）	**映像コード×１**（コードの長さ：約1.9m）	 **FM用アンテナ×１**	 **AM用ループアンテナ×１**（シールドワイヤータイプ）
 **型紙×１**（DVDプレーヤー部壁掛け用）	**ボタン名称シール×１**	 **取扱説明書**（本書）**×１**	 **保証書×１**	 **はじめにごらんください×１**

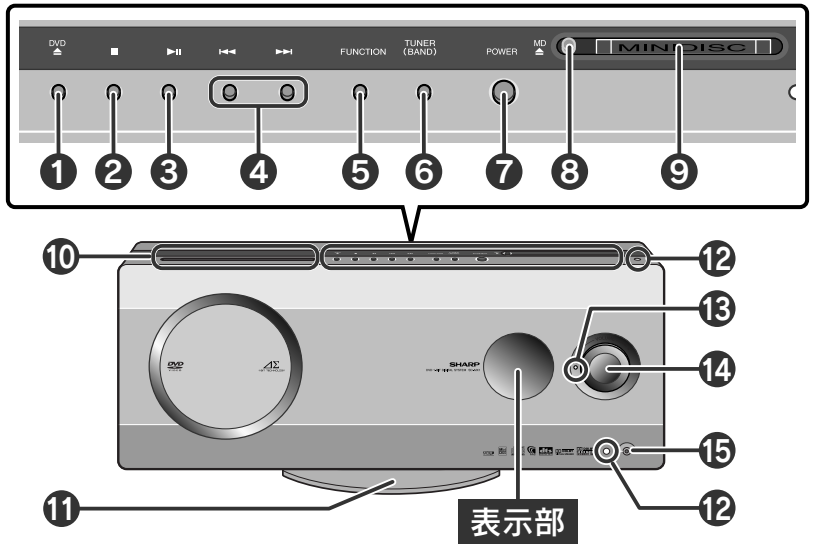
付属の電源コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。
他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

カタログおよび包装箱などに表示されている形名の最後のアルファベットは製品の色を示す記号です。
色は異なっても、操作方法や仕様は同じです。

各部のなまえ

DVD プレーヤー部

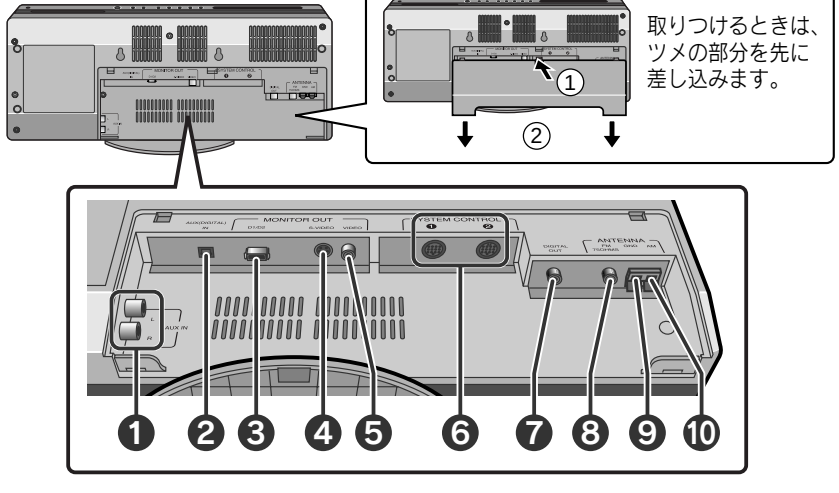
（天面、正面）



参照ページ

1. ディスク取出しボタン(DVD ⏏) 29
2. 停止ボタン(■) ..... 29、31
3. 再生／MD一時停止ボタン（▶II） ..... 28、30、31
4. 頭出し／早送り／早戻しボタン（I◀◀ / ▶▶I） ..... 29、31、39
5. 入力切換ボタン（FUNCTION） ..... 28、30、88
6. チューナー／バンドボタン（TUNER/BAND） 34
7. 電源ボタン（POWER） ..... 23、98
8. MD取出しボタン（MD ⏏） 31
9. MD挿入口 30
10. ディスク挿入口 28
11. スタンド 16
12. リモコンセンサー 22
13. タイマー表示 83
14. 音量調整つまみ（VOLUME -/+） 26
15. ヘッドホン端子 87

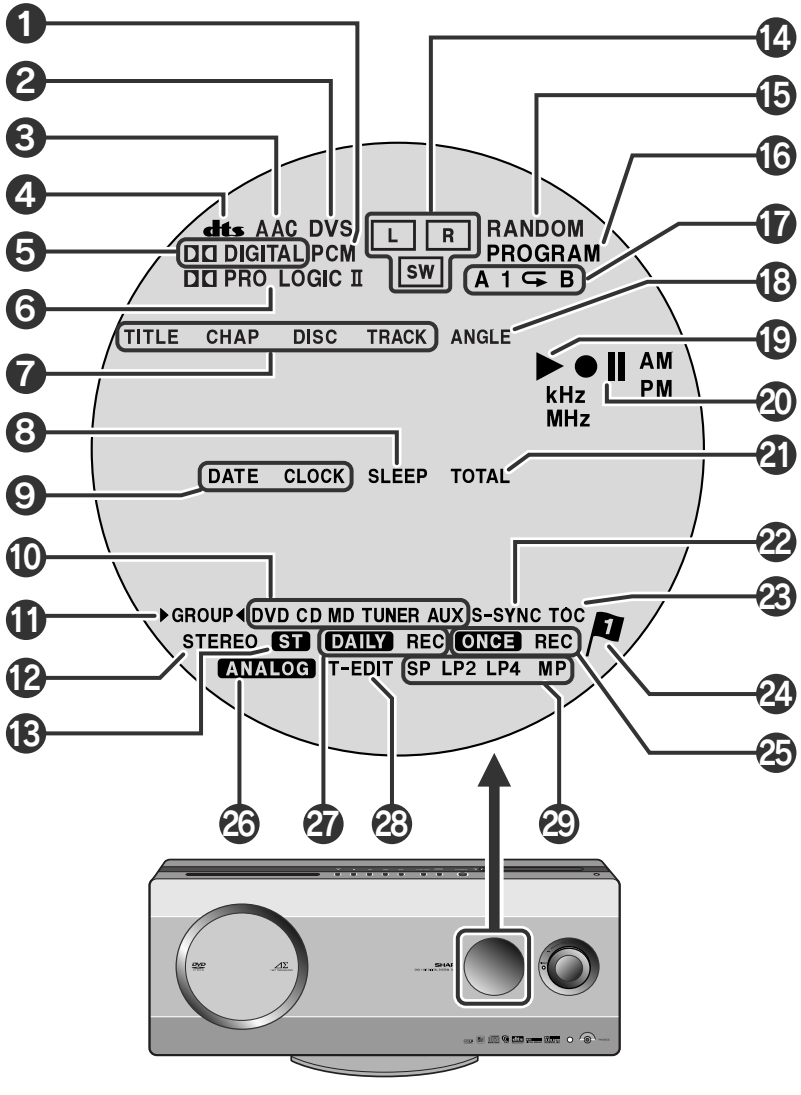
（背面）



参照ページ

1. アナログ音声入力端子（AUX IN） 87
2. 光デジタル音声入力端子（AUX DIGITAL IN） 85
3. D1/D2映像出力端子（D1/D2） 21
4. S映像出力端子（S-VIDEO） 21
5. 映像出力端子（VIDEO） 20
6. システムコントロール端子（SYSTEM CONTROL 1/2） 18
7. デジタル音声出力端子（同軸）（DIGITAL OUT） 86
8. FMアンテナ端子（FM 75 OHMS） ..... 19、100
9. アース端子（GND） ..... 19、100
10. AMアンテナ端子（AM） ..... 19、100

DVD プレーヤー表示部

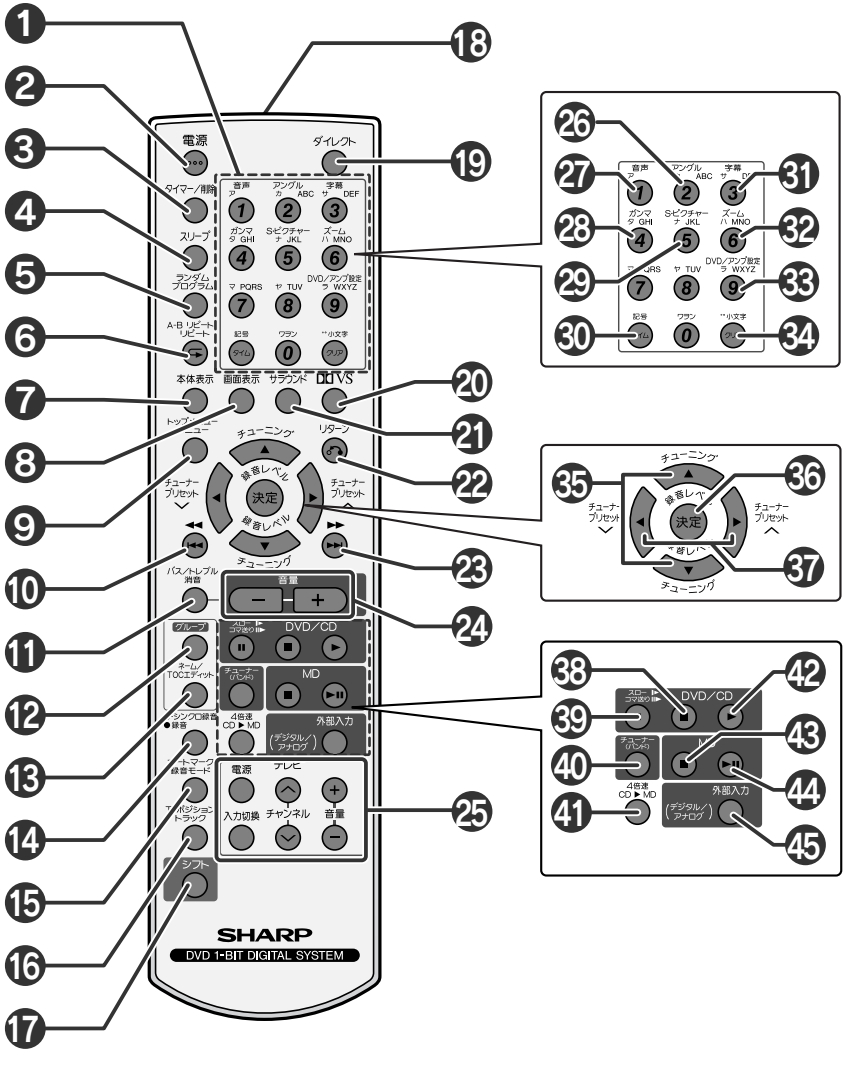


参照ページ

1. PCM 信号表示 48
2. ドルビーバーチャルスピーカー表示 49
3. AAC 信号表示 48
4. DTS 信号表示 48
5. ドルビーデジタル信号表示 48
6. ドルビープロロジック II 表示 49
7. タイトル／チャプター／ディスク／トラック表示 (TITLE/CHAP/DISC/TRACK) ..... 30、37
8. スリープ表示 81
9. 日付／時刻表示 (DATE/CLOCK) ..... 27、38
10. 入力表示（DVD/CD/MD/TUNER/AUX）..... 30、34、37、88
11. グループ表示 67
12. FM ステレオモード表示 34
13. FM ステレオ受信表示 34
14. フロントスピーカー「左」／フロントスピーカー「右」／サブウーハー表示（ L / R / SW ）..... 49
15. ランダム表示 ..... 33、41
16. プログラム表示 ..... 33、42
17. リピート／1 曲リピート／A-B リピート表示 (⇄/1⇄/A ⇄ B) ..... 32、41
18. アングル表示 46
19. 再生表示 30
20. 録音／録音一時停止表示（●/●II）..... 59
21. トータル表示 ..... 30、37
22. サウンドシンクロ録音表示 88
23. トック表示 57
24. トップポジション録音表示 64
25. ワンスタイマー再生／録音表示（ONCE/ONCE REC）..... 83
26. アナログ録音表示 59
27. デイリータイマー再生／録音表示（DAILY/DAILY REC）..... 83
28. マイトラックエディット表示 61
29. 録音モード表示（SP/LP2/LP4/MP）..... 58

各部のなまえ（続き）

リモコン



参照ページ

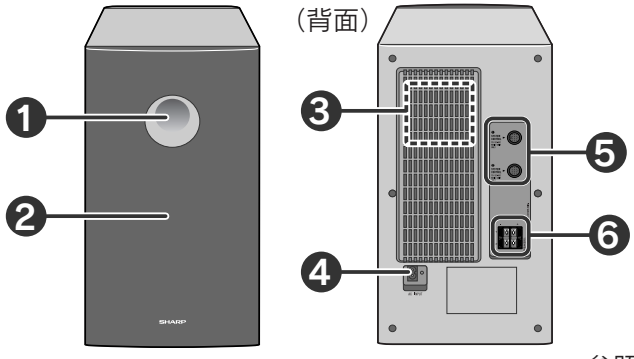
1. 文字・数字入力ボタン ..... 32、73
2. 電源ボタン 23
3. タイマー／削除ボタン ..... 27、73、82
4. スリープボタン 81
5. ランダム／プログラムボタン ..... 33、41、42
6. A - B リピート／リピートボタン ..... 32、41
7. DVD プレーヤー表示切換ボタン ..... 23、37、38
8. テレビ画面表示切換ボタン 36
9. トップメニュー／メニューボタン ..... 40、43、47
10. 頭出し／早戻しボタン ..... 29、31、39
11. バス・トレブル調整／消音ボタン 26
12. グループボタン 67
13. ネーム／TOC（トック）エディットボタン 66
14. サウンドシンクロ録音／マニュアル録音ボタン .... 60、88
15. オートマーク／録音モード切換ボタン ..... 58、59、63、88
16. トップポジション／マイトラックエディットボタン .... 61、64
17. シフトボタン 24
18. リモコン送信部 22
19. ダイレクトボタン 40
20. ドルビーバーチャルスピーカー切換ボタン 49
21. サラウンドボタン 49
22. リターンボタン ..... 44、47、50
23. 頭出し／早送りボタン ..... 29、31、39
24. 音量調整ボタン 26
25. テレビ操作ボタン 90
26. アングルボタン 46
27. 音声切換ボタン 45
28. ガンマ補正ボタン 46

参照ページ

㉙ スーパーピクチャーボタン 46
㉚ 時間表示切換／記号ボタン ..... 37、38、73
㉛ 字幕ボタン 45
㉜ ズームボタン 47
㉝ DVD ／アンプ設定ボタン ..... 24、50
㉞ 文字切換／クリアボタン ..... 32、33、47、73
㉟ カーソル／チューニング／ 録音レベル調整ボタン ... 24、34、60
㊱ 決定ボタン 24
㊲ カーソル／チューナープリセットボタン ..... 24、35
㊳ DVD ／ CD 停止ボタン ..... 28、29
㊴ DVD ／ CD スロー／コマ送り／一時停止ボタン ..... 29、39
㊵ チューナー／バンド切換ボタン 34
㊶ CD►MD4 倍速録音／ CD►MD 定速録音ボタン 58
㊷ DVD ／ CD 再生ボタン 28
㊸ MD 停止ボタン ..... 30、31
㊹ MD 再生／一時停止ボタン ..... 30、31
㊺ 外部入力（デジタル／アナログ）切換ボタン 88

サブウーハー／アンプ部

（正面）　（背面）

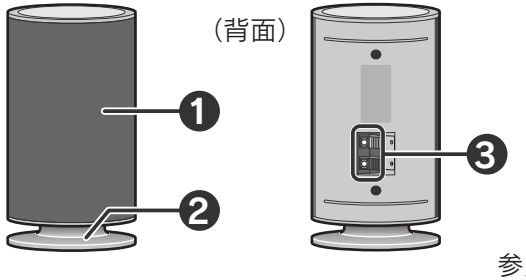


参照ページ

❶ バスレフダクト
❷ ウーハー
❸ 空冷ファン 17
❹ AC 電源端子 22
❺ システムコントロール端子（SYSTEM CONTROL 1/2）..... 18
❻ スピーカー端子 18

フロントスピーカー

（正面）　（背面）



参照ページ

❶ スピーカー
❷ スタンド
❸ スピーカー端子 18

ディスクについて

■ 再生できるディスクについて

本機は、次のディスクを再生することができます。

DVD ビデオ	DVD-R	DVD-RW	音楽 CD
NTSC 方式	NTSC 方式	NTSC 方式	COMPACT disc DIGITAL AUDIO
			音楽用 CD-R/CD-RW
		ビデオモードまたはVR モードで記録(※)	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable / COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable または MP3・WMA・JPEG ファイル形式で記録された CD-R/CD-RW ディスク(※)
	ビデオモードで記録(※)		

(※) 記録した機器やディスクの状態、ディスクの特性、キズ、汚れ、または光ピックアップの汚れなどにより、正しく再生できないことがあります。

■ DVD ビデオについて

DVDのなかでも一般的なディスクで、CDと同じ大きさのディスクに映像を主体に記録されたディスクです。

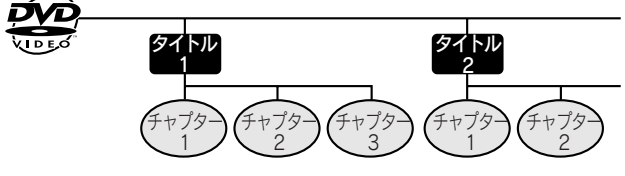
リージョン番号について…

DVD は、販売される国により、再生できるディスクが決められています。その再生できるディスクの番号を、リージョン番号といいます。
本機で再生できるのは、「2」(または「2」を含むもの)と「ALL」の表示があるディスクです。

リージョン番号
(再生可能地域番号)

タイトル・チャプターについて…

DVD ビデオは、「**タイトル**」と「**チャプター**」に区切り、構成されています。タイトルとは、例えば複数の映画が入っているディスクで各映画ごとをさします。チャプターとは、「タイトル」をさらに細かく分けたものです。



■ DVD-R/DVD-RW ディスクの再生について

- 再生できるDVD-Rディスクは、ビデオモードで記録されているディスクです。
- 再生できる DVD-RW ディスクは、ビデオモードまたは VR モード(ビデオレコーディングフォーマット)で記録されているディスクです。
- DVD-R/DVD-RW ディスクは、本機で再生する前に、記録したレコーダーでファイナライズを行ってください。
- ビデオモード、VR モード、ファイナライズ等 DVD-R/DVD-RW ディスクについて、くわしくはレコーダーの取扱説明書をごらんください。
- DVD-RW(VR モード)ディスクでコピーコントロール情報のあるディスク(Ver. 1.1 CPRM 対応)では、正常に再生できない場合があります。

■ MP3/WMA/JPEG ファイルの形式について

MP3 ファイルとは…

MPEG1 オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮した音楽データのことです。MP3 ファイルには「**.mp3**」という拡張子がついています。(拡張子「**.mp3**」がついたファイルでも、MP3 ファイル形式で記録されていない場合は、ノイズが出たり再生できないことがあります。)

WMA ファイルとは…

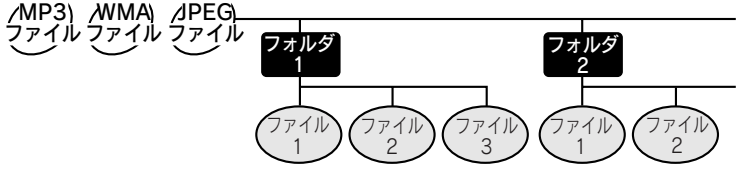
Microsoft 社の音声圧縮フォーマットです。96kbps以下の低速回線用データではMP3よりも高音質であると言われています。WMAファイルには「**.wma**」という拡張子がついています。

JPEG ファイルとは…

静止画像データの圧縮方式の一つです。JPEG (Joint Photographic Experts Group)と呼ばれ、ISOにより設置された専門家組織の名称がそのまま使われています。JPEG ファイルには「**.jpg**」という拡張子がついています。

フォルダ・ファイルについて…

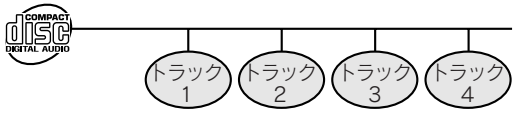
MP3・WMA・JPEG ファイルは、「**フォルダ**」と「**ファイル**」に区切り、構成されています。



■ 音楽 CD について

トラックについて…

音楽 CD は、「**トラック**」に区切り、構成されています。
トラックとは、例えば複数の音楽が入っているCDで各曲ごとをさします。



■ DVD に表示されているマークについて

DVDのケースに記載されている機能マークを確認のうえお楽しみください。

表示例	内　容
DVD に記録されている画面サイズ 4:3　16:9 LB　16:9 PS	接続するテレビの種類「ワイドテレビ」や「4：3のテレビ」に応じた画面サイズが選べます。
字幕の種類 （例）1：日本語字幕 2：英語字幕	記録されている字幕言語を表しています。好みの字幕が選べます。
アングル数	DVD に記録されているアングル数が表示されています。 好みのアングルが選べます。
音声トラック数や音声記録方式 （例） 1: オリジナル＜英語＞（ドルビーデジタル 5.1ch サラウンド） 2: 日本語（ドルビーデジタル 2ch）	音声のトラック数や音声の記録方式を表しています。 DVDに記録されている音声を切り換えることができます。 記録されている音声や音声の記録方式は、DVD によって異なります。 DVD の説明書で確認してください。

■ 再生できないディスクについて

本機では、次のディスクは再生できません。

- リージョン番号の「**2**」または「**ALL**」が含まれていない DVD（☞ **P.14**）
- PAL 方式の DVD
- SECAM 方式の DVD
- MPEG 音声の DVD
- DVD-Audio
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- DVD+R
- DVD+RW
- CDG
- ビデオ CD
- フォト CD
- CD-ROM
- SACD
- 業務用など、特殊なフォーマットで記録されているディスク　など

・上記のものは、全く再生できないか、映像が出ても音が出ない、音が出ても映像が出ないことがあります。
誤って再生すると、大音量によってスピーカーを破損したり、ヘッドホン使用時は聴力障害の原因となることがあります。絶対に再生しないでください。
・**本機でDTS方式のディスクをそのまま再生すると、映像は表示されますが、音声は出ません。**
音声を聞くためには、「音声言語の設定」をDTS方式以外の音声出力に設定してください。（☞ **P.45**）
・本機はNTSC方式に適合した機器です。海外で製造されたディスクには再生できないものがあります。ご購入の際は、記録方式を確認してください。
・正式な販売地域以外のディスクなど、規格を満たさない物があります。そのようなディスクは再生できません。

DVDによっては、ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりの動作をしないことがあります。ディスクのジャケットなどもごらんください。

■ コピーコントロール CD について

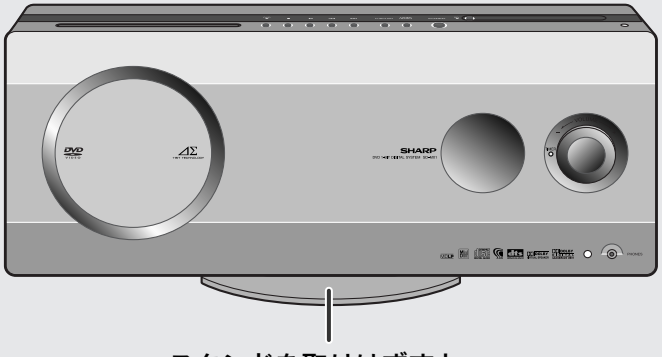
ディスクレーベル面に左記マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

本機は、CD規格（コンパクトディスクデジタルオーディオ）に準拠していない「**コピーコントロールCD**」などについて動作や音質を保証できません。
このような特殊なディスクのみに支障がある場合には、ディスクやパッケージ、印刷物などの表示をよくお読みの上、詳細についてはディスクの発売元へお問い合わせ願います。

■ DVD プレーヤー部の設置向きについて

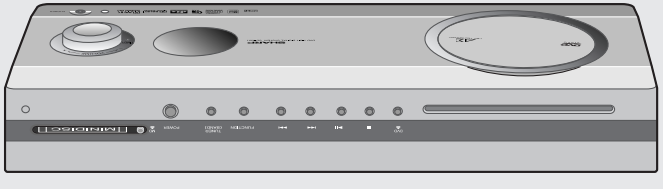
お買いあげ時は、DVD プレーヤー部にスタンドが取り付けられています。スタンドを取りはずすと、DVD プレーヤー部を水平に設置したり、壁にかけて使用することができます。（☞ P.91）

DVDプレーヤー部



スタンドを取りはずすと…

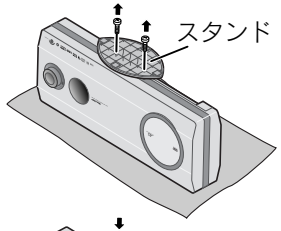
水平に設置できます。



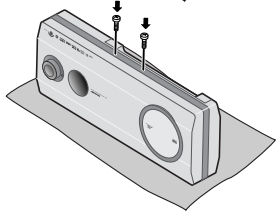
DVDプレーヤー部の設置向きを変えるときは、電源コードが抜けていることを確認してから作業してください。

水平に設置するときは…

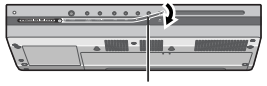
① 2 本のネジを取りはずして、スタンドを取りはずします。



② 取りはずしたネジを DVD プレイヤー部に固定します。



③ 付属のボタン名称シールを貼り付けます。



ボタン名称シール

ご注意

電源を入れたあとに、この製品の設置向きを変えないでください。
ディスクを読みこめなかったり、ディスクが傷付くことがあります。

お知らせ

- スタンドを取り付けたり、取りはずすときは、DVD プレーヤー部にキズがつかないよう、やわらかい布やクッションを敷いて作業してください。
- スタンドのネジ以外は取りはずさないでください。故障の原因となります。また、取りはずしたネジをなくさないように注意してください。
- ボタン名称シールは一度貼り付けるとはがしにくいため、慎重に貼り付けてください。

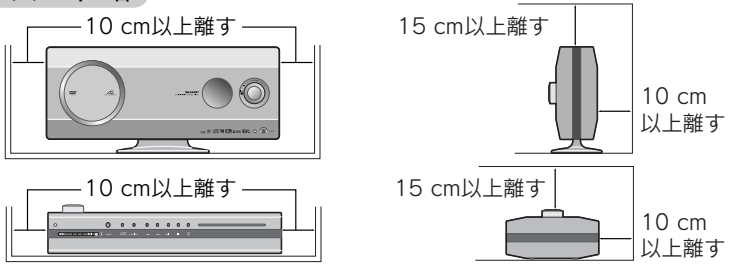
スピーカーを設置する

DVD 1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-MX1

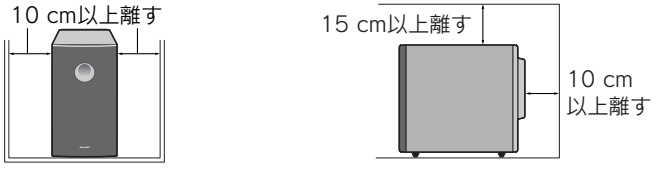
■ 設置場所について

DVDプレーヤー部やサブウーハー／アンプ部の天面や背面、側面は熱くなります。放熱をよくするため、システムの間は次のように離して置いてください。

DVDプレーヤー部

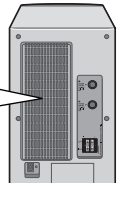


サブウーハー／アンプ部



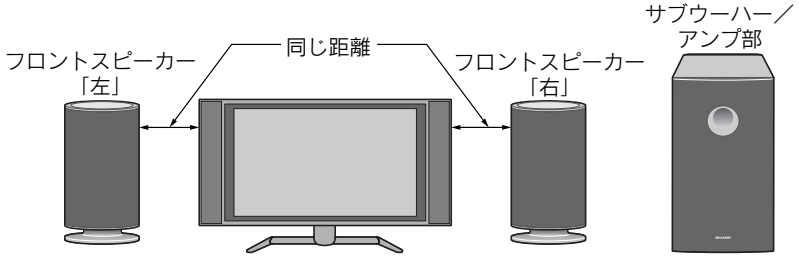
空冷ファンについて…

サブウーハー／アンプ部の背面には、放熱をよくするために空冷ファンを内蔵しています。
この空冷ファンは、電源を入れると自動的に回転するようになっています。
ファンの部分を物でふさがないように注意してください。



お知らせ

- この製品は、5℃～35℃の場所でお使いください。
- この製品の近くで携帯電話を使用すると、この製品が誤動作することがあります。また、携帯電話やこの製品に雑音が入ることがあります。
- **この製品をテレビ・パソコンなどの機器の近くで使用すると、それらの機器やこの製品に雑音が入ることがあります。そのときは、それらの機器の電源を切るか、この製品との距離をできるだけ離してください。**
- 振動しやすい場所で使ったり、DVDプレーヤー部に衝撃を与えると、音とびを起こすことがあります。安定した場所でお使いください。
- **製品を移動させるときは、必ずディスク、MDを取り出してください。ディスク、MDが製品の中につまって、故障の原因となることがあります。**



- フロントスピーカーは、テレビを中心として左右に配置してください。
- サブウーハー／アンプ部の低音は指向性が少ないため、設置位置をあまり限定しません。できるだけ左右フロントスピーカーの近くに置くことをおすすめします。

お知らせ

- サブウーハー／アンプ部からは低音が出ますので、振動しにくいしっかりした床に配置してください。
- サブウーハー／アンプ部はDVDプレーヤー部やフロントスピーカーと同じテーブルなどに設置しないでください。振動でテレビやDVDプレーヤー部などが動いたり、テレビ画像が乱れたり、音がとぎれたりすることがあります。
- サブウーハー／アンプ部は、防磁対応ではありません。
- バスレフダクトの中には物を入れないでください。
- スピーカーネットを取り外すことはできません。
- スピーカーやサブウーハー／アンプ部の上に立ったり、座ったりしないでください。

防磁対応スピーカーについて…

フロントスピーカーは防磁対応されていますので、テレビの近くに置くことができます。ただし、使うテレビによっては、テレビ画面に色ムラが生じることがあります。

テレビに色ムラがおきたら…

いったんテレビの電源を切り、15～30分後に再び電源を入れてください。

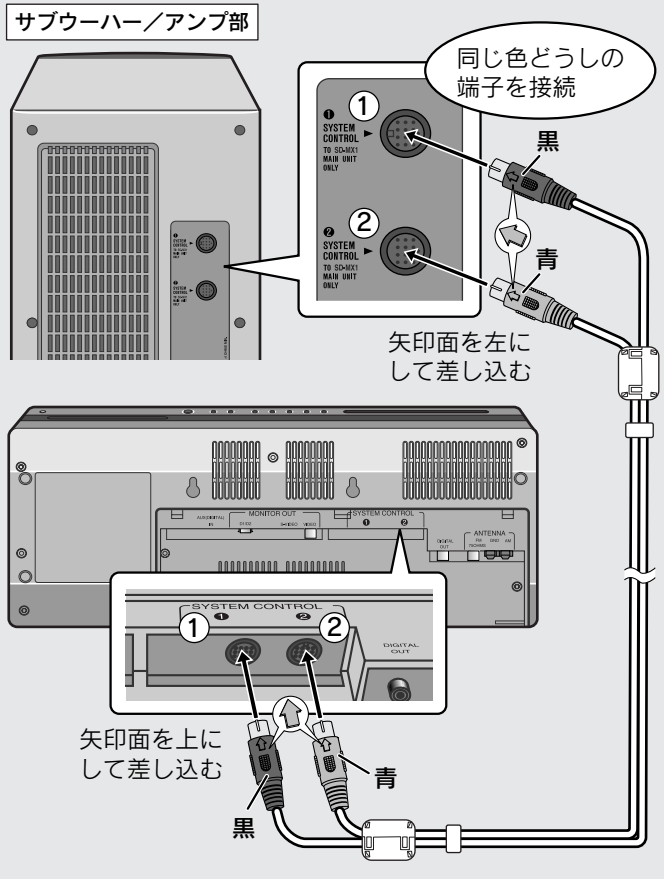
それでも色ムラが残るときは…

スピーカーをさらにテレビから離してください。

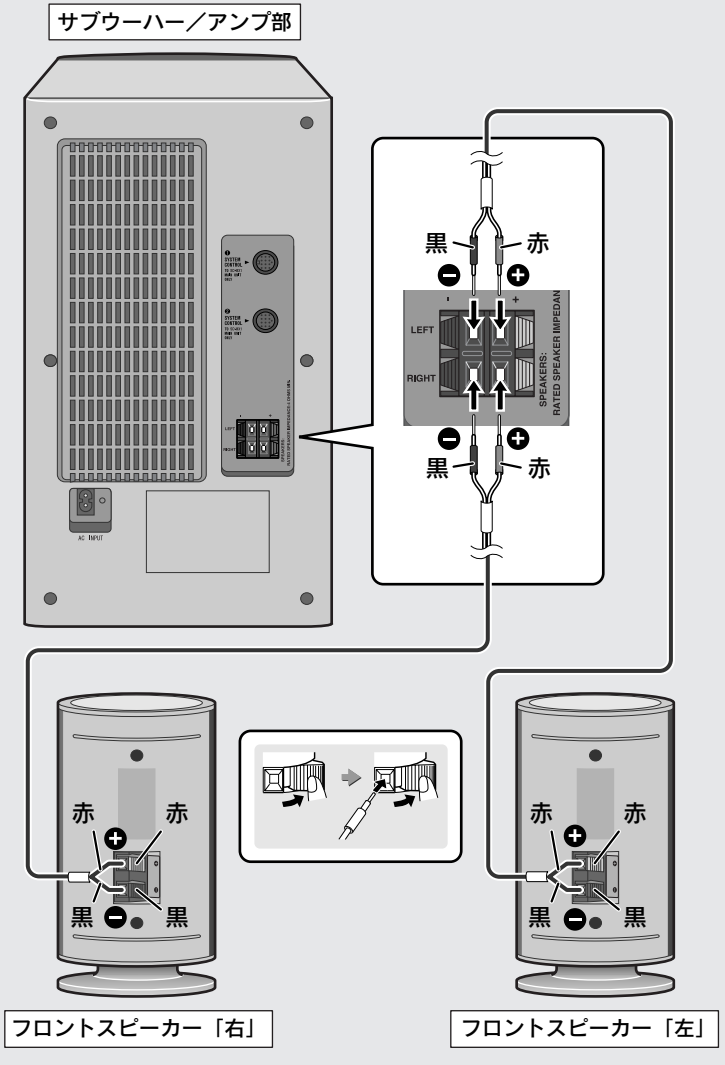
近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビ画面に色ムラが生じることがありますので、設置にご注意ください。

システム接続コードを接続する

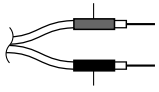
- DVD プレーヤー部（背面カバー内の端子）やサブウーハー／アンプ部への、コードの接続や取りはずしは、必ず電源コードがコンセントから抜けていることを確認してから行ってください。
- 操作するときは、必ず背面カバーを取り付けてから操作してください。（☞ P.10）



スピーカーを接続する

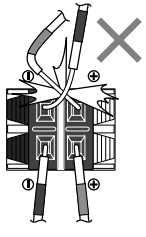


スピーカーコードは、必ずスピーカー側を先に接続したあと、サブウーハー／アンプ部につないでください。



ご注意

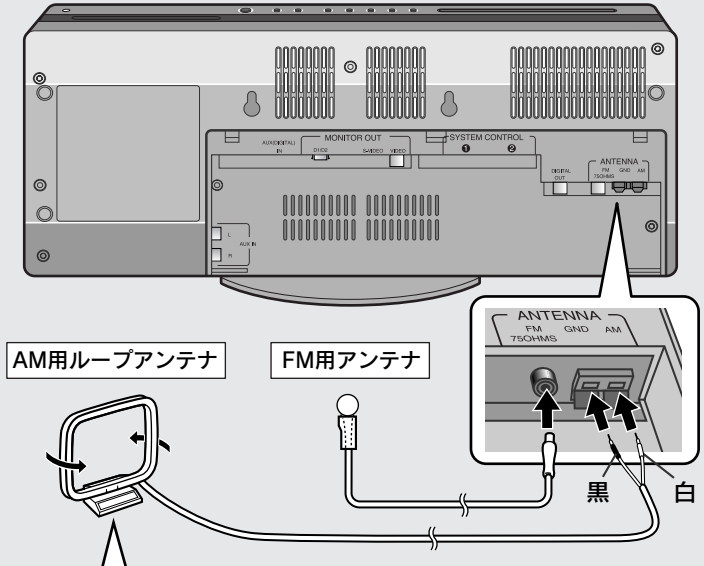
- **スピーカーの接続は、必ず電源コードを抜いてから行ってください。**
- 付属のスピーカーは、SD-MX1 専用です。付属のスピーカーを他の機器に接続しないでください。また、他のスピーカーを SD-MX1 に接続しないでください。故障の原因となります。
- **この製品のスピーカー端子のマイナス（－）側は、その他のアース（GND）とは、回路が独立しています。スピーカーコードの先端（金属部分）を本体のアース（GND）に触れないよう、注意してください。**
- スピーカーコードをショートさせないでください。
  電源が入っているときに、誤ってスピーカーコードをショートさせてしまうと、故障の原因となることがあります。
- スピーカーコードの⊕（プラス）と⊖（マイナス）、左と右チャンネルをまちがえないようにつないでください。



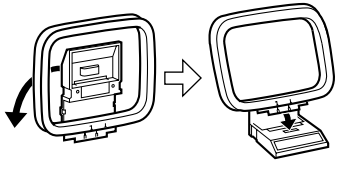
お知らせ

- FM･AM用アンテナは、本体や電源コード、スピーカーコードから離してください。近づけて使用すると、雑音が入ることがあります。
- テレビ音声を受信中に“ブー”という音がしたり、同調が不安定になったときは、FM 用アンテナを調整してください。
- 屋外アンテナを設置することもできます。（☞ P.100）

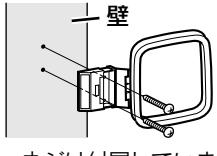
アンテナを接続する



AM用ループアンテナを組み立てる。



AM用ループアンテナは壁に取り付けることができます。



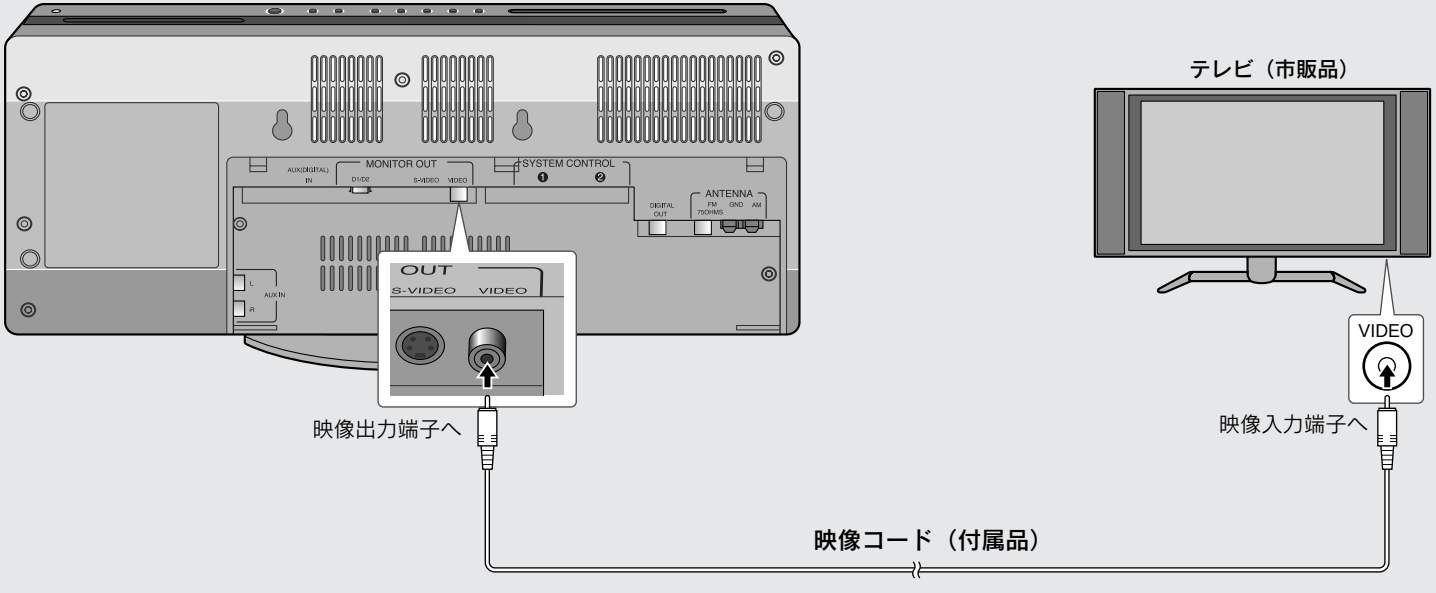
ネジは付属していません。

- FM 用アンテナは、放送が最もよく聞こえる位置に、アンテナの先を画びょうなどで固定します。
- AM 用ループアンテナは、最もよく聞こえる方向にしてください。

テレビを接続する

接続するときは、それぞれの機器の電源コードを抜いてから行ってください。

■ 付属の映像コードで接続するとき



お知らせ

- DVDプレーヤー部とテレビの間には、他の機器を接続しないでください。ビデオなどを経由して接続すると、画像が乱れることがあります。
- テレビの入力は、接続した端子にあわせてテレビ側で切り換えてください。
- テレビにより、D映像入力端子の表示が異なることがあります。本機は、D1/D2/D3/D4映像入力端子に接続できますが、機能の一部が制限されることがあります。くわしくは、テレビの取扱説明書をごらんください。
- DVDに対応していないハイビジョン専用のコンポーネント映像入力（Y/P_B/P_R）には接続しないでください。（映像方式が異なりますので、映像が乱れたり、映らないことがあります。）

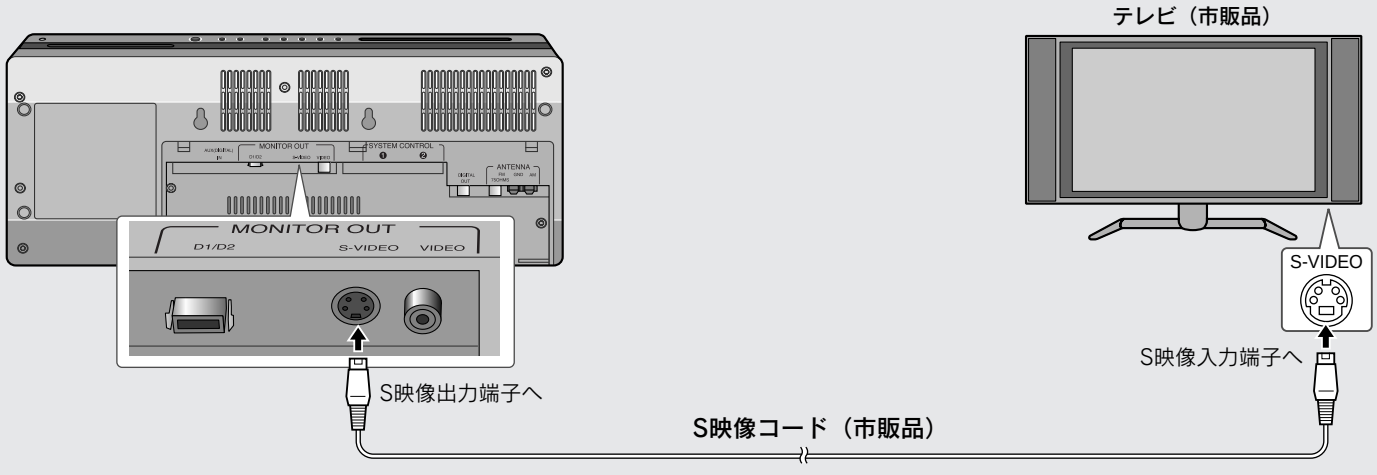
高画質で楽しむには

映像出力端子の他に、S映像出力端子・D1/D2映像出力端子を備えています。

市販のS映像コードやD端子ケーブルでテレビに接続すると、より高画質な映像をお楽しみいただけます。

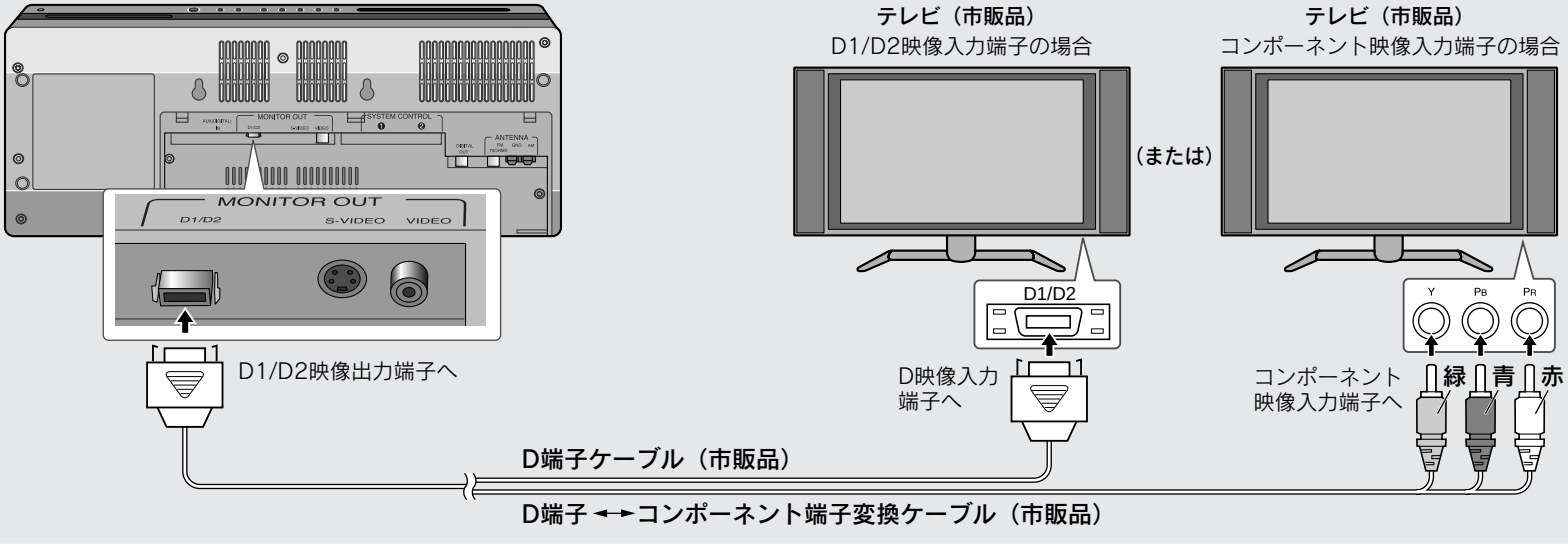
P.21

■ S映像コードで接続するとき



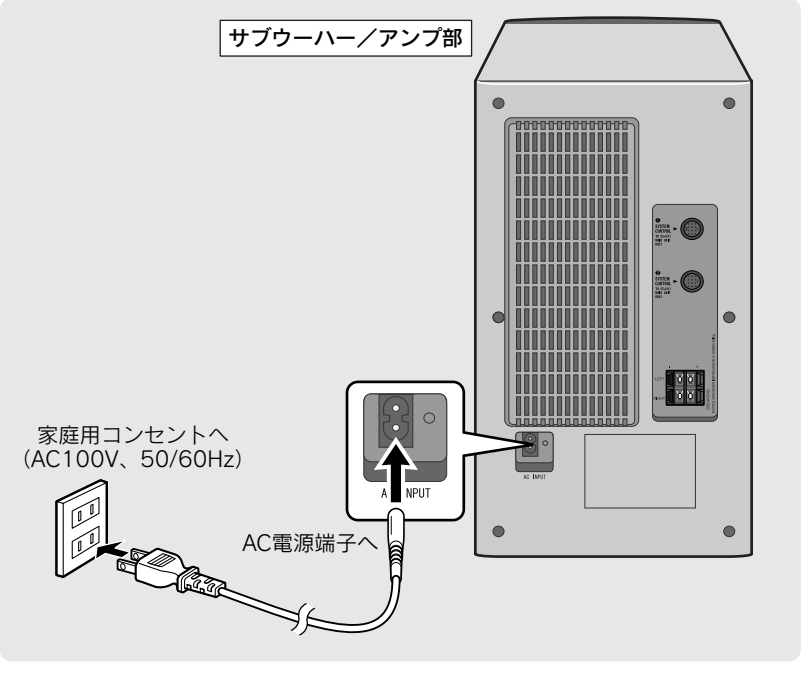
■ D端子ケーブルで接続するとき

プログレッシブ対応のテレビのときは…
ちらつきの少ないきれいな映像を楽しむことができます。
P.24～25



電源コードを接続する

各機器の接続が終わったら、付属の電源コードをサブウーハー／アンプ部のAC 電源端子へ差し込んだあと、家庭用電源コンセントに確実に差し込んでください。



■ 電源コードについてのご注意

- 電源コードを抜くときは、**本体の電源を切ってから**プラグを持って抜いてください。線を引っ張ると断線の原因となります。
- **付属品以外の電源コードは絶対に使用しないでください。**
  故障や事故の原因となります。

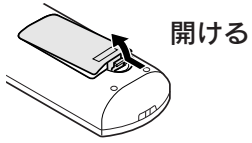
節電のために

旅行などで長時間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いておきましょう。電源を切っていても、わずかですが電力を消費しています。（電源コードを抜くと時計が止まり、半日以上たつと登録した放送局などが消えますので、再度合わせ直してください。）

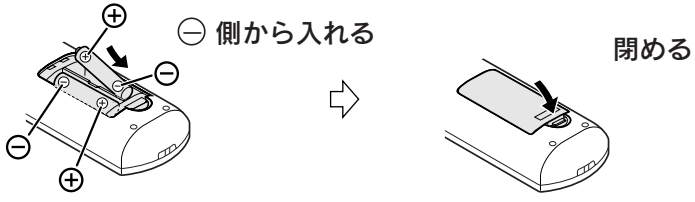
リモコンに乾電池を入れる

DVD 1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-MX1

❶ フタを開ける。

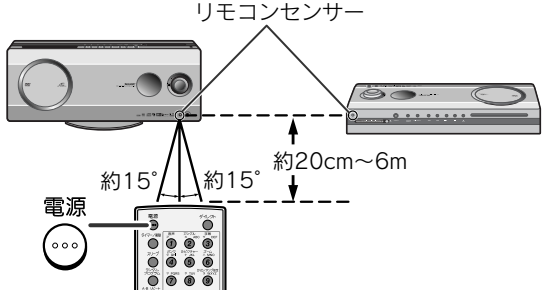


❷ 単４乾電池を２本入れる。



- 乾電池の方向に注意して入れてください。
  ⊕⊖ をまちがえると、故障の原因となります。
- リモコンには充電池（ニカド電池など）を使用しないでください。
  充電池では正しく動作しません。
- **リモコン用乾電池の寿命は通常のご使用で約１年です。**
  リモコンセンサーに近よらないと動作しなくなったときは、乾電池を交換してください。

リモコンの使える範囲（目安）



- リモコンセンサーに強い光があたる場所では使用しないでください。
  誤動作の原因となります。
- リモコンセンサーや送信部にシールなどを貼らないでください。
  リモコン操作ができなくなることがあります。

電源を入れる／表示部の明るさを変える

電源を入れる

POWER または 電源 を押す。

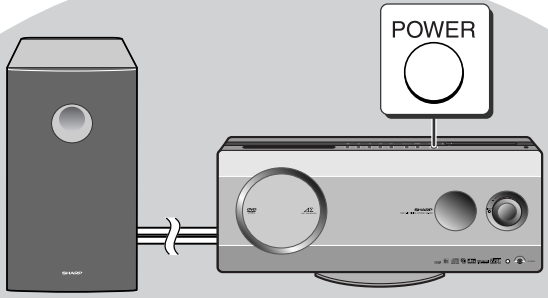
HELLO

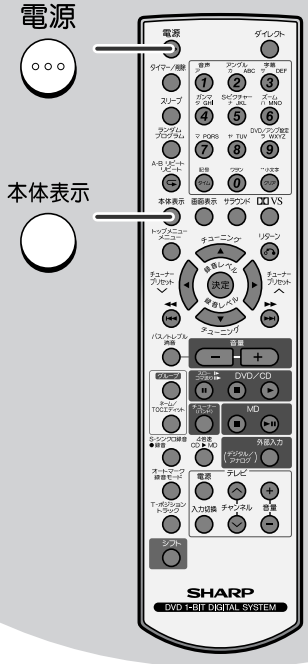
- 電源が入ると、表示部が点灯します。
- 電源が入らないときは、電源コードやシステム接続コードが正しくつながっているか、リモコンの乾電池が正しく入っているか、確認してください。

電源を切るには…

もう一度、POWER または 電源 を押す。

電源を切ったあとの２～３秒は、すぐに電源が入りません。





表示部の明るさを変える

電源を入れて…

本体表示 を３秒以上押す。

押すたびに、次のように切り換わります。

AUTO DIMMER

DVDビデオの再生を始めると約5秒後に表示が暗くなり、停止するともとの明るさに戻ります。
DVDビデオ以外のときは、明るさは変わりません。

⇩

ON DIMMER

暗い

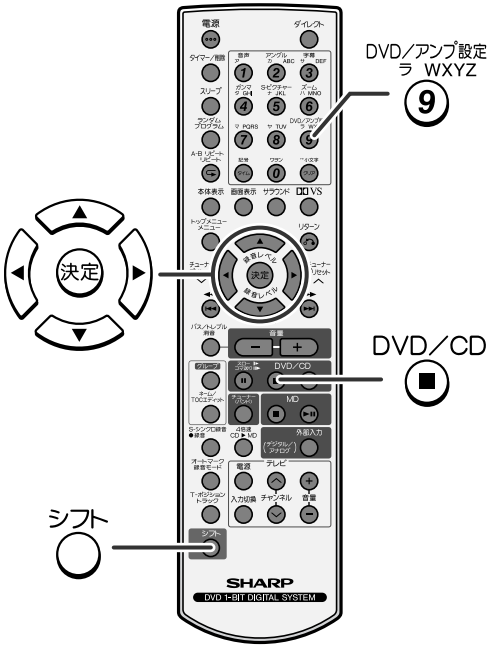
⇩

OFF DIMMER

明るい

テレビに合った映像出力を選ぶ

テレビを接続した端子やテレビの機能に合わせて、映像出力の設定をしてください。



1 DVD／CD ■ を押したあと、

シフト ○ を押したまま DVD／アンプ設定 ラ WXYZ 9 を押す。

2 ▲または▼を押して「ディスプレイ」を選び、

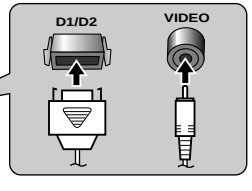
決定を押す。

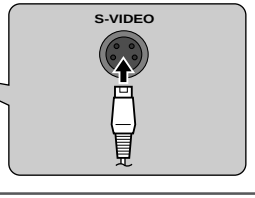
3 ▲または▼を押して「ビデオ出力」を選ぶ。

4 テレビを接続した端子に合わせる

◀または▶を押して「D1/D2/VIDEO」または「S-VIDEO」を選び、決定を押す。

選択項目	設定内容
D1/D2/VIDEO	D1/D2 映像出力端子や、映像出力端子に接続したときは、この設定にします。
S-VIDEO	S 映像出力端子に接続したときは、この設定にします。





設定した内容が登録されます。

❺ ▲または▼を押して「プログレッシブ」を選ぶ。

❻ プログレッシブを設定する

◀または▶を押して「切」または「入」を選び、

決定を押す。

選択項目	設定内容
プログレッシブ「切」	プログレッシブ対応されていないテレビに接続したときは 、この設定にします。
プログレッシブ「入」	プログレッシブ対応のテレビに接続したときは、この設定にします。 ちらつきの少ないきれいな映像を楽しむことができます。

設定した内容が登録されます。

❼ シフトを押したまま DVD/アンプ設定 ラ WXYZ 9 を押す。

設定を終了します。

ご注意

- D1/D2映像出力端子にテレビをつないでいるとき、「**ビデオ出力**」設定を「**S-VIDEO**」にすると、映像が赤くなります。
- S-VIDEO映像出力端子にテレビをつないでいるとき、「**ビデオ出力**」設定を「**D1/D2/VIDEO**」にすると、映像の色が出なくなります。

■ プログレッシブ対応されていないテレビのときは

この製品の「**プログレッシブ**」の設定を「**入**」にすると、映像が出なくなります。

そのときは、リモコンの シフト を押したまま、DVD/アンプ設定 ラ WXYZ 9 を３秒以上押してください。

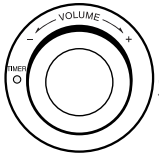
（「**プログレッシブ**」の設定が「**切**」に戻ります。）

■ プログレッシブ対応テレビの互換性

一部のプログレッシブ対応テレビは、この製品と完全な互換性が取れていないため、画像に乱れが生じる場合があります。不具合が生じた場合は、「**プログレッシブ**」の設定を「**切**」にしてください。

音量や音質を調整する

音量を調整する



を回す。

VOL
20

音量0（小）～ 40（大）

右に回すと、音量は大きくなり、
左に回すと、音量は小さくなります。

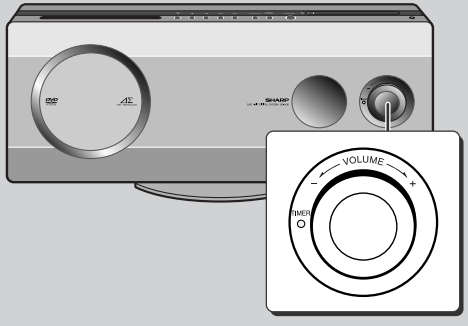
リモコンのときは、音量 ＋ を押すと、
音量は大きくなり、
音量 － を押すと、音量は小さくなります。

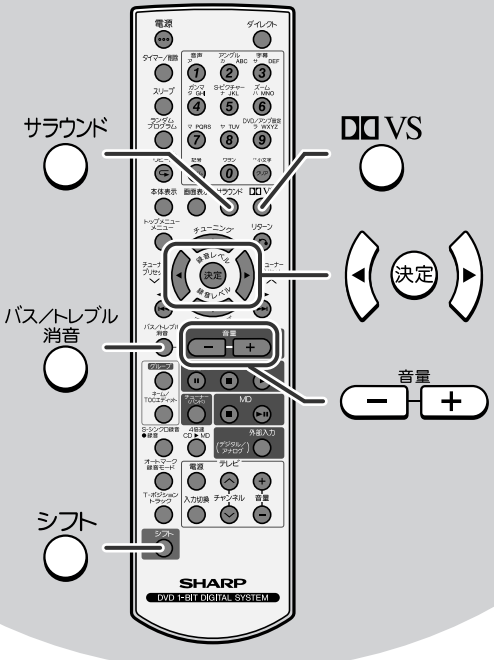
一時的に音を消す

バス/トレブル 消音 を押す。

MUTE
ON

- もう一度押すと、解除できます。
- 音量を調整しても、解除できます。
- 音を切り換えた時に、サブウーハー／アンプ部から「カチッ」という音がしますが、異常ではありません。





DVD、CD、BS チューナーの音声を聞くときは

1 DVS を押して "DVS OFF" を選ぶ。
(☞ P.49)

DVS
OFF

2 サラウンド を押して "STANDRD" にする。
(☞ P.49)

STANDRD

- "DVS ON" のときおよび、サラウンドの設定が "MUSIC" や "MOVIE" のときは、バス・トレブルを調整することはできません。

- MD、ラジオ放送、MP3・WMAディスクのときは、下記の ❶ から操作します。

音質を変える（バス・トレブル）

❶ シフト を押したまま バス/トレブル 消音 を押す。

❷ 5 秒以内に…
◀ または ▶ を押して
"BASS" または "TREBLE" を
選び、決定 を押す。

低音調整のとき

0
BASS

-3（弱）～ +3（強）

高音調整のとき

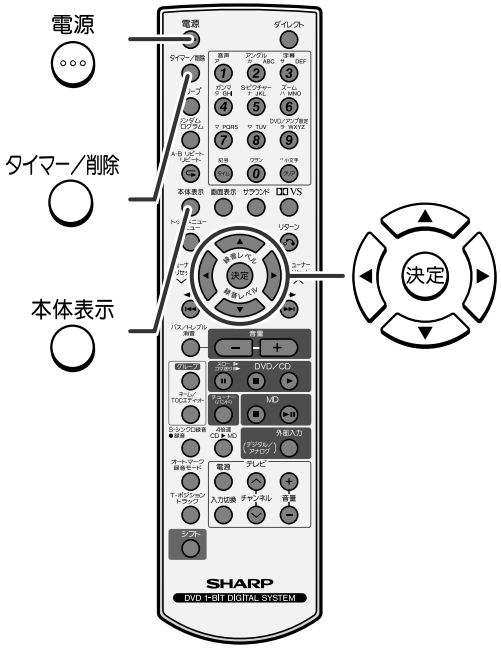
0
TREBLE

-3（弱）～ +3（強）

❸ 5 秒以内に…
◀ または ▶ を押して強弱を
変え、決定 を押す。

時計を合わせる

日付・時刻を合わせると、時計としてはもちろん、タイマーが使用できるようになります。（☞ P.82、83）
また、MDに録音したとき、録音日時が自動的に MD に記録されます。（録音日時 ☞ P.38）



（例）2005 年 8 月 15 日午前 9 時に合わせるとき

❶ 電源 を押して、電源を入れる。

❷ タイマー／削除 を押す。

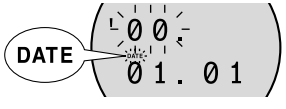
と表示されたときは、そのまま操作❸を行います。

一度設定したあとは…

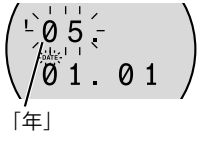
と表示されたときは、▲または▼で時刻表示を選んだあと、操作❸を行います。

❸ 10 秒以内に…

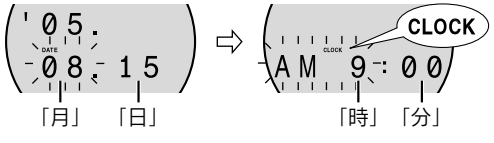
決定 を押す。



❹ ◀ または ▶ を押して、「年」を合わせ、決定 を押す。



- 2005 年は、「05」と合わせてください。
- 同じようにして、**“月”“日”“時”“分”**を合わせます。



- 時刻は 12 時間制で表示されます。
  時計には、午前（AM）／午後（PM）の区別があります。
  AM 0：00→夜の 12 時／ PM 0：00→昼の 12 時
- 数秒後、もとの表示に戻ります。

■時刻を確認するには

電源が入っているとき

1. **タイマー／削除 を押す。**
2. **▲または▼で時刻表示を選ぶ。**
   約 10 秒表示されて、もとの表示に戻ります。
   すぐにもとの表示に戻すには、タイマー／削除 を押します。

電源が切れているとき

本体表示 を押す。
約 5 秒表示されます。

■日付や時刻を修正するには

時計合わせの操作を始めからやり直します。

お知らせ

- 時計の精度には、若干の誤差がありますので、時刻の補正を定期的に行うことをおすすめします。
- この製品の時計（年・月・日）は、2000 年 1 月 1 日～2099 年 12 月 31 日まで対応しています。

ご注意

電源コードを抜いたり、停電があったときなどは、時計が止まります。
時計を合わせ直してください。

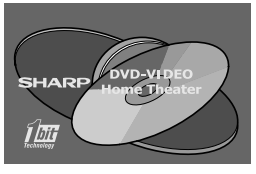
DVD（CD）を再生する

- ご使用のテレビがワイドテレビのときは、映像出力設定を 16：9 に変更してください。（☞ P.50）
- テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせて、テレビの入力を「ビデオ 1・ビデオ 2」などに設定してください。

1

電源を入れたあと…

FUNCTION ○ をくり返し押して、入力を「DVD/CD」にする。



リモコンの DVD/CD ■ を押しても操作できます。

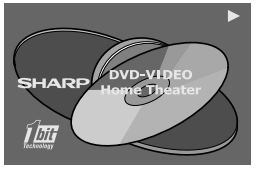
2 ディスクを挿入口に入れる。

- ディスクは自動的に入りますので、無理に押し込まないでください。
- 8cmディスクを聞くときは、挿入口の中央部に静かに入れてください。（アダプターは使用しないでください。）
- オートプレイのディスクを入れたときは、再生が始まります。

3

操作 2 で再生が始まらないときは…

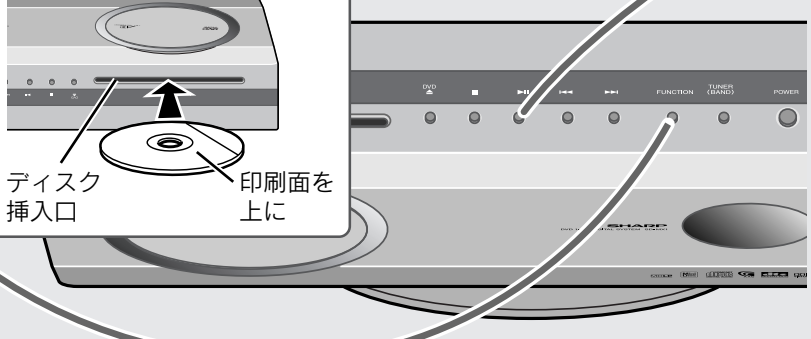
▶II ○ を押す。

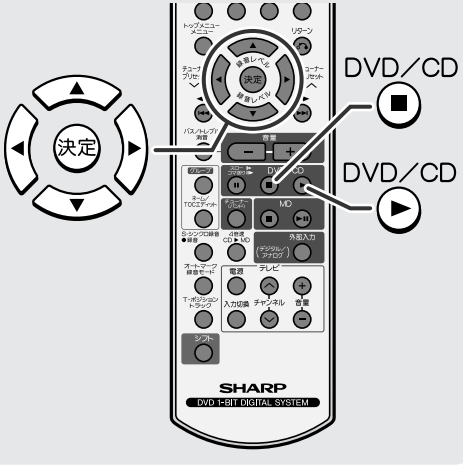


リモコンの DVD/CD ▶ を押しても操作できます。

テレビに DVD のメニュー画面が表示されたときは…

◀または▶、▲または▼ を押して項目を選び、決定 を押します。





音量や音質を調整する（☞ P.26）

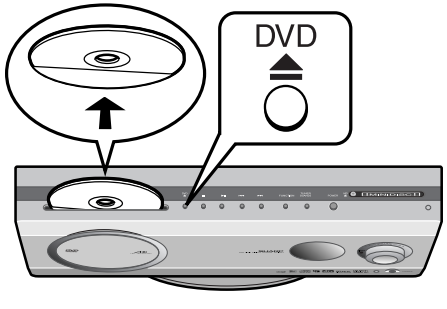
DVD(CD)の再生中にできる操作

動　作	DVDプレーヤー部	リモコン	操　作
停止する	■	DVD／CD ■	1回押すと "RESUME"（リジューム）が表示されます。もう1回押すと、停止状態になります。
			1回押して "RESUME"（リジューム）が表示されたあとに、▶II（DVD プレーヤー部）、DVD／CD ▶（リモコン）を押すと、停止した位置から再生します。**（つづき再生）**
一時停止する		スロー ▶ コマ送り II▶ II	**再生中に押す。** ▶II（DVDプレーヤー部）、DVD／CD ▶（リモコン）を押すと、停止した位置から再生します。
チャプター・トラックの頭出しをする（スキップ）	⏮ ⏭	◀◀ ▶▶ ⏮ ⏭	DVD のとき **再生中に押す。**
			CD のとき **再生中または、停止中に押す。** 停止中に聞きたいトラックを選んだあと、再生を始めるとその曲から再生します。

■ DVD(CD)の取り出しかた

❶ DVD(CD)を停止させたあと…
DVD ⏏ **を押す。**

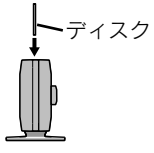
❷ **DVD(CD)を取り出す。**



ご注意

本機で DTS 方式のディスクをそのまま再生すると、映像は表示されますが、音声は出ません。
音声を聞くためには、「音声言語の設定」を DTS 方式以外の音声出力に設定してください。（☞ P.45）

- ディスクを 2 枚またはそれ以上入れないでください。
- ディスクにキズがあったり、再生できないディスクを入れたときや、リージョン番号の違うディスクを再生しようとしたとき、視聴制限（※1）により制限されたディスクを再生しようとすると、エラーメッセージがテレビ画面に表示され、再生されません。
  （※1）DVDの中には、視聴者の年齢に合わせて、ディスクを見るための制限をしているものがあります。
- ディスクを入れるときは、挿入口に対してまっすぐに入れてください。斜めに入れると、故障の原因となります。



お知らせ

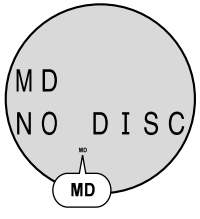
- DVD によっては、ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりの動作をしないことがあります。
  ディスクのジャケットなどもごらんください。
- DVD-R・DVD-RW・CD-R・CD-RWディスクの再生は、記録した機器やディスクの状態によって、正しく再生できないことがあります。
  そのときは、それらのディスクを記録する機器の記録スピードや、使用するディスクを換えてみると、再生可能になることがあります。
  くわしくは、記録する機器の取扱説明書をごらんください。
- ディスクによっては、停止位置が記録されているものがあります。
  このようなディスクを再生すると、記録されている位置で自動的に停止します。
- 操作中、テレビ画面に「⊘」マークが表示されることがあります。
  これは、ディスク側で操作を禁止していることを表します。
- 電源を入れたときや、他の入力から「DVD」または「CD」に切り換えたときは、本機がディスクの初期設定を行っていますので、数秒間は操作を受け付けません。
- キズがついたり、汚れているディスクを使うと、映像が乱れたり、音とびの原因となります。

MDを聞く

音量や音質を調整する（☞ P.26）

1 電源を入れたあと…

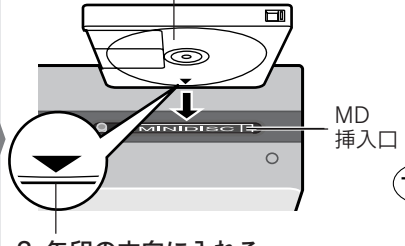
FUNCTION ○ をくり返し押して、入力を「MD」にする。

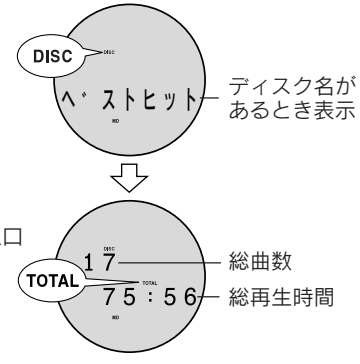


リモコンの MD ■ を押しても操作できます。

2 MDを入れる。

1. 矢印マークの面を手前にする

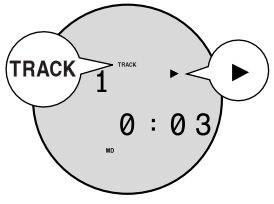




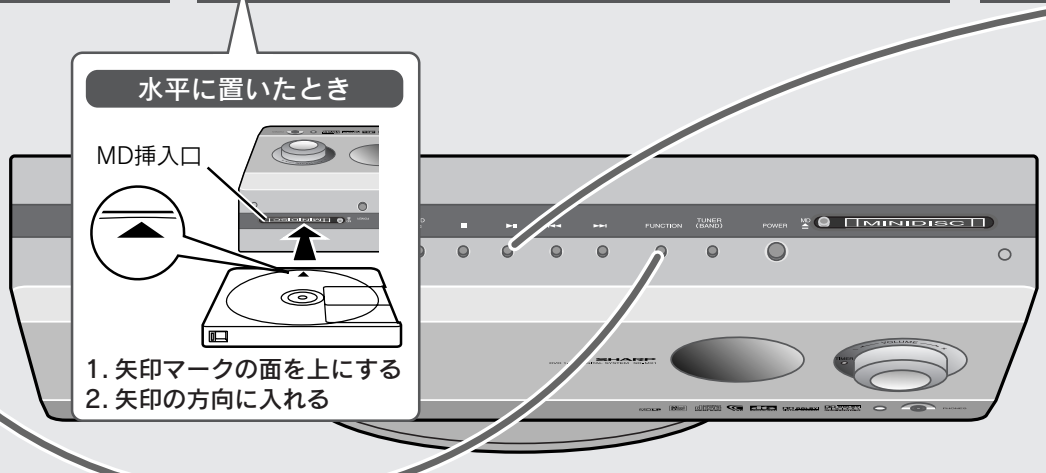
2. 矢印の方向に入れる

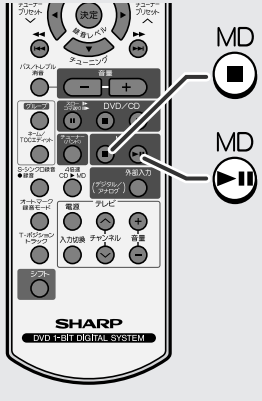
- モノラル録音や2倍・4倍長時間録音（ステレオ）で録音された曲も、録音されたときの録音モードに合わせて再生できます。（☞ P.58）
- グループで録音したMDを入れた場合は、自動的にグループモードになります。（☞ P.70）

3 ▶II ○ を押して、再生を始める。



- 1曲目から再生が始まり、最後の曲が終わると停止します。
- リモコンの MD ▶II を押しても操作できます。





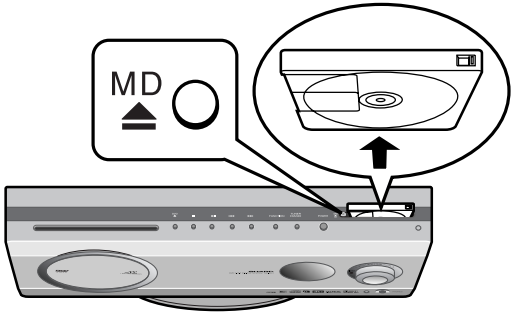
MDの再生中にできる操作

動　作	DVDプレーヤー部	リモコン	操　作
停止する	■ ○	MD ■	再生中に押す。
一時停止する	▶II ○	MD ▶II	**再生中に押す。** もう一度押すと、止めた位置から再生します。
曲の頭出しをする	⏮ ⏭ ○ ○	◀◀ ▶▶	**再生中または、停止中に押す。** 停止中に聞きたい曲番を選んだあと、再生を始めるとその曲から再生します。
早送りをする 早戻しをする	⏮ ⏭ ○ ○	◀◀ ▶▶	**再生中に押し続ける。** ボタンから指を離すと、その位置から再生します。

■ MDの取り出しかた

❶ MDを停止させたあと…
MD ⏏ ○を押す。

❷ MDを取り出す。



ご注意

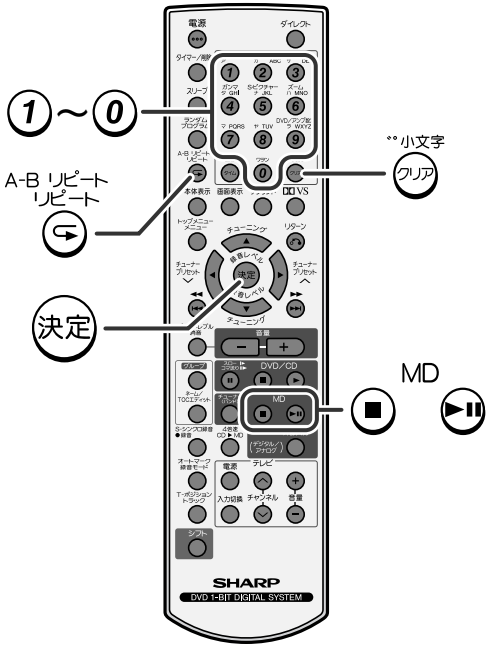
MDを入れるときは、必ず電源を入れてください。
電源が切れているときに、無理にMDを押し込むと、故障の原因となります。

お知らせ

- [文字情報 英語] マークがついている再生専用MD（市販ソフトなど）は、ディスク名などの文字情報が表示できます。
- ひらがなや漢字で入力されているMDは、ディスク名や曲名は表示されません。
- 使用中は、MDが温かくなりますが、異常ではありません。
- MDは振動に対して音とびしにくくなっていますが、連続した振動に対しては、音がとぎれることがあります。

ＭＤを聞く（続き）

好きな曲から再生（ダイレクト再生）したり、曲をくり返し再生（リピート再生）することができます。

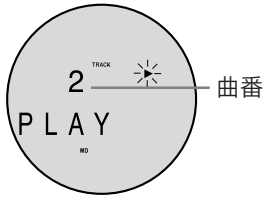


■ 聞きたい曲から聞く（ダイレクト再生）

❶ MD を入れたあと… MD ■ **を押す。**

❷ **①～⓪で聞きたい曲番を入力し、決定を押す。**

例）28 曲目　②⑧→決定
　　105 曲目　①⓪⑤→決定



- 指定した曲から、再生が始まります。
- 数字をまちがえたときは、小文字 クリア を押し、再度入力をしてください。

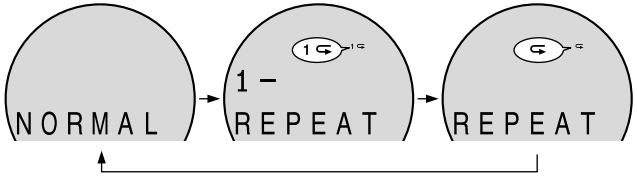
■ くり返して聞く（リピート再生）

❶ MD を入れたあと… MD ■ **を押す。**

❷ A-B リピート リピート **を押す。**

押すたびに、リピート再生モードは次のように変わります。

通常再生	1 曲リピート再生	全曲リピート再生
全曲を再生したあと、停止します。	1 曲をくり返し再生します。	全曲をくり返し再生します。



❸ MD ▶II **を押す。**

お知らせ

- グループで録音したMDを入れたときは、自動的にグループモードになります。（☞ P.70）
- ①～⓪を続けて押すときは、10 秒以内に操作してください。
- ランダム再生やプログラム再生（☞ P.33）を設定しているときは、ダイレクト再生はできません。

ご 注 意

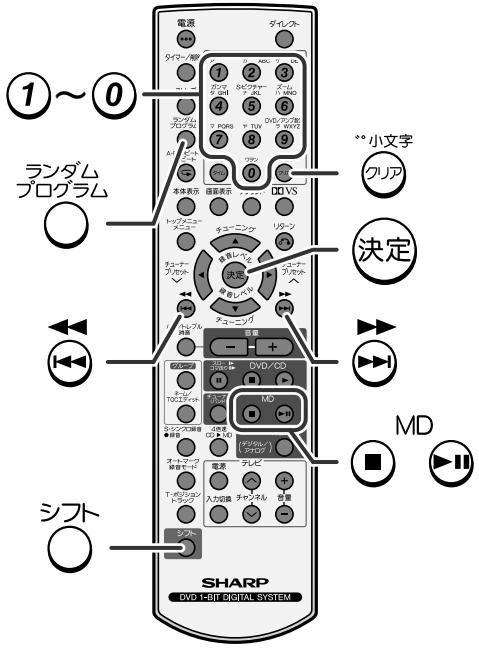
リピート再生は、止めるまで続きます。
お聞きになったあとは、必ず停止してください。

お知らせ

- 再生中に A-B リピート リピート を押すと、その時点からリピート再生されます。
- リピート再生設定は、MD の録音操作をすると、解除されます。

好きな曲を好きな順に（最大24件まで）再生することができます。
（プログラム再生）

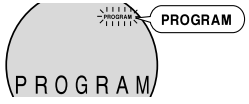
また、順不同で再生することができます。
（ランダム再生）



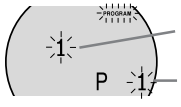
■ 好きな曲だけを記憶させて聞く（プログラム再生）

❶ MD を入れたあと… MD ■ **を押す。**
表示部に“▶GROUP◀”が点灯したら、消灯させてください。（☞ P.70）

❷ ランダム プログラム **を押す。**



❸ **①～⓪で聞きたい曲番を入力し、決定を押す。**



曲番をまちがえたときは、小文字 クリア を押すと、最後に選んだ曲が取り消されます。続けて押すと、順に取り消されます。

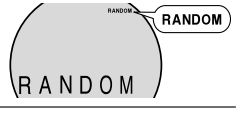
❹ **❸の操作をくり返し、登録したい曲番を順に指定する。**
総再生時間が999分以上を超えると“---：--”が表示されますが、記憶はされています。

❺ MD ▶II **を押す。**
登録した順番で再生したあと停止します。
MD を取り出すまで、曲の登録を覚えています。

■ 順不同で聞く（ランダム再生）

❶ MD を入れたあと… MD ■ **を押す。**

❷ シフト **を押したまま** ランダム プログラム **を押す。**



❸ MD ▶II **を押す。**
もう一度 シフト を押したまま ランダム プログラム を押すと、ランダム再生を解除することができます。

■登録した順番を確かめるには
停止中に ◀◀ または ▶▶ を押す。

■登録内容を追加するには
❶～❹の操作をします。
前に選んでいる曲のあとに、追加されます。

■登録内容を取り消すには
1. MD ■ を押す。
2. 停止中に 小文字 クリア を押す。
MDの全曲の登録が取り消されます。

お知らせ
- 再生中や一時停止中に登録することはできません。
- プログラム再生の登録内容は、録音操作をすると消えます。
- MD に記録されていない曲番を入力しても登録されません。
- 登録を途中で止めるときは MD ■ を押してください。

お知らせ
- 全曲を順不同に再生したあと、自動的に停止します。
- MD を停止すると、ランダム再生は解除されます。
- 再生中に シフト を押したまま ランダム プログラム を押すと、その時点からランダム再生されます。
- プログラム再生中は、ランダム再生はできません。
- ランダム再生は、この製品が自動的に曲を選んで再生します。（自分で選曲できません。）
- ランダム再生中は ◀◀ を押しても、聞いている曲以前への頭出しはできません。

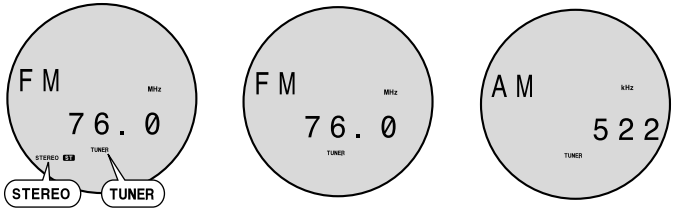
ラジオ放送を聞く

1

電源を入れたあと…

チューナー(バンド)を押して、“FM STEREO”(ステレオ)

“FM”または“AM”を選ぶ。



FM STEREO　　FM　　AM

DVD プレーヤー部の TUNER (BAND) を押しても操作できます。

2

チューニング▲または▼チューニングを押して、放送局を選ぶ。

自動同調：
ボタンを 0.5 秒以上押し続けて離すと、電波の強い放送局を自動的に受信します。

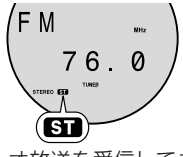
手動同調：
ボタンを小きざみに押して、希望する放送局を受信します。

FM ステレオ放送を受信するには

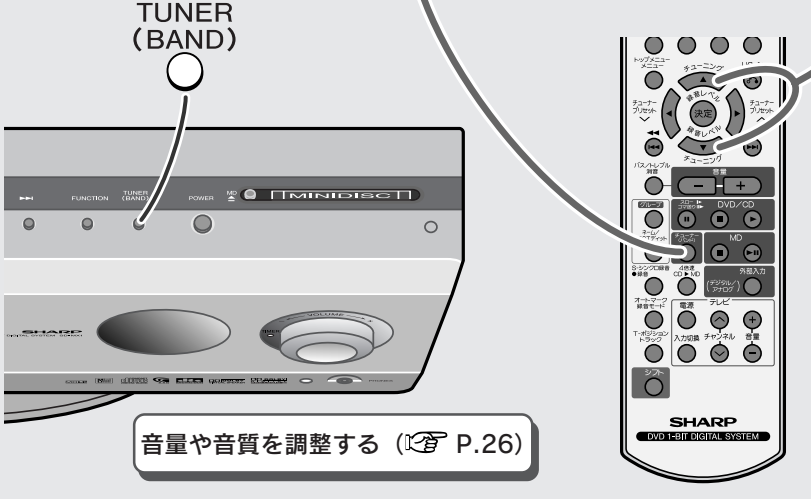
チューナー(バンド)を押して、“STEREO”(ステレオ)を点灯させる。

STEREO(点灯)	FM ステレオモード
STEREO(消灯)	FM モノラルモード

FM ステレオ放送を受信すると“ST”が点灯します。



FMステレオ放送を受信しても電波が弱いと“ST”が点灯しません。
FMモノラルモードに切り換えて受信すると、聞きやすくなります。

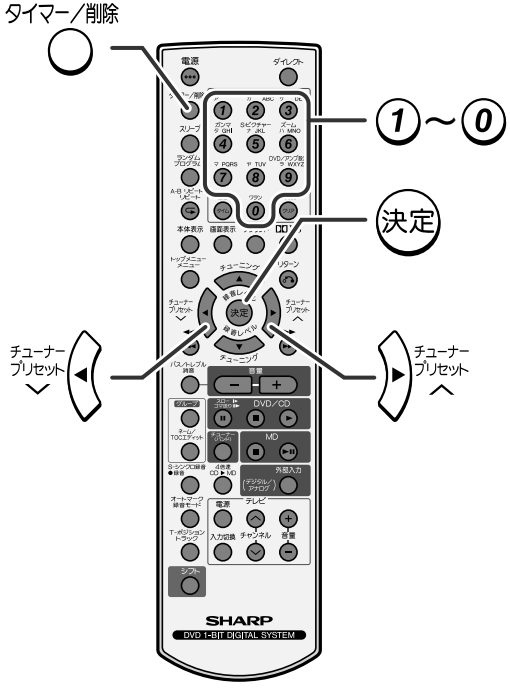


音量や音質を調整する（☞ P.26）

お知らせ

- テレビ音声は次の周波数で受信できます。
  1チャンネル　：FM 95.75MHz
  2チャンネル　：FM 101.75MHz
  3チャンネル　：FM 107.75MHz
- 自動同調しているとき、周囲に妨害電波があると、そこで停止することがあります。
  そのときは、手動同調をお使いください。
- この製品のテレビ音声受信回路は、FM 放送受信回路と兼用しています。
  このため、地域によっては、テレビの 2 または 3チャンネルの音声を受信したときに、FM放送が混信することがあります。
- テレビ音声多重放送は受信できません。
- テレビ音声やAM放送は、モノラルで受信されますので、ステレオにはなりません。

AM 放送・FM 放送を合わせて、40 局まで登録できます。

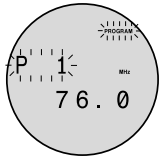


■ 放送局を登録する

❶ 登録したい放送局を受信したあと…

決定を押して、登録モードにする。

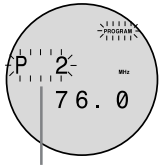
FM 放送のときは、ステレオ・モノラルのモードも記憶されます。



❷ 5 秒以内に…

チューナープリセット ◀ または ▶ チューナープリセット を押して、

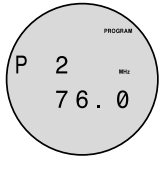
登録する番号を選ぶ。



登録する番号

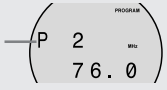
❸ 5 秒以内に…**決定を押す。**

- すでに登録されている番号に登録すると、前の登録内容は消えます。
- 他の放送局を登録するには、操作❶からの手順をくり返します。



■登録した放送局を呼び出すには

①～⓪で登録した番号を入力し決定を押す。



（例）28 局目②⑧→決定

ボタンを続けて押すときは、5秒以内に操作してください。

チューナープリセット ◀ または ▶ チューナープリセット を押して、呼び出すこともできます。

■登録した放送局をすべて消すには

1. タイマー/削除 を 3 秒以上押す。

2. 10秒以内に、決定を押す。

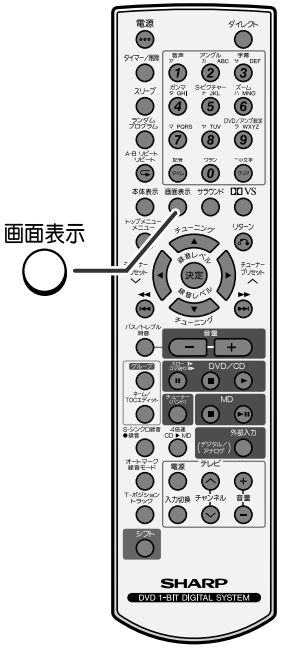
お知らせ ……

登録した放送局を 1 局ずつ消すことはできません。

ご注意 ……

半日以上電源コードを抜いていたり、停電があると、登録した放送局は消えます。そのときは、もう一度登録し直してください。

DVD や CD の表示内容を切り換える

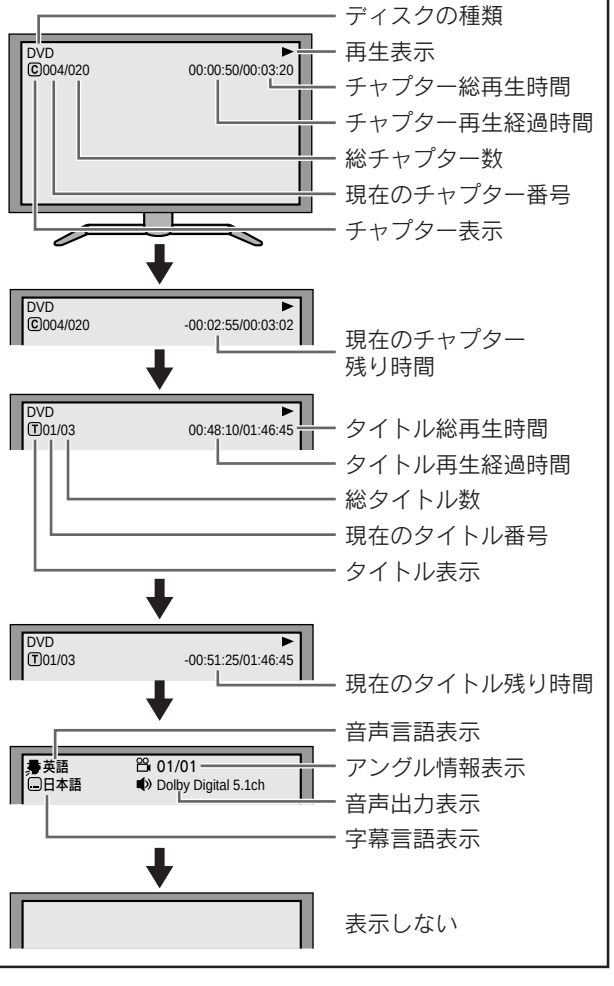


■ テレビ画面の表示を切り換える

DVD の場合

DVD

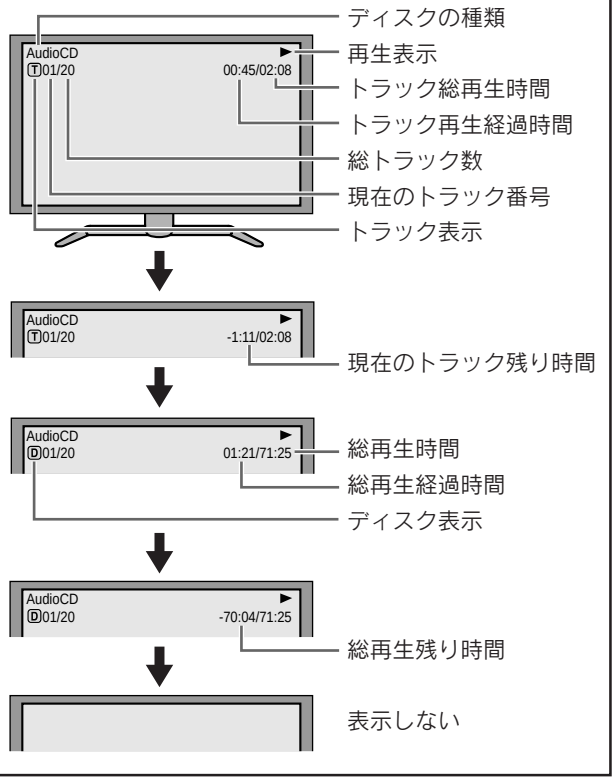
再生中に… 画面表示 を押すたびに、切り換わります。



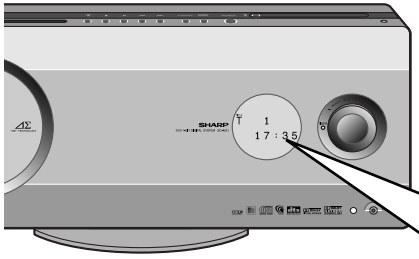
CD の場合

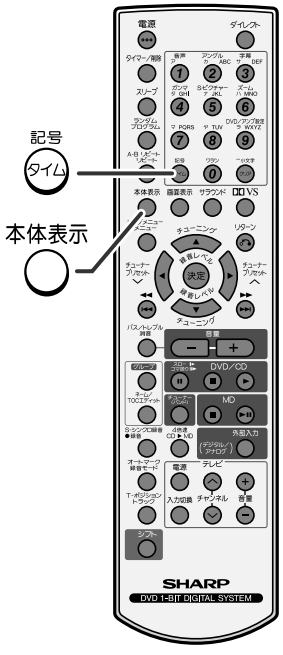
CD

再生中に… 画面表示 を押すたびに、切り換わります。



■ DVD プレーヤー表示部の表示内容を切り換える





DVD の場合

DVD

再生中に…

本体表示 を押すたびに、切り換わります。

タイトル再生経過時間

TITLE　T　1　17：35　DVD

レベルメーター

チャプター再生経過時間

CHAP　C　4　2：25

CD の場合

CD

再生中に…

本体表示 または 記号 タイム を押すたびに、切り換わります。

曲ごとの再生経過時間

TRACK　15　1：48　CD

本体表示

レベルメーター

記号 タイム

総再生経過時間

15　TOTAL　23：30

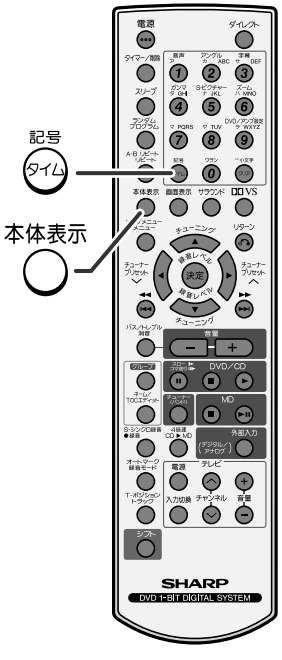
本体表示

レベルメーター

お知らせ

- ディスクによってはタイトル番号、チャプター番号、再生経過時間を表示しないものがあります。
- ジャケットなどに記載されている再生時間には、チャプターや曲間の無音時間が含まれていないものもあります。そのため、この製品での表示内容と合わないことがあります。
- 再生中の経過時間や残り時間の表示は、実際の時計の時間と異なることがあります。

MDの表示内容を切り換える

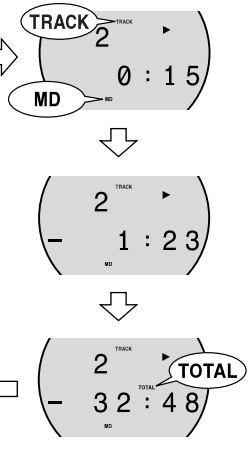


■ 時間表示を切り換える

MD

MDの再生中に…

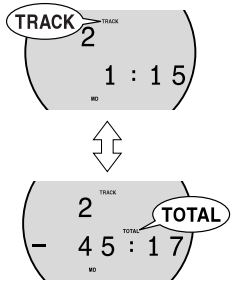
記号タイムを押すたびに、切り換わります。



（※）ランダム再生中は、表示しません。
グループ録音したMDのときは、再生中の曲が入っているグループの総再生残り時間を表示します。

MDの停止中に…

曲番を選び、記号タイムをくり返し押す。

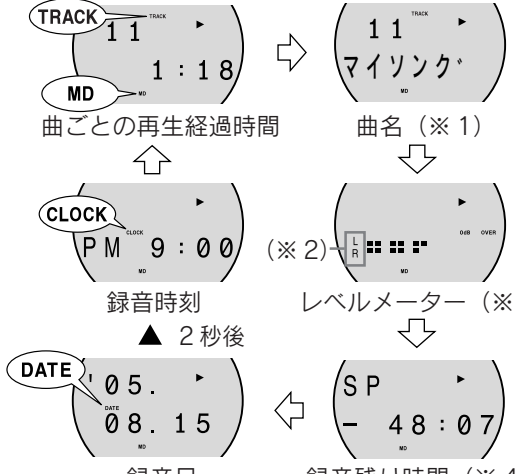


■ 曲名表示やレベルメーターに切り換える

MD

MDの再生中に…

本体表示を押すたびに、切り換わります。



（※1） 曲名が記録されていないときは“NO NAME”（ノー ネーム）と表示します。
（※2） モノラル録音された曲のときは“M”と表示します。（☞ P.58）
（※3） レベルメーターを表示すると、再生中はその表示のままになります。
MDを取り出すと、もとの表示に戻ります。
（※4） 再生専用MDは、録音残り時間は表示されません。

お知らせ

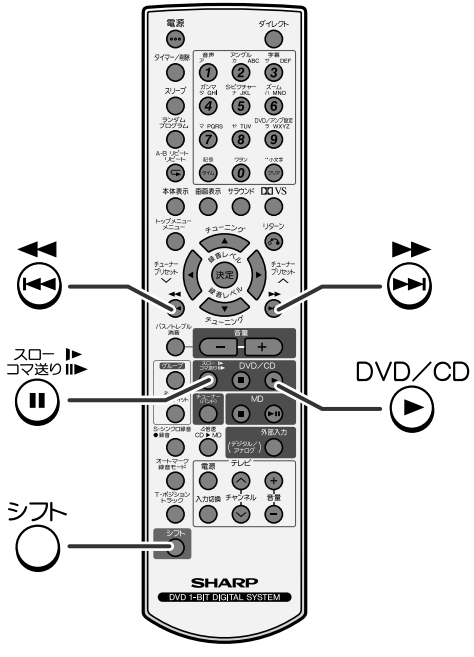
- ジャケットなどに記載されている再生時間には、曲の無音時間が含まれていないものもあるため、この製品での表示内容と合わないことがあります。
- 再生中の経過時間や残り時間の表示は、実際の時計の時間と異なることがあります。

よく使う操作

再生しているところを確認しながら早送り/早戻し(サーチ)することができます。画像を静止させることができます。(静止画再生)

また、静止画再生のときは、コマ送りすることもできます。(コマ送り再生)

再生する速度を遅くさせることができます。(スロー再生)



■ 早送り／早戻しをする（サーチ）

1 再生中に…
⏪または⏩を 2 秒以上押す。

例）⏩を押したとき
▶▶1

2 **⏪または⏩を押して、サーチ速度を選ぶ。**

- 押すたびに、次のようにサーチ速度が変わります。
  1（約 2 倍速）→2（約 8 倍速）→3（約 16 倍速）
- ⏩で早送り、⏪で早戻しになります。
- DVDプレーヤー部の⏮または⏭で操作することもできます。

DVD CD

■通常の再生に戻すには
DVD／CD ▶を押す。

お知らせ ……
- ディスクによっては、サーチが禁止されているものがあります。
- DVDではタイトルをまたぐサーチはできません。
- DVD のサーチ中は音声や字幕が再生されません。
- DVDでサーチをしたとき、ディスクや再生しているシーンによっては、映像が本書に記載のサーチ速度にならないことがあります。

■ 静止画／コマ送りで見る（静止画再生／コマ送り再生）

1 再生中に… スロー コマ送り ⏸ **を押す。**
静止画再生になります。

2 静止画再生中に… スロー コマ送り ⏸ **を押す。**
押すたびに、コマ送りされます。

DVD

■通常の再生に戻すには
DVD／CD ▶を押す。

お知らせ ……
ディスクによっては、静止画再生やコマ送り再生が禁止されているものがあります。

■ スローモーションで見る（スロー再生）

1 再生中に… シフト **を押したまま** スロー コマ送り ⏸ **を押す。**
押すたびに、次のようにスロー速度が変わります。

1（約 1/2 倍速）→2（約 1/4 倍速）

DVD

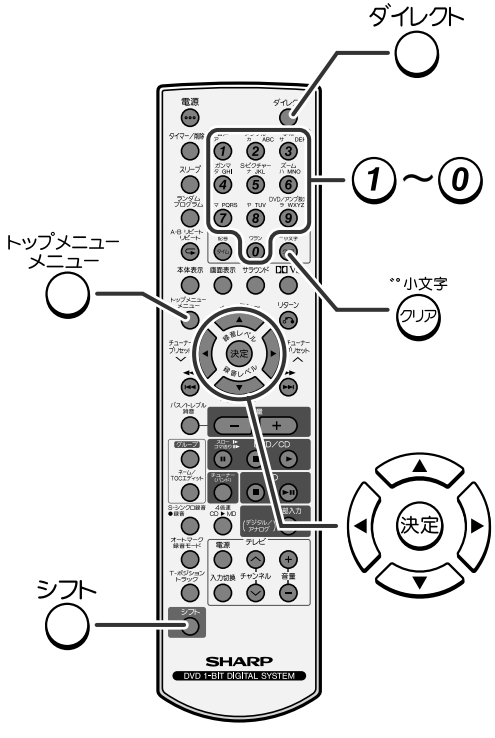
■通常の再生に戻すには
DVD／CD ▶を押す。

お知らせ ……
ディスクによっては、スロー再生が禁止されているものがあります。

ディスクの中を選んで再生する（タイトル・トラック・チャプター・タイムサーチ／トップメニュー）

好きなタイトル・トラックやチャプターを選んで再生（タイトル・トラック・チャプターサーチ）したり、時間を指定して再生（タイムサーチ）することができます。

複数のタイトルが入っているDVDでは、トップメニューからタイトルを選ぶことができます。



■ タイトル・トラックやチャプター、時間を指定して再生する（タイトル・トラック・チャプター・タイムサーチ）

DVD CD

❶ タイトル・トラックを選ぶ（タイトル・トラックサーチ）

（DVDの場合）
再生中に… ダイレクト を押す。

（CDの場合）
操作❷を行う。

例）DVD再生中の表示

タイトルサーチ_ _

チャプターを選ぶ（チャプターサーチ）

再生中に… ダイレクト を2回押す。

チャプターサーチ_ _ _

時間を指定する（タイムサーチ）

（DVDの場合）
再生中に… ダイレクト を3回押す。

（CDの場合）
再生中に… ダイレクト を押す。

タイムサーチ_ _：_ _：_ _

❷ 10秒以内に…①～⓪で入力し、決定を押す。

- タイムサーチをするとき、1時間23分40秒を指定するには、「12340」と入力してください。
- 数字をまちがえたときは、**小文字 クリア を押し、再度入力をしてください。

■指定のしかた

例）28曲目
②⑧→決定

お知らせ

- ディスクによっては、この操作ができないことがあります。
- ディスクによっては、チャプター番号が表示しないものがあります。
- DVDのチャプターを選んで再生するときは、操作❷だけでも再生できます。
- タイトル（トラック）をまたぐタイムサーチはできません。
- プログラム再生中は、この操作はできません。

■ ディスクのトップメニューからタイトルを選ぶ

DVD

❶ 停止中や再生中に…

シフト を押したまま トップメニュー メニュー を押す。

例）トップメニュー画面

1 ドラマ	2 アクション
3 SF	4 コメディー

❷ ◀または▶、▲または▼ を押してタイトルを選び、決定を押す。

- 選んだタイトルが再生されます。
- ディスクによっては、①～⓪を押してタイトルを選ぶこともできます。

お知らせ

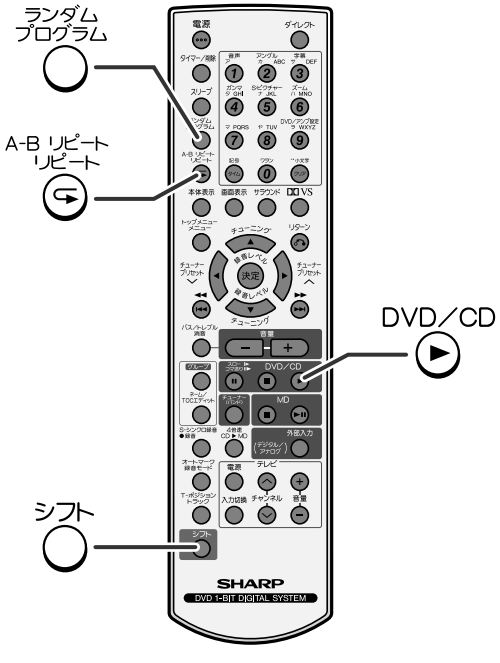
- 左記の手順は、基本的な操作手順です。
  DVDによっては手順が異なりますので、DVDの取扱説明書や画面に表示される手順に従って操作してください。
- DVDにトップメニューが記録されていないときは、トップメニューは表示されません。

くり返して再生する・順不同で再生する（A-Bリピート再生／リピート再生／ランダム再生）

指定した位置間をくり返して再生（A-Bリピート再生）することができます。

タイトル、トラック、チャプターなどを選んで、くり返し再生（リピート再生）することもできます。

またCDでは、順不同で再生（ランダム再生）することができます。



■ 指定した位置間をくり返して再生する（A-Bリピート再生）

1 再生中に… シフト を押したまま A-B リピート リピート を押す。

くり返したいはじめの位置(A)が登録されます。

2 もう一度… シフト を押したまま A-B リピート リピート を押す。

- くり返したい終わりの位置(B)が登録され、A-B 間がくり返して再生されます。
- もう一度 シフト を押したまま A-B リピート リピート を押すと、通常再生に戻ります。

■ くり返して再生する（リピート再生）

1 再生中に… A-B リピート リピート を押す。

押すたびにリピート再生モードは次のように変わります。

DVD の場合（テレビ画面表示）

「チャプター」→「タイトル」→「オフ（通常再生）」

CD の場合（テレビ画面表示）

「1（トラック）」→「ALL（ディスク）」→「オフ（通常再生）」

■ 順不同で再生する（ランダム再生）

1 停止中に… シフト を押したまま ランダム プログラム を押す。

2 DVD／CD を押す。

もう一度 シフト を押したまま ランダム プログラム を押すと、ランダム再生を解除することができます。

DVD CD

お知らせ

- ディスクによっては、A-Bリピート再生が禁止されているものがあります。
- A-Bリピート再生は同じタイトルの中で行ってください。
- プレーヤー表示部を見ながら登録することもできます。

DVD CD

ご 注 意

リピート再生は、止めるまで続きます。お聞きになったあとは、必ず停止してください。

お知らせ

- ディスクによっては、リピート再生が禁止されているものがあります。
- プログラム再生中にリピート再生を選ぶと、プログラム再生がくり返されます。

CD

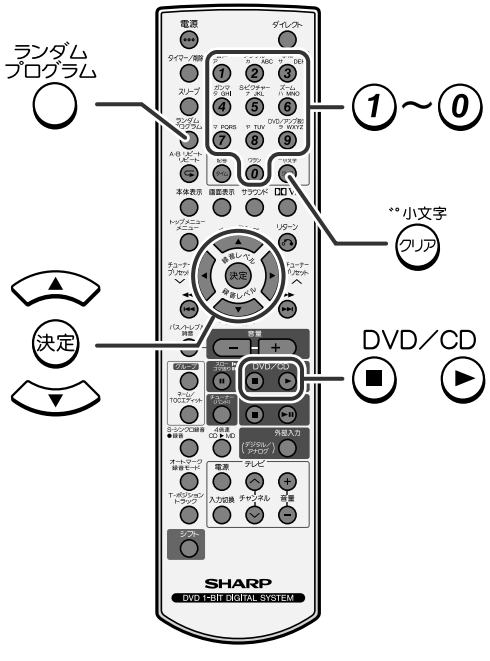
お知らせ

- 全曲を順不同に再生したあと、自動的に停止します。
- CD を停止すると、ランダム再生は解除されます。
- プログラム再生中は、ランダム再生はできません。
- ランダム再生は、この製品が自動的に曲を選んで再生します。（自分で選曲できません。）
- ランダム再生中は を押しても、聞いている曲以前への頭出しはできません。

好きな順に再生する（プログラム再生）

DVD
CD

好きなDVDのチャプターまたはCDのトラック順に再生することができます。最大32件まで登録することができます。（タイトルを好きな順に再生することはできません。）

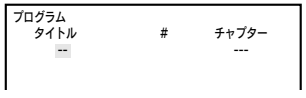


1 ディスクを入れたあと… DVD／CD ■ を押す。

2 ランダム プログラム を押す。

プログラム画面が表示されます。

例）DVDプログラムの表示



3 DVDのプログラムをするとき

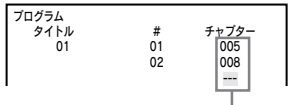
1. タイトル番号を選ぶ。

1～0 ⇨ 決定

タイトル番号

2. チャプター番号を選ぶ。

1～0 ⇨ 決定

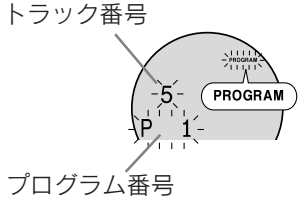


チャプター番号

CDのプログラムをするとき

トラック番号を選ぶ。

1～0 ⇨ 決定



- 引き続き別のチャプター番号またはトラック番号を登録するときは、くり返し操作します。
- 番号をまちがえたときは、▲または▼を押して取り消したい番号を選び、小文字 クリア を押します。

4 DVD／CD ▶ を押す。

登録した順番で再生したあと停止します。
停止すると、プログラム再生は解除されます。
ディスクを取り出すまで、登録内容を覚えています。

DVD CD

■登録内容を追加するには

DVD／CD ■ を押したあと、❷～❸の操作をします。

前に選んでいる番号のあとに、追加されます。

■登録内容を取り消すには

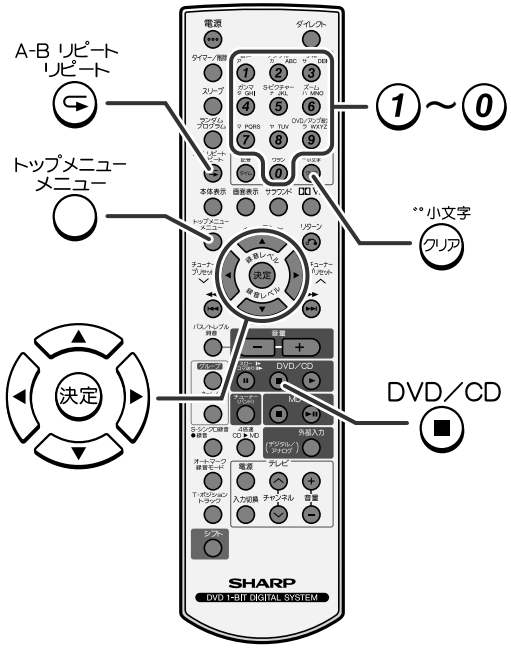
ランダム プログラム を押して、プログラム画面を表示させた後、小文字 クリア を3秒以上押します。
（ディスクを一度取り出しても取り消すことができます。）

お知らせ

- ディスクに記録されていないタイトル（トラック）番号やチャプター番号を入力しても登録されません。
- 再生中や一時停止中に登録することはできません。
- タイトル（トラック）やチャプターが記録されていないディスクやプログラム再生が禁止されているディスクでは、プログラム再生することはできません。
- 登録を途中で止めるときは、ランダム プログラム を押してください。
- 同じディスクでもう一度プログラム再生するときは、ランダム プログラム を押したあとで、DVD／CD ▶ を押してください。
- 別のタイトルのチャプターを同時に登録することはできません。

DVD-RW（VR モード）ディスクを再生するとき

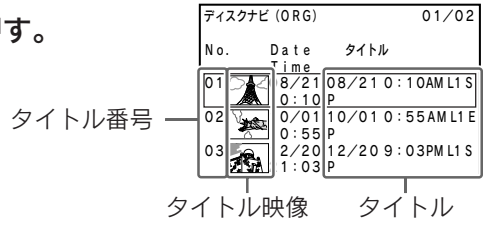
VRモード（ビデオレコーディングフォーマット）で記録されたDVD-RWディスクを再生するときは、画面に表示された映像から選んで再生することができます。（ディスクナビ）



■ 映像から選んで再生する（ディスクナビ）

❶ ディスクを入れたあと…
DVD／CD ■ **を押す。**

❷ トップメニュー メニュー **を押す。**



- ディスクナビ画面が表示されます。
- もう一度押すと、スタートアップ画面に戻ります。

❸ ▲または▼を押して、タイトルを選び決定を押す。

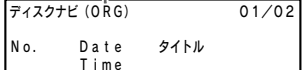
- 選んだタイトルの再生が始まります。
- タイトルが３つ以上ある場合は、▼を押していくとページが切り換わります。

● 「オリジナル（ORG）」と「プレイリスト（PL）」を切り換える

ディスクナビ画面表示中に、

◀または▶を押して切り換える。

ORG または PL



プレイリストが作成されているディスクのみ切り換えできます。

● リピート再生をする

再生中に、A-B リピート リピート をくり返し押す。

「チャプター※」→「タイトル」→「オフ（通常再生）」

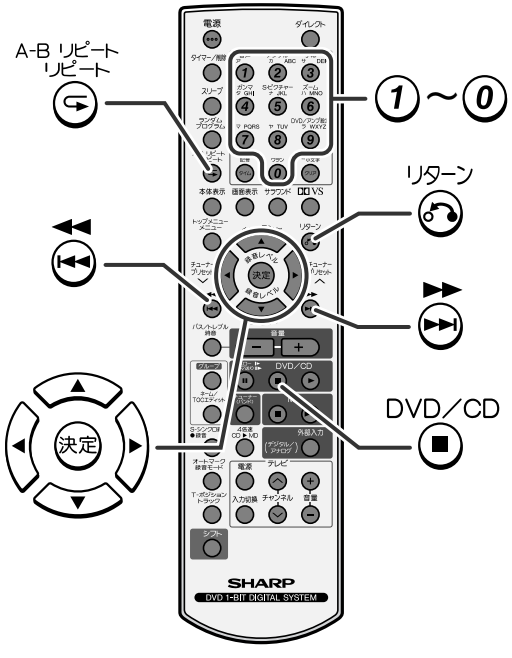
※「チャプター」では、タイトルのリピート再生になります。

お知らせ

- 記録した機器やディスクによっては、再生できないものがあります。
  また、音声および、画像が途切れることがあります。
- 漢字、ひらがな、カタカナのタイトルは表示できません。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。
- ▲、▼のかわりに、1～0を押してもタイトル番号を選ぶことができます。（タイトル番号をまちがえたときは、小文字 クリアを押すと、取り消すことができます。）
- ディスクナビ画面を表示したとき、タイトル映像が出るまでには多少時間がかかります。

MP3・WMA・JPEGディスクを再生するとき

MP3・WMA・JPEGファイル形式で記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。



JPEGファイルを再生したときは…

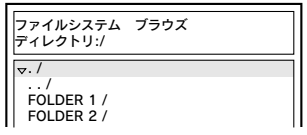
静止画像が再生されます。

- ◀または▶で画像を回転することができます。
- ▲または▼で画像を垂直方向に反転することができます。
- DVDと同様に、「シフト」と「ズーム」で画像を拡大して見ることもできます。
（☞ P.47 参照）

■ MP3・WMA・JPEGディスクを再生する

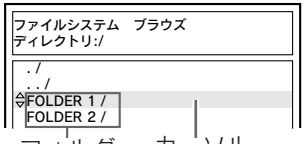
❶ ディスクを入れたあと…
DVD／CD ■ **を押す。**

フォルダ選択画面が表示されます。



❷ ◀または▶、▲または▼ **を押してフォルダを選び、決定を押す。**

リターン を押すと、1つ前の階層に戻ります。



❸ ◀または▶、▲または▼ **を押してファイルを選び、決定を押す。**

選んだファイルから再生が始まります。

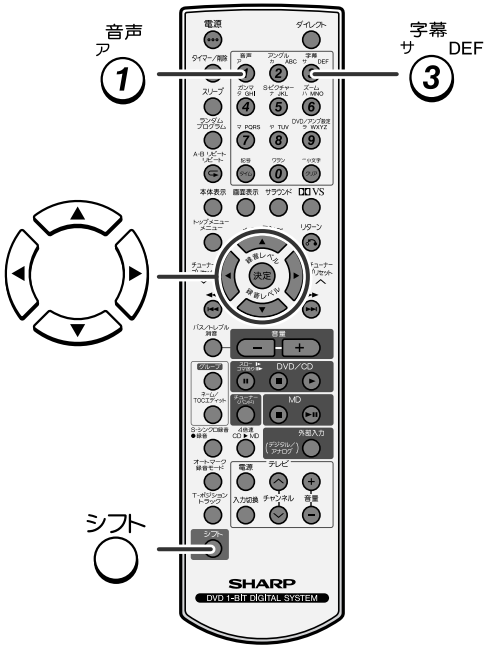
- **スキップをする**
  再生中に、◀◀または▶▶**を押す。**
- **サーチをする**（2倍速サーチのみ）
  再生中に、▶▶**を2秒以上押す。**
- **リピート再生をする**
  再生中に、A-B リピート **をくり返し押す。**
  「ファイル」→「ディレクトリ（フォルダ）」→「オフ（通常再生）」

お知らせ ……

- 記録した機器やディスクによっては、再生できないものがあります。
- JPEGファイルは、データ容量の大きさにより、読み取りに時間がかかったり、再生できないものもあります。
- ▲、▼のかわりに、1～0を押してファイルを選ぶことができます。
- 記録されているファイルの順番通りに再生されないことがあります。
- フォルダ名やファイル名の文字や記号によっては、正しく表示されないものがあります。
- 認識できる階層は、フォルダ、ファイルを含め8階層までです。
- ファイルは999件まで認識できます。
- フォルダ数が多いときは、読み取りに時間がかかります。
- MP3・WMAファイルのサーチは▶▶方向のみです。◀◀方向のサーチはできません。

DVD を再生中にいろいろな設定を変える

字幕言語や音声言語を変更しても、電源を切ったり、ディスクを入れ換えると、初期設定で設定している字幕言語や音声言語になります。いつも希望する字幕言語や音声言語にしたいときは、初期設定画面で希望する言語を設定してください。（☞ P.50）



■ 字幕言語を変更する

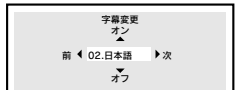
再生中に、字幕言語を変更したり、消したりすることができます。

1 再生中に…
シフト を押したまま 字幕 3 を押す。

2 ▲ を押して、字幕言語をハイライト表示させる。

ハイライト表示

3 ◀ または ▶ を押して、字幕言語を選ぶ。



押すたびに、DVDに含まれている字幕言語が切り換わります。

（例）「英語」→「日本語」→ … →「スペイン語」

字幕を消すには、字幕言語の選択中に ▼ を押して、ハイライト表示を解除します。

4 シフト を押したまま 字幕 3 を押して設定を終了する。

■ 音声言語（音声出力）を変更する

再生中に、音声言語（音声出力）を変更することができます。

1 再生中に…
シフト を押したまま 音声 1 を押す。

オーディオ切り替え
01.英語 Dolby Digital 5.1ch

2 シフト を押したまま 音声 1 を押して、音声言語（音声出力）を選ぶ。

押すたびに、音声言語（音声出力）が切り換わります。

（例）

オーディオ切り替え
01.英語 Dolby Digital 5.1ch

1：オリジナル<英語>
（ドルビーデジタル 5.1ch サラウンド）

オーディオ切り替え
02.日本語 Dolby Digital 2.0ch

2：日本語
（ドルビーデジタル 2ch）

お知らせ

- DVDによっては、字幕言語の変更ができないものがあります。
- 字幕が記録されていないディスクのときは「⊘」が表示されます。
- 選んだ字幕言語に切り換わるまで、少し時間がかかることがあります。

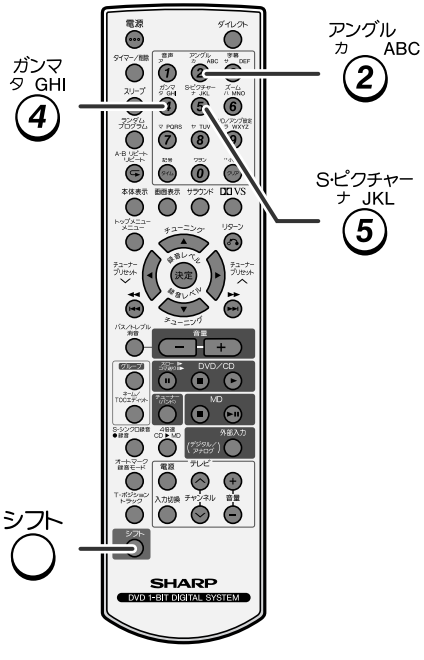
ご注意

本機で DTS 方式のディスクを再生しても、映像は表示されますが、音声は出ません。音声を聞くためには、「音声言語の設定」をDTS方式以外の音声出力に設定してください。
（ドルビーデジタル2chなど）
DTS デジタルサラウンド対応プロセッサーなどと接続すると、DTS音声を聞くことができます。（☞ P.86）

お知らせ

音声言語や音声方法の種類については、ディスクの取扱説明書をごらんください。

DVDを再生中にいろいろな設定を変える（続き）



■ 画像を明るくする

再生中に画像の明るさを調整することができます。

❶ 再生中に… シフト を押したまま ガンマ タ GHI ④ を押す。 G +1

❷ シフト を押したまま ガンマ タ GHI ④ を押して、 G +2

レベルを設定する。

押すたびに明るさが切り換わります。

レベル	設定内容
オフ	通常の画像
+1	少し明るく
+2	より明るく
+3	さらに明るく

■ もとの明るさに戻すには

操作❷で、「**オフ**」を選びます。

■ 画質を変更する

再生中に画質を変更することができます。

❶ 再生中に… シフト を押したまま S·ピクチャー ナ JKL ⑤ を押す。 ピクチャー モード - ブライト

❷ シフト を押したまま S·ピクチャー ナ JKL ⑤ を押して、 ピクチャー モード - マイルド

レベルを設定する。

押すたびに画質が切り換わります。

レベル	設定内容
標準	通常の画質
ブライト	鮮明な画質に
マイルド	やわらかな画質に
白黒	白黒に

■ もとの画質に戻すには

操作❷で、「**標準**」を選びます。

■ アングルを変更する

DVDにアングルが記録されていると、1つの場面をいろいろな角度で見ることができます。

❶ プレーヤー表示部に「ANGLE」が表示されたら…

シフト を押したまま アングル カ ABC ② を押す。 02/05

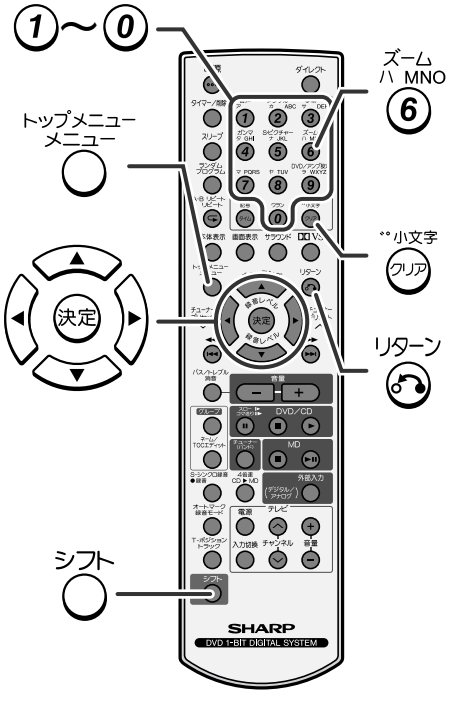
❷ シフト を押したまま アングル カ ABC ② を押して、 03/05

アングル番号を選ぶ。

押すたびに、アングルが切り換わります。

お知らせ

- DVDによっては、アングルの変更が禁止されているものがあります。
- アングルが記録されていないディスクでは、アングル番号は表示されません。「⊘」が表示されます。
- ディスクによっては操作が異なりますので、ディスクの取扱説明書をごらんください。



■ 画像を拡大表示する（ズーム）

画像を拡大／縮小して表示させることができます。

1 一時停止中や再生中に…

シフト ◯ **を押したまま**

ズーム ハ MNO ⑥ **を押す。**

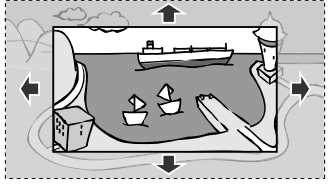
Z +1

-5（縮小）～0（通常画面）～+5（拡大）

- 押すたびに、画像は拡大します。
- 画像を縮小するには リターン を押します。

2 拡大した部分を移動するには、ズーム中に･･･

◀または▶、▲または▼ **を押す。**



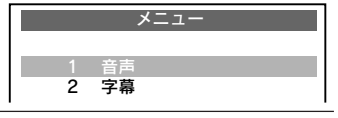
■ ディスクのメニューから字幕や音声などを変更する

メニューが記録されているDVDでは、ディスクのメニューから字幕や音声言語、音声出力などを変更することができます。

1 停止中や再生中に…

トップメニュー メニュー **を押す。**

メニュー画面の例



2 ◀または▶、▲または▼ **を押して設定を変更し、決定を押す。**

①～⓪で変更できるディスクもあります。

■通常の画面に戻すには

小文字 クリア を押す。

お知らせ ……

- ズーム切換のとき、画面が乱れることがあります。
- 字幕はズームされません。
- 拡大した画面の移動中に「⊘」が表示されると、それ以上移動できません。

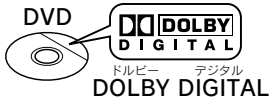
お知らせ ……

- 左記の手順は、基本的な操作手順です。
  DVD によっては手順が異なりますので、DVDの取扱説明書や、画面に表示される手順に従って操作してください。
- プログラム再生中は、ディスクのメニューから設定することはできません。

いろいろな音声を楽しむ（サラウンド）

この製品は、ドルビーデジタル方式・デジタル放送のAAC方式を再現する各種デコーダーを搭載しています。ドルビーバーチャルスピーカーやドルビープロロジックIIなど各種サラウンド機能により、2本のスピーカーで迫力あるサウンドを楽しむことができます。

ドルビーデジタル方式のDVD



ドルビー　デジタル
DOLBY DIGITAL

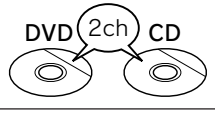
DVDに記録されている、劇場向けデジタル音声システムの1つです。立体的な音響効果が得られ、本格的なホームシアターシステムが楽しめます。

AAC方式のBSデジタル放送

アドバンスド　オーディオ　コーディング
AAC（Advanced Audio Coding）

BSデジタル放送に採用されている、デジタル音声システムです。デジタルチューナーを光デジタルケーブルを使って接続したときは、高音質が楽しめます。（☞ P.85）

2chのDVDやCD



DVDやCDの2chステレオ音声をドルビープロロジックII機能により、5.1chのサラウンド音声に拡張することができます。ドルビーバーチャルスピーカー機能との連携動作により、5.1chサラウンド音声が楽しめます。

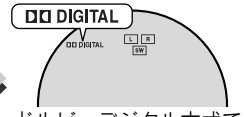
DTS方式のDVDは…

デジタル　シアター　システムズ
(Digital Theater Systems)

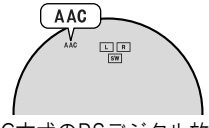
DVDに記録されている、劇場向けデジタル音声システムの1つです。この製品では、DTS方式のディスクをそのまま再生すると映像は表示されますが、音声は出ませんので、DTSデジタルサラウンド対応プロセッサーなどと接続することにより、DTS音声を楽しむことができます。（☞ P.86）

MDやラジオ放送、MP3・WMAディスクを再生中は…

音声信号の表示

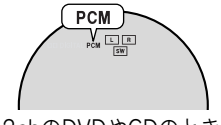


ドルビーデジタル方式で記録されているDVDのとき



AAC方式のBSデジタル放送の音声を入力したとき

リニアPCM



2chのDVDやCDのとき

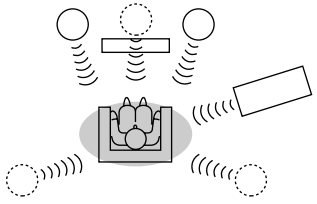
DTS方式で記録されたDVDのとき

（表示されません。）

あらかじめ、45ページの「音声言語（音声出力）を変更する」の操作をしてお望みの音声に切り換えてください。

5.1ch サラウンド音声で聞く (DOLBY VIRTUAL SPEAKER)

5.1ch の DVD（ドルビーデジタル方式）や BS 放送（AAC 方式）または、ドルビープロロジック II で変換された 5.1ch 音声を聞くとき、2 本のスピーカーでも5.1ch サラウンドを楽しめるスピーカーバーチャル技術の一つです。5.1chスピーカーを鳴らしたときに得られる響きの特性をリアルな仮想サラウンドで楽しむことができます。

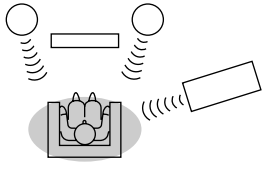


2chのDVDやCDのときのみ点灯します。DD PRO LOGIC II

DVS

DD VS を押して ⇨ DVS ON “DVS ON” にする

2ch ステレオ音声で聞く



❶ DD VS を押して ⇨ DVS OFF “DVS OFF” にする

❷ サラウンド を押して切り換える ⇨

STANDRD
標準のステレオ音声を楽しめます。
•お好みのバス・トレブルに調整することができます。(☞ P.26)

MUSIC
歯切れの良いメリハリのある音声が楽しめます。

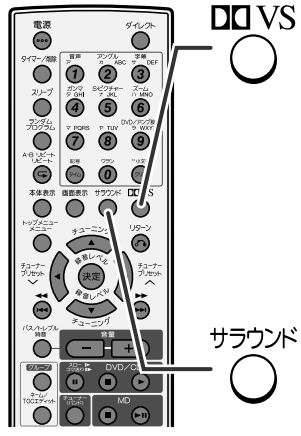
MOVIE
低音のレベルが増えより迫力のある音声が楽しめます。

サラウンド を押す。

1 回押すと最後に設定した内容が表示され、2 秒以内に押すと「入」、「切」が切り換わります。

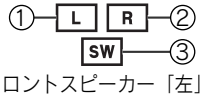
SURR ON
広がりのある音声が楽しめます。
• お好みのバス・トレブルに調整することができます。(☞ P.26)

SURR OFF
標準のステレオ音声が楽しめます。
•お好みのバス・トレブルに調整することができます。(☞ P.26)



お知らせ ……

- 録音中は、ドルビーバーチャルスピーカー機能や、サラウンドの設定を切り換えることはできません。
- “DVS ON” のときおよび、サラウンドの設定が “MUSIC” や “MOVIE” のときは、バス・トレブルを調整することはできません。
- MD やラジオ放送、MP3・WMA ディスクを再生中は、ドルビーバーチャルスピーカー機能、ドルビープロロジックII機能は働きません。
- スピーカー表示は、音声が出力されているスピーカーを表しています。

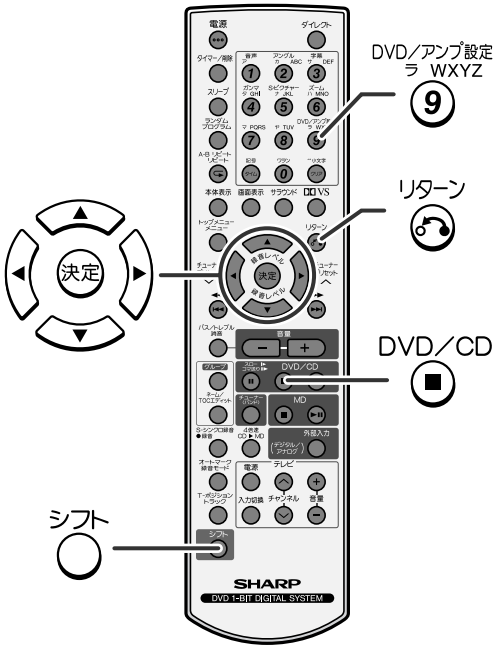


① フロントスピーカー「左」表示
② フロントスピーカー「右」表示
③ サブウーハー表示

DVDやアンプの初期設定を変える

DVD

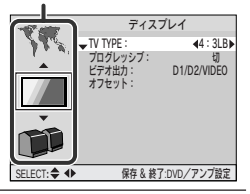
初期設定を変更すると、電源を切っても変更した内容を記憶しています。
もとに戻したり、変更するときは、もう一度設定し直してください。



❶ DVD／CD を押したあと、
シフト を押したまま DVD／アンプ設定 ラ WXYZ 9 を押す。

❷ ▲または▼を押して
設定項目を選び、決定を押す。

設定項目



❸ ◀または▶、▲または▼ を押して
項目を変更し、決定を押す。

設定した内容が登録されます。

続けて同じ項目内を変更するときは…
操作❸をくり返します。

他の設定項目を変更したいときは…
リターン を押したあと、操作❷からくり返してください。

❹ シフト を押したまま DVD／アンプ設定 ラ WXYZ 9 を押す。

設定を終了します。

お知らせ ……

- ディスクの再生中に、「パレンタル」設定や「DA出力」設定を変更することはできません。
- 項目や設定を選んでいるときに、リターン を押すと1つ前の画面に戻ります。

設定項目	選択できる項目		設定内容	参照ページ
言語	OSD：	日本語※…ドイツ語…ロシア語…	DVD ／アンプ設定や再生画面表示などの表示言語を設定します。	P.52
	オーディオ：	英語※…スペイン語…その他：_ _ _ _ …	音声、字幕、DVD メニューなどの言語を設定します。 設定した言語がディスクに記録されていないときは、ディスクで決められた言語が表示されます。	P.52
	字幕：	日本語※…ドイツ語…その他：_ _ _ _ …		
	DVD メニュー：	日本語※…ドイツ語…その他：_ _ _ _ …		
ディスプレイ	TV TYPE：	4：3 LB ※　16：9 4：3 PS	接続するテレビのタイプに合わせて設定します。	P.53
	プログレッシブ：	切※ 入	接続するテレビがプログレッシブスキャン方式に対応している場合は、「入」にすると高密度の映像が楽しめます。対応していない場合は「切」にしてください。	P.25、53
	ビデオ出力：	D1/D2/VIDEO ※ S-VIDEO	接続するテレビの端子に合わせて設定をします。	P.24、54
	オフセット：	X：40, Y：15 ※ X：0 ～ 80 Y：0 ～ 128	本機からテレビに出力されている映像の位置を、水平・垂直方向に調整します。	P.54
スピーカー	L Level： R Level：	0dB ※ (-10dB ～ +10dB)	フロントスピーカー「左」、「右」のスピーカー音量レベルを調整します。	P.54
サウンド	Dualmono：	ステレオ※ モノラル 左 モノラル 右 モノラル ミックス	モノラルの音声信号を 2 つ持つデュアルモノラル信号の音声をどのスピーカーから出力するかを設定します。	P.54
DA 出力 （再生中は設定できません。）	DOLBY DIGITAL：	STREAM ※ PCM	デジタル音声出力端子に他の機器を接続したときは、他の機器に合った音声出力に設定することができます。	P.86
パレンタル （再生中は設定できません。）	パレンタルレベル：	切※ 1 ～ 8	DVD ソフトの視聴制限のレベルを設定します。	P.55
	パスワードの変更：	4 ケタのパスワードを入力	パスワードを変更します。	

（※印は、お買いあげ時の設定）

DVDやアンプの初期設定を変える（続き）

■言語の設定

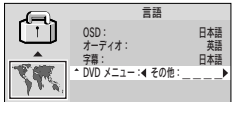
選択項目	設定内容
OSD	DVD／アンプ設定やメッセージなどの表示言語を設定します。 日本語に設定したとき　英語に設定したとき 読み込み中 → Reading
オーディオ	再生したい音声の言語を設定します。 優先的に設定した言語でセリフやナレーションが聞こえます。 日本語に設定したとき　英語に設定したとき ありがとう → Thank you
字幕	再生したい字幕の言語を設定します。 優先的に設定した言語で字幕が表示されます。 日本語に設定したとき　英語に設定したとき ありがとう → Thank you

選択項目	設定内容
DVD メニュー	再生したいディスクメニューの表示言語を設定します。 優先的に設定した言語でディスクメニュー画面が表示されます。 日本語に設定したとき　英語に設定したとき キャスト スタッフ → CAST STAFF

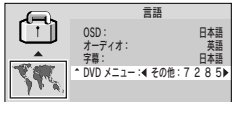
■その他の言語の設定

例）DVD メニュー言語に、7285（ハンガリー語）を選ぶ場合
設定したいメニュー言語の言語コードを確認する。
（言語コード一覧表 ☞ P.56）

① 初期設定画面で「言語」→「DVD メニュー」を選んだあと（☞ P.50：操作❶～❸）、「その他：＿＿＿＿」を選ぶ。



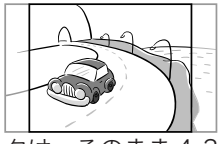
② ①～⓪を使って「７２８５」を押し、決定を押す。
数字をまちがえたときは、クリアを押し、再度入力をしてください。



③ シフトを押したまま、⑨を押す。

お知らせ
設定した言語がディスクに記録されていないときは、ディスクで決められた言語が再生（表示）されます。

■ テレビタイプ（TV TYPE）の設定

選択項目	設定内容
4:3 PS	ワイド画像（16：9記録）のディスクを再生したとき、画像の左右をカット（パンスキャン）して、4:3のサイズで映像を出力します。違和感の少ない画像を楽しむことができます。ただし、パンスキャン PS 指定のないワイド画像（16：9記録）のディスクは、4:3 LB で再生されます。  4:3 画像のディスクは、そのまま 4:3 で再生されます。
4:3 LB	ワイド画像（16：9記録）のディスクを再生したとき、画像の上下に黒い帯を入れて、4:3のサイズで映像を出力します。ワイド画像（16：9記録）の全体を楽しむことができます。 4:3 画像のディスクは、そのまま 4:3 で再生されます。
16:9	ワイド画像（16：9記録）のディスクを再生したとき、ワイド画像（16：9記録）のサイズで出力します。 • 4:3画像のディスクを再生したときは、接続したテレビの設定により表示が変わります。 • 4:3 のテレビを接続した状態で 16:9 を選んでいるとき、ワイド画像（16:9記録）のディスクを再生すると、縦長の画面になります。

お知らせ ……

画像の形が固定されているディスクでは、テレビの画面サイズを変更しても、画像の形は変わりません。

■ プログレッシブの設定

プログレッシブ対応のテレビにＤ端子ケーブル（またはＤ端子↔コンポーネント端子変換ケーブル）で接続し、ディスクを再生すると、ちらつきの少ないきれいな映像を楽しむことができます。

選択項目	設定内容
プログレッシブ「切」	プログレッシブ対応されていないテレビに接続したときは 、この設定にします。
プログレッシブ「入」	プログレッシブ対応のテレビに接続したときは、この設定にします。ちらつきの少ないきれいな映像を楽しむことができます。

プログレッシブ「切」

525 本の走査線のうち、まず奇数番目の走査線（262.5 本）を 1 ／ 60 秒で描きます。（この 1 画面を 1 フィールドと言います。）
次に偶数番目の走査線（262.5 本）を 1 ／ 60 秒で描きます。これで、合わせて走査線525本の1枚の完全な画像（この画像を1フレームと言います。）を作っていく方式のことです。

プログレッシブ「入」

1 フィールド目で 525 本の走査線を順番通りに描き、次のフィールドで再度同じ場所を 525 本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。

ご注意 ……

プログレッシブ対応されていないテレビのときは

この製品の「**プログレッシブ**」の設定を「**入**」にすると、テレビ映像が出なくなります。
そのときは、リモコンの シフト を押したまま、 DVD／アンプ設定 ラ WXYZ 9 を 3 秒以上押してください。
（「**プログレッシブ**」の設定が「**切**」に戻ります。）

プログレッシブ対応テレビの互換性

一部のプログレッシブ対応テレビは、この製品と完全な互換性が取れていないため、画像に乱れが生じる場合があります。不具合が生じた場合は、「**プログレッシブ**」の設定を「**切**」にしてください。

DVDやアンプの初期設定を変える（続き）

■ ビデオ出力の設定

テレビを接続した端子に合わせて設定をしてください。

選択項目	設定内容
D1/D2/VIDEO	D1/D2映像出力端子や、映像出力端子に接続したときは、この設定にします。
S-VIDEO	S映像出力端子に接続したときは、この設定にします。

ご注意

接続したテレビの端子に合わない設定をすると、映像が正しく表示されませんのでご注意ください。

■ 映像位置（オフセット）の設定

本機からテレビに出力されている映像の位置を水平・垂直方向に調整します。

選択項目	設定内容
X: 0～80	水平方向に調整します。
Y: 0～128	垂直方向に調整します。

■ スピーカーレベルの設定

左右のスピーカーから聞こえる音の大きさが合っていないときは、同じような音量レベルに調整します。

選択項目	設定内容
L Level: -10dB～+10dB	フロントスピーカー「左」の音量レベルを調整します。
R Level: -10dB～+10dB	フロントスピーカー「右」の音量レベルを調整します。

■ モノラル音声出力（Dualmono）の設定

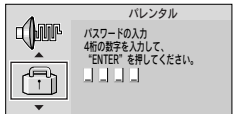
ドルビーデジタルやAACのデュアルモノラル信号を、どのスピーカーから出力するかを設定します。

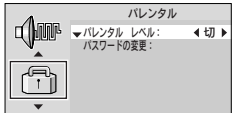
選択項目	設定内容
ステレオ	左右のモノラル音声を左右のフロントスピーカーから別々に出力します。
モノラル 左	左のモノラル音声を左右のスピーカーから同じ音声で出力します。
モノラル 右	右のモノラル音声を左右のスピーカーから同じ音声で出力します。
モノラル ミックス	左右のモノラル音声をミックスして、左右のフロントスピーカーから同じ音声で出力します。

■ 視聴制限（パレンタルレベル）の設定

① 初期設定画面で「パレンタル」を選んだあと4ケタのパスワードを ① ～ ⓪ で入力し、決定を押します。

- 始めてパスワードを入力するときは、「0000」を入力してください。





② ▲ または ▼ を押して、「パレンタルレベル」を選びます。

選択項目	設定内容
1	子供向けディスクを再生することができます。 成人向けディスクと一般向けディスク（R 指定を含む）は再生できません。 ・レベル 1 のディスクは誰でも楽しめる内容です。
2～3	子供向けディスクと一般向けディスク（R 指定を除く）を再生することができます。成人指定ディスクと一般向け制限付き(R 指定）ディスクは再生できません。
4～7	子供向けディスクと一般向けディスク（R 指定を含む）を再生することができます。成人指定ディスクは再生できません。 ・レベル4 ～7のディスクは中学生以下が見ることができない内容です。
8	すべてのディスクを制限なしに再生することができます。 ・レベル8のディスクは成人しか見ることができない内容です。
切	視聴制限を解除します。

③ シフト を押したまま DVD/アンプ設定 ラ WXYZ ⑨ を押します。

お知らせ

視聴制限が記録されているディスクを再生中に、見ることができない場面では、視聴制限の一時変更画面が表示されることがあります。そのときは、パスワードを入力して一時的に視聴制限レベルを変更することができます。

■ パスワードの変更

「パレンタルレベル」の設定の ② 番の操作のとき「パスワードの変更」を選ぶと、変更することができます。

- パスワードを忘れたときは DVD/CD ■ を4回押したあと決定を押すと、パスワードは解除されます。

■ DVD やアンプの設定をお買いあげ時の設定に戻したいときは

① 電源が切れているときに…

DVD プレーヤー部の DVD ▲ と TUNER (BAND) を押したまま、POWER を押す。

② リモコンの ▲ または ▼ を押して、"**DVD INIT**" を選ぶ。

DVD INIT：DVD ／アンプ初期設定をリセットします。

③ リモコンの決定を押す。

DVD
COMPLET

登録した内容は消え、各種の設定はお買いあげ時の状態に戻ります。

DVDやアンプの初期設定を変える（続き）

■ 言語コード一覧表

言語コード	言語名
6565	アファル語（aa）
6566	アブバジア語（ab）
6570	アフリカーンス語（af）
6577	アムハラ語（am）
6582	アラビア語（ar）
6583	アッサム語（as）
6589	アイマラ語（ay）
6590	アゼルバイジャン語（az）
6665	バジキール語（ba）
6669	ベラルーシ語（be）
6671	ブルガリア語（bg）
6672	ビハーリー語（bh）
6673	ビスラマ語（bi）
6678	ベンガル語、バングラ語（bn）
6679	チベット語（bo）
6682	ブルトン語（br）
6765	カタロニア語（ca）
6779	コルシカ語（co）
6783	チェコ語（cs）
6789	ウェールズ語（cy）
6865	デンマーク語（da）
6869	ドイツ語（de）
6890	ブータン語（dz）
6976	ギリシャ語（el）
6978	英語（en）
6979	エスペラント語（eo）
6983	スペイン語（es）
6984	エストニア語（et）
6985	バスク語（eu）
7065	ペルシャ語（fa）
7073	フィンランド語（fi）
7074	フィジー語（fj）
7079	フェロー語（fo）
7082	フランス語（fr）
7089	フリジア語（fy）

言語コード	言語名
7165	アイルランド語（ga）
7168	スコットランドゲール語（gd）
7176	ガルシア語（gl）
7178	グアラニ語（gn）
7185	グジャラート語（gu）
7265	ハウサ語（ha）
7269	ヘブライ語（he）
7273	ヒンディ語（hi）
7282	クロアチア語（hr）
7285	ハンガリー語（hu）
7289	アルメニア語（hy）
7365	国際語（ia）
7368	インドネシア語（id）
7369	国際語（ie）
7375	イヌピック語（ik）
7378	インドネシア語（in）
7383	アイスランド語（is）
7384	イタリア語（it）
7387	ヘブライ語（iw）
7465	日本語（ja）
7473	イディッシュ語（ji）
7487	ジャワ語（jw）
7565	グルジア語（ka）
7575	カザフ語（kk）
7576	グリーンランド語（kl）
7577	カンボジア語（km）
7578	カンナダ語（kn）
7579	韓国語（ko）
7583	カシミール語（ks）
7585	クルド語（ku）
7589	キルギス語（ky）
7665	ラテン語（la）
7678	リンガラ語（ln）
7679	ラオス語（lo）
7684	リトアニア語（lt）

言語コード	言語名
7686	ラドビア語、レット語（lv）
7771	マダカスカル語（mg）
7773	マオリ語（mi）
7775	マケドニア語（mk）
7776	マラヤーラム語（ml）
7778	モンゴル語（mn）
7779	モルダビア語（mo）
7782	マラータ語（mr）
7783	マレー語（ms）
7784	マルタ語（mt）
7789	ミャンマー語（my）
7865	ナウル語（na）
7869	ネパール語（ne）
7876	オランダ語（nl）
7879	ノルウエー語（no）
7967	プロバンス語（oc）
7977	アファン語（オロモ語）（om）
7982	オリヤー語（or）
8065	パンジャブ語（pa）
8076	ポーランド語（pl）
8083	パシュトー語（ps）
8084	ポルトガル語（pt）
8185	ケチュア語（qu）
8277	ラエティ＝ロマン語（rm）
8278	キルンディ語（rn）
8279	ルーマニア語（ro）
8285	ロシア語（ru）
8287	キニャルワンダ語（rw）
8365	サンスクリット語（sa）
8368	シンド語（sd）
8371	サンゴ語（sg）
8372	セルビアクロアチア語（sh）
8373	シンハラ語（si）
8375	スロバキア語（sk）
8376	スロベニア語（sl）

言語コード	言語名
8377	サモア語（sm）
8378	ショナ語（sn）
8379	ソマリ語（so）
8381	アルバニア語（sq）
8382	セルビア語（sr）
8383	シスワティ語（ss）
8384	セストゥ語（st）
8385	スンダ語（su）
8386	スウェーデン語（sv）
8387	スワヒリ語（sw）
8465	タミール語（ta）
8469	テルグ語（te）
8471	タジク語（tg）
8472	タイ語（th）
8473	ティグリニャ語（ti）
8475	トゥルクメン語（tk）
8476	タガログ語（tl）
8478	セツワナ語（tn）
8479	トンガ語（to）
8482	トルコ語（tr）
8483	ツォンガ語（ts）
8484	タタール語（tt）
8487	トウィ語（tw）
8575	ウクライナ語（uk）
8582	ウルドゥ語（ur）
8590	ウズベク語（uz）
8673	ベトナム語（vi）
8679	ボラピュク語（vo）
8779	ウォロフ語（wo）
8872	コーサ語（xh）
8973	イディッシュ語（yi）
8979	ヨルバ語（yo）
9072	中国語（zh）
9085	ズール語（zu）

録音する前に、知っておいていただきたいこと

■ 試し録音について

- 大切な録音をする前に、あらかじめ試し録音をして、正常に録音されることを確かめてください。
  （CD から MD に試し録音するときは、定速で録音してください。）
- 本機を使用中に、万一この製品の不具合により、録音されなかったとき、もしくは消去されたときの内容の補償については、ご容赦ください。

■ 音楽著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。（☞ P.93）

■ MD の４倍長時間録音（LP4）についてのご注意

４倍長時間録音（LP4）は、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音される場合があります。音質を重視する録音を行うときには、ステレオ録音（SP）または２倍長時間録音（LP2）をおすすめします。

ご注意

テレビ・パソコン・携帯電話などの機器の近くでは、録音しないでください。録音に雑音が入ることがあります。
そのときは、それらの機器の電源を切るか、この製品との距離をできるだけ離してお使いください。

お知らせ

- ２倍・４倍長時間録音（LP2・LP4）をした曲は、２倍・４倍長時間再生に対応していない機器では再生できません。
- CD のキズ、汚れや記録状態により、４倍速で録音した MD に音切れや雑音が生じることがあります。このときは、定速で録音してください。
- 録音中に、音量や音質などを調整しても、録音には影響ありません。
- 録音中、DVD プレーヤー部に衝撃や振動を与えないでください。音とびを起こす原因となります。
- MDに録音をする前に日付・時刻を合わせておくと、録音した日時が記録されます。（録音中に、日付・時刻を合わせても、録音日時は記録されません。）
- 再生専用 MD（市販の音楽ソフト）には録音できません。
- Hi-MD 専用のディスクは使用できません。

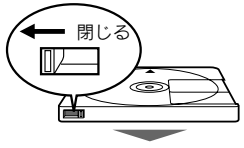
■ MD の誤消去防止について

録音用 MD には、誤消去防止用のツマミがついています。

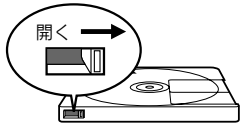
何のためについているの？

誤消去防止用ツマミを開いておくと、“PROTECT（プロテクト）” と表示され録音や編集ができないようになっています。
そのため、大切な録音を誤って消さないようにすることができます。

録音や編集を始めるときは

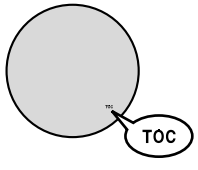


録音が終わったら



■ MDのTOC（トック）(Table of Contents)について

録音や編集をすると、画面に “TOC（トック）” が表示されます。
TOC とは、曲番や音声を認識するための目次情報です。
再生時の頭出しがすばやくできたり、空いている場所に録音できるのは、この TOC で MD 全体を管理しているからです。



“TOC” 表示	意　味	
TOC 表示中 ⇩	録音や編集によって、TOC の情報が変更されていることを表しています。 **録音や編集した情報は、MDには記録されていません。**	未登録
TOC 点滅中 ⇩	録音や編集した情報を MD に記録中です。 **このようなときに記録されます。** • 録音を停止したとき　• 入力を切り換えたとき • MD を取り出したとき　• 電源を切ったとき	記録中
消灯	**録音や編集した情報が MD に記録されました。**	記録完

ご注意

録音中や “TOC（トック）” が表示中または点滅中に電源コードを抜いたり、DVD プレーヤー部に衝撃を与えないでください。TOC が正しく記録されず、録音や編集した情報が記録されません。

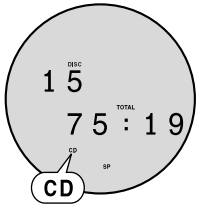
CDの1曲目からまるごと曲を録音する

（CD▶MDエディット）

録音の準備

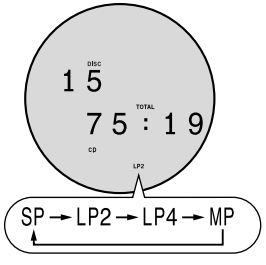
① 電源を入れる。
② 録音したいCDを入れる。
③ 録音用MDを入れる。

1 DVD/CD ■ を押す。



入力が「CD」になります。

2 オートマーク 録音モード ◯ を押して、録音モードを選ぶ。



押すたびに切り換わります。

3 録音を開始する。

4倍速で録音

シフト ◯ を押したまま 4倍速 CD▶MD を押す。

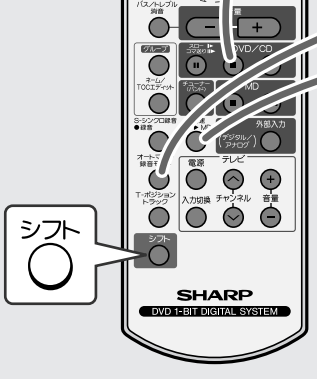
定速で録音

4倍速 CD▶MD ◯ を押す。

"WAIT-※※m"（ウエイト）と表示されたら、しばらくお待ちください。（☞ P.92）

- "Can't COPY"（キャント コピー）と表示されたら、アナログ方式で録音してください。（☞ P.59）
- CDの1曲目から順番に録音が始まり、録音が終わるとCDとMDは停止します。

録音できない曲があるときは



MDの録音モードについて

SP、LP2、LP4、MPの4種類の方式があり、最大4倍の長時間録音ができます。

表示	録音モード	録音時間（80分のMDの場合）
SP	ステレオ録音	最大80分（標準）
LP2	2倍長時間録音（ステレオ）	最大160分（標準録音時間の2倍）
LP4	4倍長時間録音（ステレオ）	最大320分（標準録音時間の4倍）
MP	モノラル録音	最大160分（標準録音時間の2倍）

- 録音中は切り換えができません。
- 録音モードの設定は、次に変更するまで変わりません。

■ 録音を停止するには

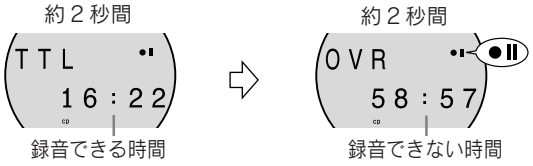
DVD/CD ■ または MD ■ を押す。

CDとMDが停止したあと、MDに曲番を書き込みます。
録音中に一時停止することはできません。

お知らせ

- **4倍速で録音中は、音は聞こえません。**
- CDまたは、CD-R/CD-RWディスクから、MDへ4倍速録音したときは、ディスクの記録状態によっては、正常に録音されないことがあります。そのときは、定速で録音してください。
- CDによっては、4倍速録音の時間に誤差の生じる場合があります。
- 録音レベルを調整することはできません。

■ 録音が始まらないとき



CDの全曲がMDに録音できないときは、上のように表示されて、録音が始まりません。

（録音できない時間をもう一度確かめるには、記号タイムを押します。）
表示が出たあとに…

録音できる曲だけ録音するとき

４倍速で録音

もう一度、シフトを押したまま4倍速 CD▶MDを押す。

定速で録音

もう一度、4倍速 CD▶MDを押す。

録音しないとき

MD■を押す。

■ “Can't COPY” と表示されたとき

CD-R/CD-RW ディスクから MD へ録音するときに、“Can't COPY” と表示されることがあります。これは著作権保護を目的として、デジタル録音を制限するものです。そのときは、次のように録音してください。

1. **DVD／CD■を押す。**
2. **オートマーク 録音モードを押して、録音モードを選ぶ。**
3. **オートマーク 録音モードを３秒以上押して、“ANALOG”を点灯させる。**（アナログ録音）
4. **4倍速 CD▶MDを押して、録音を開始する。**
   ４倍速で録音することはできません。

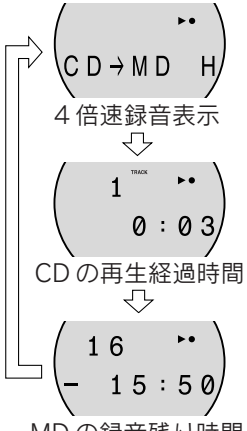
お知らせ

CDを取り出したり、他の入力に切り換えたり、電源を切ると、録音の設定はデジタルに戻ります。（“ANALOG”が消灯）

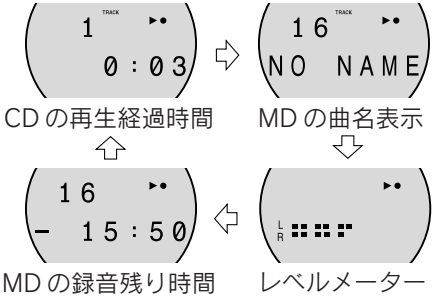
■ 録音中の表示を切り換えるには

録音中に、本体表示を押すたびに切り換わります。

４倍速録音のとき



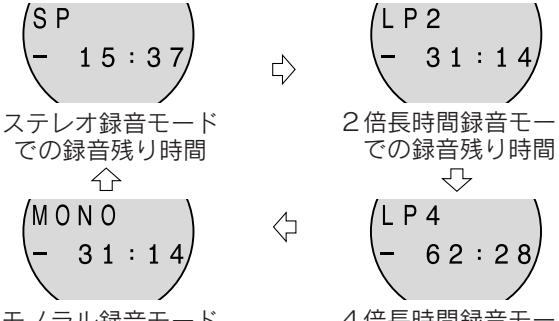
定速録音のとき



- レベルメーターやMDの録音残り時間に切り換えると、録音中はその表示のままになります。
- モノラル録音モード（MP）にしても、録音中のレベルメーターはステレオ表示されます。

■ 録音モードや録音残り時間を確かめるには

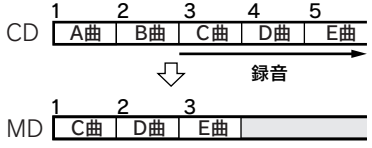
MD■を押して入力を「MD」にし、オートマーク 録音モードを押すたびに切り換わります。
録音モードに合った録音時間を確認することができます。

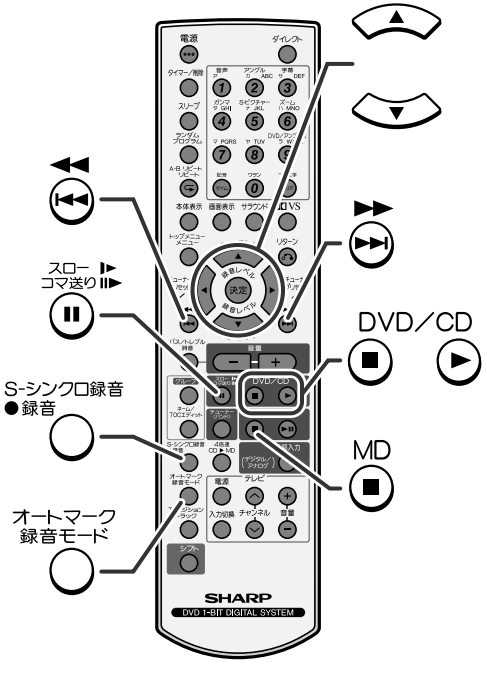


- 録音残り時間を表示したあと、もとの表示に戻ります。
- 次に録音を開始するときは、ここで確認したモードで録音を開始します。

CDの途中の曲番を選んで録音する（シンクロ録音）

CDの途中の曲を選んで、その曲以降をMDに録音することができます。

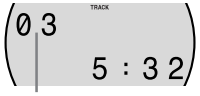




❶ CDとMDを入れて…
DVD／CD ■ を押して、入力を「CD」にする。

❷ オートマーク録音モード ○ を押して、録音モードを選ぶ。（☞ P.58）

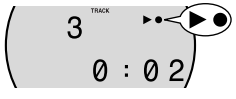
❸ ⏮ または ⏭ を押して、録音したい曲番を選ぶ。



録音したい曲番

❹ S-シンクロ録音 ●録音 ○ を押して、録音の待機状態にする。

❺ DVD／CD ▶ を押して、録音を開始する。

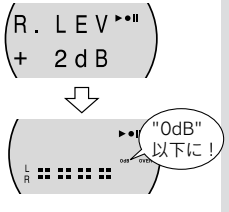


CDの再生が終わると、MDは録音の待機状態になります。

■ 録音レベルの調整について

録音レベルが低いときや、高いときは録音レベルを調整することができます。最も大きなレベルで“0dB”をこえないように調整してください。低すぎると音が小さくなり、高すぎるとひずみが増えます。

1. DVD／CD ▶ を押して、録音したい曲を再生する。
2. S-シンクロ録音 ●録音 ○ を押して、録音の待機状態にする。
3. ▲ または ▼ を押して、録音レベルを調整する。
   録音レベルは -4dB から +10dB まで、2dB ステップで調整することができます。



4. DVD／CD ■ を2回押して、ディスクの停止状態にする。
5. ⏮ または ⏭ を押して、録音したい曲番を選ぶ。
6. DVD／CD ▶ を押して、録音を開始する。

- 録音レベルを調整したあとは、CDを取り出したり、録音の待機状態を解除しないでください。録音レベルは“0dB”に戻ります。

■ 録音を停止するには

MD ■ を押す。

■ CDの曲の途中から録音する（マニュアル録音）

曲の途中から、好きな場所だけを録音することもできます。

① CDを再生中に、録音したいところで スローコマ送り ⏸ を押して、一時停止する。
② オートマーク録音モード ○ を押して、録音モードを選ぶ。（☞ P.58）
③ S-シンクロ録音 ●録音 ○ を押して、録音の待機状態にする。
④ DVD／CD ▶ を押して、録音を開始する。
録音を停止するには、MD ■ を押す。

■ 曲番について

CDから録音したときは、CDと同じ位置に曲番がつきます。

CDによっては、CDの曲番と録音されたMDの曲番が一致しないことがあります。

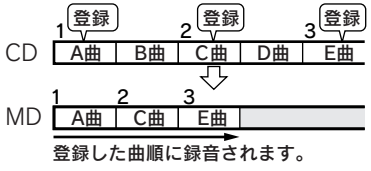
■ 録音中に自分で曲番をつけるには

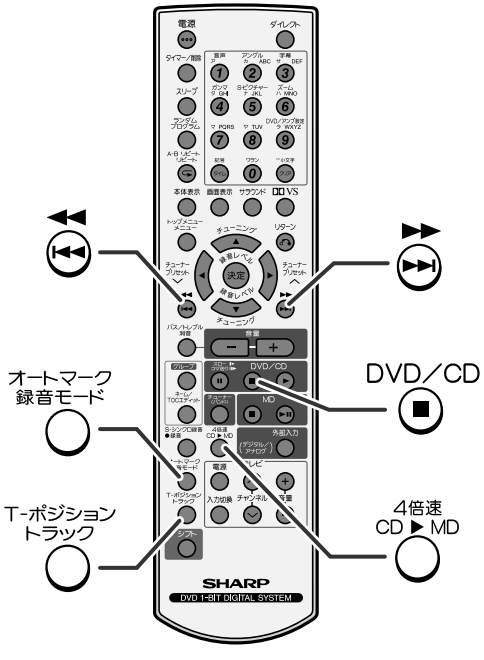
S-シンクロ録音 ●録音 ○ を押すと、好きな所で曲番をつけることができます。
（曲番をつけたあと、約4秒間は次の曲番をつけることができません。）

CDの好きな曲を登録して録音する（マイトラックエディット）

DVD 1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-MX1

CDの好きな曲だけを登録して、登録した順番に録音することができます。（最大24曲）



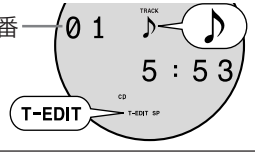


❶ CDとMDを入れて…
DVD／CD ■ を押して、入力を「CD」にする。

❷ オートマーク 録音モード を押して、録音モードを選ぶ。（☞ P.58）

❸ ⏮または⏭を押して、曲番を選ぶ。

❹ T-ポジション トラック を押して、曲番を登録する。



❺ ❸～❹の操作をくり返して、録音したい曲を登録する。
24曲まで登録できます。
25曲以上選曲すると、"EDIT OVER"（エディット オーバー）が表示され、その曲は登録されません。

❻ 4倍速 CD ▶ MD を押して、録音を開始する。
全曲録音できないときは、"OVR"（オーバー）が表示され録音は始まりません。（☞ P.59）

録音が終わると、CDとMDは停止して、曲の登録は消えます。

■ CDを聞きながら登録するには

1. CDを再生中に録音したい曲がでてきたら、T-ポジション トラック を押す。
曲が登録されます。（24曲まで登録できます。）
2. 登録が終わったら、DVD／CD ■ を押して、再生を止める。
3. 4倍速 CD ▶ MD を押して、録音を開始する。

■ 録音を開始する前に曲の登録を取り消すには

1曲ずつ消すときは:
消したい曲を選んで、T-ポジション トラック を押す。
（曲番の"♪"マークを消灯させます。）

全曲消すときは:
停止中に、DVD／CD ■ を押す。

お知らせ

- マイトラックエディットで録音するときは、4倍速で録音することはできません。
- マイトラックエディットで選曲をしているときは、「CD」から他の入力に切り換えることができません。他の入力にしたいときは、選曲を解除してください。
- プログラム再生やランダム再生を設定しているときは、マイトラックエディットは使用できません。
プログラム再生やランダム再生を解除してください。
- リピート再生を設定しているときに、マイトラックエディットを使用すると、リピート再生が解除されます。

ラジオ放送を録音する

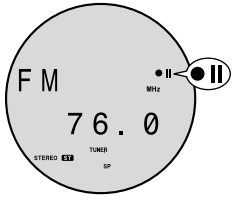
録音の準備

① 電源を入れる。

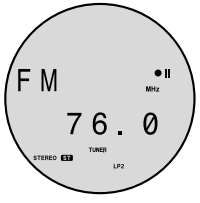
② 録音用 MD を入れる。

③ 録音したい放送局を受信する。

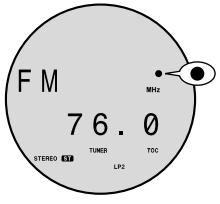
1 S-シンクロ録音 ●録音 を押して、録音の待機状態にする。



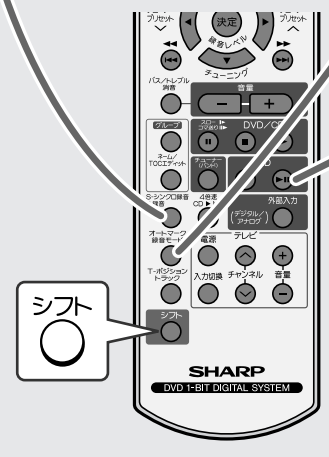
2 オートマーク 録音モード を押して、録音モードを選ぶ。(☞ P.58)



3 MD ▶II を押して、録音を開始する。

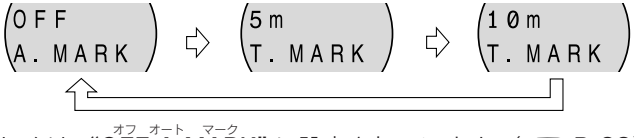


MDの録音残り時間がなくなると、MDは停止します。



録音を始める前に…

シフト を押したまま オートマーク 録音モード を押して、曲番のつけかたを変えることができます。



はじめは、“OFF A.MARK” に設定されています。(☞ P.63)

■ オートマークの設定について

シフト を押したまま オートマーク 録音モード で、曲番のつけかたを選ぶことができます。

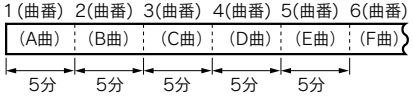
OFF A.MARK

1回の録音がひと続きの曲として録音されます。

録音を停止したり、一時停止すると、次に録音を再開したときは、曲番が1つ増えます。

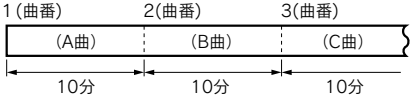
5m T.MARK

録音が始まって、5分おきに曲番がつきます。



10m T.MARK

録音が始まって、10分おきに曲番がつきます。



■ 録音を一時停止するには

録音中に、MD ▶II を押す。

もう一度押すと、録音を再開します。

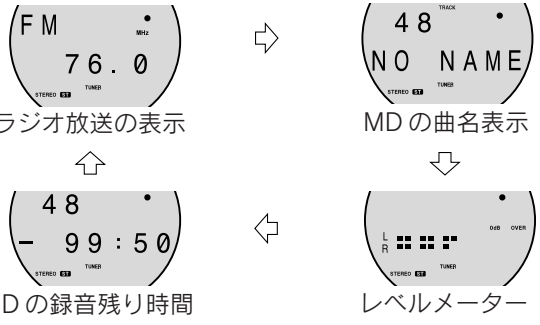
■ 録音を停止するには

録音中に、MD ■ を押す。

MDが停止したあと、MDに曲番を書き込みます。

■ 表示を切り換える

録音中に、本体表示 を押すたびに切り換わります。



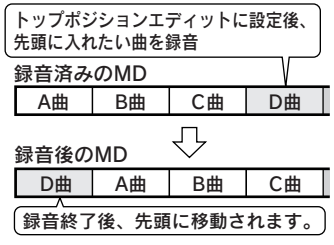
- レベルメーターやMDの録音残り時間に切り換えると、録音中はその表示のままになります。
- モノラル録音モード（MP）にしても、録音中のレベルメーターはステレオ表示されます。

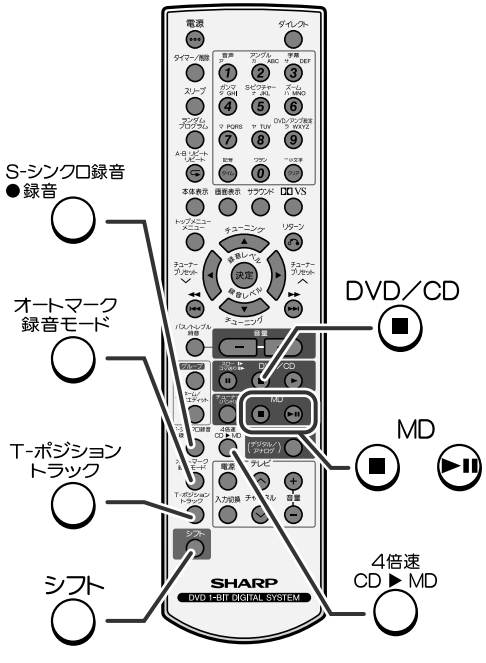
お知らせ

- オートマークによる5分おき、10分おきの曲番は、正確な時間につかないことがあります。
- オートマークの設定に関係なく、録音中に S-シンクロ録音 録音 を押すと、好きな所で曲番をつけることができます。
  （曲番をつけたあと、約4秒間は次の曲番をつけることができません。）
- AM放送を録音するときは、録音の待機状態のときに、AMアンテナを本体から離して、AM放送が最もきれいに聞こえるように調整しておいてください。
- ラジオ放送を録音するときは、録音レベルの調整はできません。

録音済みMDの先頭に録音する（トップポジションエディット）

録音済みMDの先頭に、曲をあとから録音することができます。





CD から録音するとき

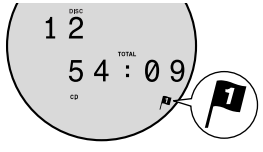
1 CD と MD を入れて… DVD／CD ■ を押す。

2 オートマーク 録音モード を押して、録音モードを選ぶ。（☞ P.58）

ラジオ放送から録音するときは、曲番のつけかたを変えることができます。（☞ P.63）

3 シフト を押したまま T-ポジション トラック を押す。

もう一度押すと、トップポジションエディットの設定が解除されます。



4 録音を開始する。

4 倍速で録音

シフト を押したまま 4倍速 CD ▶ MD を押す。

定速で録音

4倍速 CD ▶ MD を押す。

全曲録音できないときは、“OVR”（オーバー）が表示され録音は始まりません。（☞ P.59）

ラジオ放送から録音するとき

1 録音したい放送局を受信して、録音用MDを入れる。

2 オートマーク 録音モード を押して、録音モードを選ぶ。（☞ P.58）

ラジオ放送から録音するときは、曲番のつけかたを変えることができます。（☞ P.63）

3 シフト を押したまま T-ポジション トラック を押す。

もう一度押すと、トップポジションエディットの設定が解除されます。

4 S-シンクロ録音 ●録音 を押して、録音の待機状態にする。

5 MD ▶II を押して、録音を開始する。

録音が終わったら MD ■ を押して、停止させてください。

録音が終わると、トップポジションエディットの設定は解除されます。

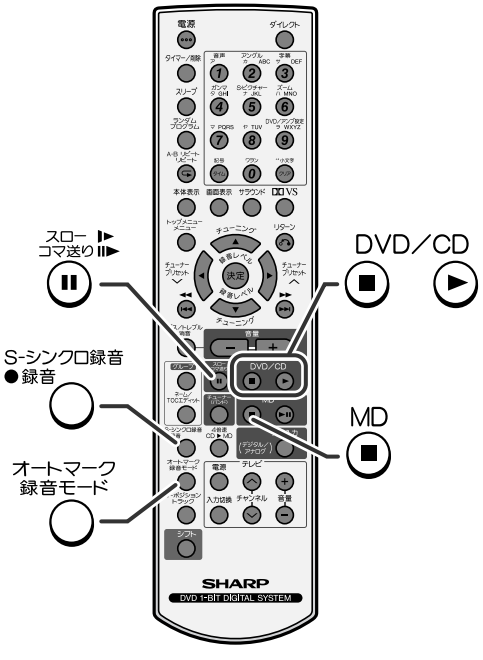
録音した内容はMDの先頭の曲番となり、以前に録音済みの内容は、今録音した曲以降の曲番に移動します。

お知らせ

- 録音中や録音の待機状態では、トップポジションエディットの設定や解除はできません。
- 入力を「AUX」（オグジュアリー）にすると、ラジオ放送から録音するときと同じようにトップポジションエディットを使用することができます。
- グループにしたMDでは、グループモードを解除していても、シフト を押したまま T-ポジション トラック を押すと、自動的にグループモードになります。

DVD の音声を録音する

DVD の音声を録音することができます。



■ はじめのチャプターから録音する

❶ DVD とＭＤを入れて…
DVD／CD ■ を押す。

オートプレイのDVDを入れたときは、再生が始まります。そのときは、停止してください。

❷ オートマーク 録音モード を押して、録音モードを選ぶ。（☞ P.58）

❸ S-シンクロ録音 ●録音 を押して、録音の待機状態にする。

❹ DVD／CD ▶ を押して、DVD を再生する。

- 録音が始まります。（録音はアナログ録音になります。）
- MD の録音残り時間がなくなると、MD は自動的に停止します。

■ 好きなチャプターだけを録音するときは（プログラム録音）

1. 録音したいチャプターをプログラムする。
   好きなチャプター順でプログラムするときは
   （☞ P.42：操作 ❶ ～ ❸）
2. 録音の操作をする
   （操作 ❷ ～ ❹）

■ 録音を一時停止するには

スロー コマ送り ⏸ を押す。

ふたたび録音を始めるには…
DVD／CD ▶ を押す。

■ 録音を停止するには

MD ■ を押す。

■録音中に自分で曲番をつけるには

曲番をつけたい位置で…
S-シンクロ録音 ●録音 を押す。

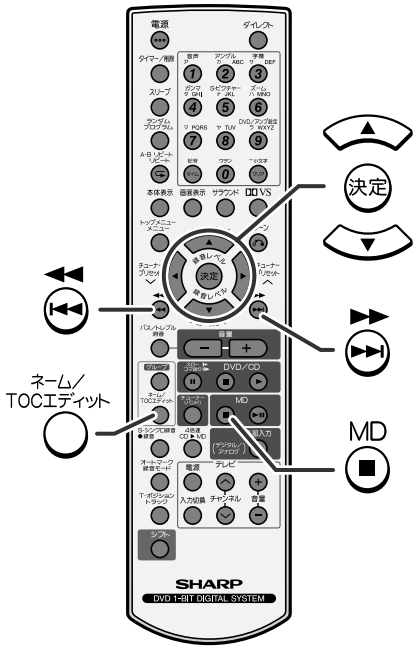
曲番が１つ増えて、録音はそのまま続きます。
曲番をつけたあと、約４秒間は次の曲番をつけることができません。

お知らせ ……

録音レベルが低いときや高いときは、録音レベルを調整することができます。
（☞ P.60）

MD に録音した曲を消す

不要になった曲を消すことができます。曲を消すと、1 枚の MD をくり返して使うことができます。



1 曲ずつ消す（トラックイレース）

1 停止中に…

⏮または⏭を押して、消したい曲を選ぶ。

消したい曲の再生中に、MD ⏯を押して一時停止状態にしてもできます。

2 **ネーム/TOCエディットを押して、編集メニューにする。**

3 10 秒以内に…

▲または▼を押して、“Tr-ERASE”（トラックイレース）を選ぶ。

Tr－
ERASE

4 10 秒以内に…

決定を押す。

中止するには、ネーム/TOCエディットを押します。

ERASE
2？

5 もう一度…

決定を押す。

COMPLET

- 1 曲消えて、消えたうしろの曲の頭で停止します。
- グループ内のすべての曲を消すと、そのグループも消えます。

曲を消したあとは、あとでどれくらい録音できるようになったのか、録音残り時間を確かめておくと便利です。（☞ P.59）

すべての曲を一度に消す（オールイレース）

1 **MD ■を押して、停止状態にする。**

17
75：56

2 **ネーム/TOCエディットを押して、編集メニューにする。**

3 10 秒以内に…

▲または▼を押して、“ALL ERASE”（オールイレース）を選ぶ。

ALL
ERASE

4 10 秒以内に…

決定を押す。

中止するには、ネーム/TOCエディットを押します。

ALL
ERASE？

5 もう一度…

決定を押す。

すべての曲が消えます。

COMPLET
⇩
BLANK
MD

ご注意

曲を消すと、もとには戻せません。
消してもよいか、よく確かめてから操作してください。

お知らせ

- グループ録音しているディスクの曲を消すときは、グループモードに設定してください。
（グループモードに設定していないと、“GROUP DISC”（グループディスク）と表示され、消すことができません。）
- マイトラックエデットで曲を登録しているときや、ランダム再生、プログラム再生を設定しているときは、曲を消すことはできません。登録や設定を解除してください。

グループに分けて録音する

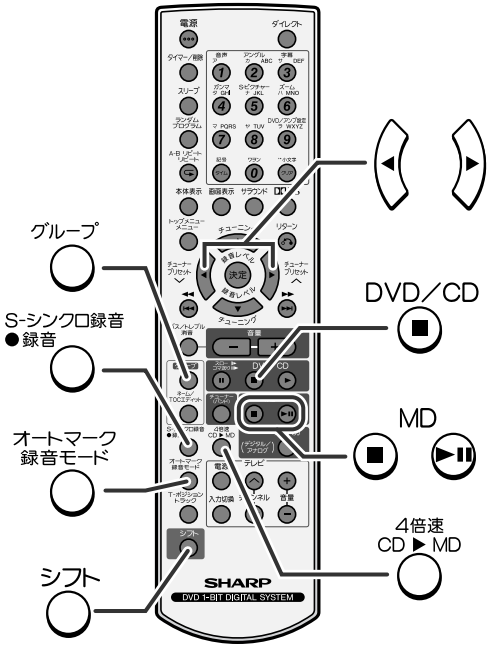
1枚のMDをグループに分けて録音することができます。（最大99グループ）

グループ録音すると…

グループにしなかった曲は「ノングループ」になります。（“NON GROUP”と表示）

グループ1				グループ2				ノングループ	
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2
A曲	B曲	C曲	D曲	E曲	F曲	G曲	H曲	I曲	J曲

グループごとに曲番が1から始まります。



CDから録音するとき

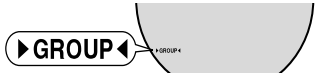
1 電源を入れて…
再生するCDと、録音用MDを入れる。

2 DVD／CD ■ を押して、入力を「CD」にする。

3 オートマーク 録音モード を押して、録音モードを選ぶ。（☞ P.58）

ラジオ放送から録音するときは、曲番のつけかたを変える事ができます。（☞ P.63）

4 グループ を押して、“▶GROUP◀”を点灯させる。



5 **4倍速で録音**

シフト を押したまま 4倍速 CD ▶ MD を押し、録音の待機状態にする。

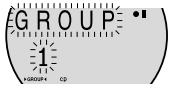
定速で録音

4倍速 CD ▶ MD を押し、録音の待機状態にする。

6 グループ を押して、録音したいグループを選ぶ。

新しいグループにするとき

すでにあるグループに追加したいとき



グループにしないとき

◀または▶を押しても、選ぶことができます。

7 録音を開始する。

シフト を押したまま 4倍速 CD ▶ MD をもう一度押す。

4倍速 CD ▶ MD をもう一度押す。

全曲録音できないときは、“OVR”（オーバー）が表示され録音は始まりません。（☞ P.59）

ラジオ放送から録音するとき

1 電源を入れて…
録音用MDを入れる。

2 録音したい放送局を受信する。（☞ P.34）

3 オートマーク 録音モード を押して、録音モードを選ぶ。（☞ P.58）

ラジオ放送から録音するときは、曲番のつけかたを変える事ができます。（☞ P.63）

4 グループ を押して、“▶GROUP◀”を点灯させる。

5 S-シンクロ録音 ●録音 を押して、録音の待機状態にする。

6 グループ を押して、録音したいグループを選ぶ。

新しいグループにするとき

すでにあるグループに追加したいとき

グループにしないとき

◀または▶を押しても、選ぶことができます。

7 MD ▶II を押して、録音を開始する。

MDの録音残り時間がなくなると、MDは停止します。

グループ録音の設定は、次に変更するまで変わりません。

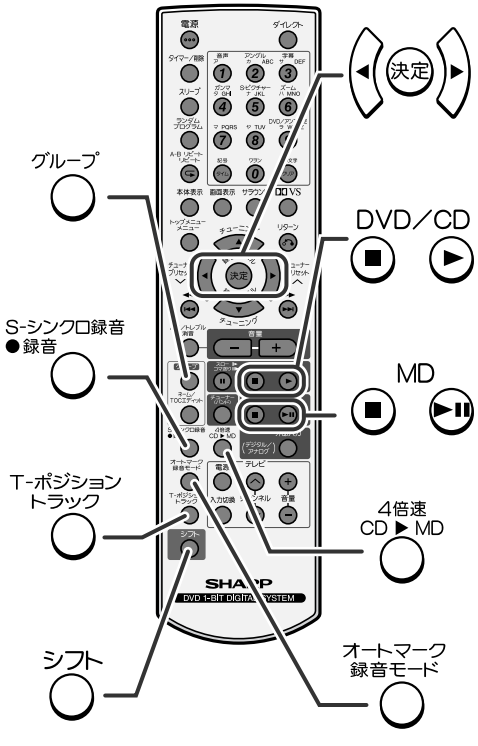
■ 録音を停止するには

MD ■ を押す。

グループに分けて録音する（続き）

いろいろな録音をするには

はじめに：
それぞれの操作ページをごらんになり、録音開始の前までの操作をします。



シンクロ録音
（☞ P.60、操作 ❶～❸）

マニュアル録音
（☞ P.60、操作 ①～②）

❶ グループ ◯ を押して、“▶GROUP◀” を点灯させる。

❷ S-シンクロ録音 ●録音 ◯ を押して、録音の待機状態にする。

❸ グループ ◯ を押して、録音したいグループを選ぶ。

◀または▶を押しても、選ぶことができます。

❹ DVD／CD ▶ を押して、録音を開始する。

CDの再生が終わると、MDは録音の待機状態になります。

マイトラックエディット
（☞ P.61、操作 ❶～❺）

❶ グループ ◯ を押して、“▶GROUP◀” を点灯させる。

❷ 4倍速 CD ▶ MD ◯ を押して、録音の待機状態にする。

❸ グループ ◯ を押して、録音したいグループを選ぶ。

◀または▶を押しても、選ぶことができます。

❹ 4倍速 CD ▶ MD ◯ を押して、録音を開始する。

- 全曲録音できないときは、“OVR”（オーバー）が表示され録音は始まりません。（☞ P.59）
- 4倍速で録音することはできません。

アナログ録音（☞ P.59）をするときは

上記操作❶のあと オートマーク 録音モード ◯ を3秒以上押して、“ANALOG”（アナログ）を点灯させてください。

ただし、4倍速でアナログ録音をすることはできません。

トップポジションエディット

（☞ P.64、操作 ❶～❷）

CD から録音するとき

❶ グループ を押して、“▶GROUP◀” を点灯させる。

❷ シフト を押したまま T-ポジション トラック を押す。

❸ **4 倍速で録音**

シフト を押したまま 4倍速 CD▶MD を押し、録音の待機状態にする。

定速で録音

4倍速 CD▶MD を押し、録音の待機状態にする。

❹ グループ を押して、録音したいグループを選ぶ。

◀または▶を押しても、選ぶことができます。

❺ 録音を開始する。

シフト を押したまま 4倍速 CD▶MD をもう一度押す。

4倍速 CD▶MD を もう一度押す。

ラジオ放送から録音するとき

MD ▶II を押して、録音を開始する。

録音が終わったら MD ■ を押して、停止させてください。

全曲録音できないときは、“OVR” が表示され録音は始まりません。（☞ P.59）

録音が終わると、トップポジションエディットの設定は解除されます。
録音した内容は、選んだグループの先頭の曲番となります。

DVD の録音

（☞ P.65、操作 ❶～❷）

❶ グループ を押して、“▶GROUP◀” を点灯させる。

❷ S-シンクロ録音 ●録音 を押して、録音の待機状態にする。

❸ グループ を押して、録音したいグループを選ぶ。

◀または▶を押しても、選ぶことができます。

❹ DVD／CD ▶ を押して、DVD を再生する。

- 録音が始まります。（録音はアナログ録音になります。）
- MD の録音残り時間がなくなると、MD は自動的に停止します。

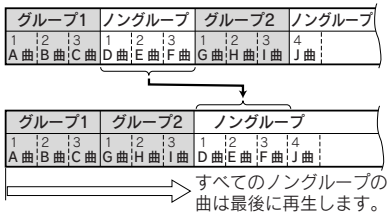
お知らせ

- グループ録音したMDを他の機器で録音または編集したあとに、この製品でグループ録音の操作をすると、“? Gr Form.” のあと “New Form.?” と表示されることがあります。
  その場合、ディスク名を消さないとグループ録音ができませんので “New Form.?” と表示中に 決定 を押してください。
  （ディスク名が消去されます。）
  ディスク名を消したくないときは：
  MD ■ を押して、録音を停止してください。
- グループ録音した MD を他の機器で録音または編集すると正しく動作しないことがあります。
- 他の機器でグループ録音した MD をこの製品で使用すると、正しく動作しないことがあります。
- グループを 99 個作ったときは、グループへの録音はできません。
  ノングループへの録音となります。

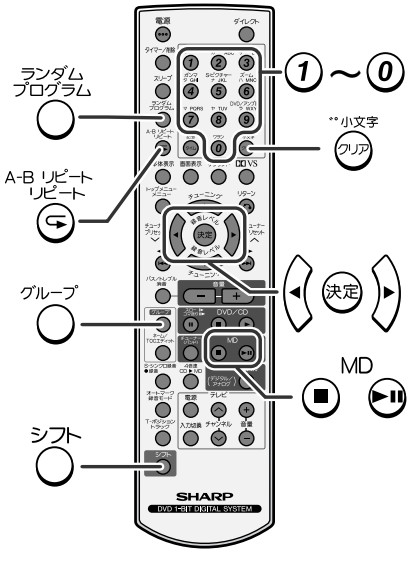
グループ録音したMDを聞く

設定されたアルバムやアーチストなど、好みのグループ別に再生することができます。

グループモードのままで再生すると…



グループごとに曲番が1から始まります。



■ 聞きたいグループを選んで聞くには

❶ MD ■ を押す。

❷ グループ録音したMDを入れる。

自動的にグループモードになり、最初のグループを表示します。

❸ グループ ◯ をくり返し押して、聞きたいグループを選ぶ。

◀ または ▶ を押しても選ぶことができます。

❹ MD ▶II を押して、再生を始める。

選んだグループの1曲目から再生が始まります。

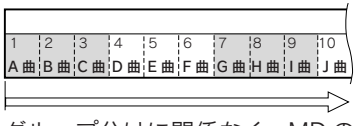
■ グループモードを解除して聞くには

❶ 停止中に…

グループ ◯ をくり返し押して、"▶GROUP◀" を消灯させる。

リモコンの MD ■ を2秒以上押しても消灯できます。

❷ MD ▶II を押して、再生を始める。



グループ分けに関係なく、MDの1曲目から再生が始まります。

■ 聞きたい曲から聞く

（ダイレクト再生）

❶ グループ録音したMDを入れて、聞きたいグループを選ぶ。

（☞「聞きたいグループを選んで聞くには」❶～❸）

❷ 1～0で聞きたい曲番を指定し、MD ▶II を押す。

選んだグループの指定した曲から再生が始まります。

■ くり返して聞く

（リピート再生）

❶ グループ録音したMDを入れたあと、MD■を押す。

❷ A-B リピート リピート を押して、再生モードを選ぶ。

再生モード	表示	動作
ノーマル	NORMAL	グループ順に全曲を再生したあと、停止します。
1曲リピート	1 - REPEAT	1曲をくり返し再生します。
全曲リピート	REPEAT	グループ順に全曲再生をくり返します。

❸ MD ▶II を押して、再生を開始する。

■ 順不同で聞く

（ランダム再生）

❶ グループ録音したMDを入れたあと、MD■を押す。

❷ シフト を押したまま ランダム プログラム を押して、"RANDOM" を点灯させる。

❸ MD ▶II を押して、再生を開始する。

グループ内で順不同に再生し、グループ内を全曲再生した後は次のグループを順不同に再生します。MD内の全曲を再生後停止します。

■ 好きなグループだけを記憶させて聞く

（グループプログラム再生）

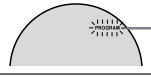
最大10グループ

❶ MD ■ を押す。

❷ グループ録音したMDを入れる。

表示部に "▶GROUP◀" が点灯していないときは、グループ を押して、点灯させてください。

❸ ランダム プログラム を押す。



"PROGRAM" 点滅

❹ グループ をくり返し押して、聞きたいグループを選ぶ。

◀ または ▶ を押しても選ぶことができます。

❺ 決定 を押して、登録する。

❻ ❹～❺の操作をくり返し、聞きたいグループを順に指定する。

❼ MD ▶II を押して、再生を開始する。

登録されたグループの曲をすべて再生すると、停止します。

MDを取り出すまで、グループプログラムの登録は覚えています。

お知らせ

MDのプログラム選曲をしているときは、グループモードに設定することができません。
プログラム選曲を解除してください。

■ グループプログラム再生

登録内容を追加するには…

❶～❻の操作をします。
前に選んでいるグループのあとに、追加されます。

登録を途中で止めるには…

MD ■ を押してください。

登録を取り消すには…

停止中に、小文字 クリア を押します。

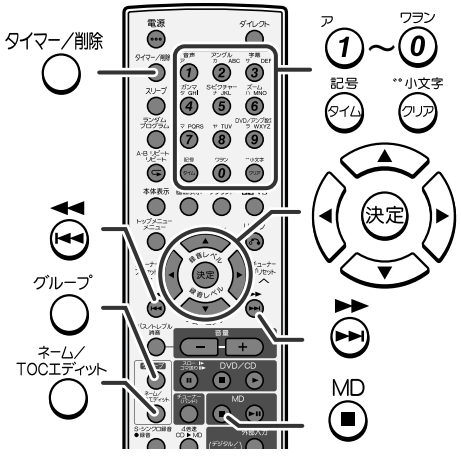
- 再生中や一時停止中にはグループプログラムの登録をしたり、取り消すことはできません。
- グループプログラムの登録は、録音操作をすると取り消されます。
- グループプログラムの登録をしているときは、グループモードを解除することはできません。
  グループモードを解除するときは、グループプログラムの登録を取り消してください。
- グループプログラムの登録をしたあとに、リピート再生すると、聞きたいグループだけをくり返して聞くことができます。
- グループプログラムの登録をしたときは、ランダム再生することはできません。

録音したMDにタイトルをつける

録音したMDには、お好みのディスク名やグループ名、曲名をつけることができます。

はじめに：

1. 録音したMDを入れる。
2. MD ■を押して、入力を「MD」にする。



ディスク名をつける（ディスクネーム）

1 MDを停止状態にする。

17
75：56

2 ネーム／TOCエディット を押して、編集メニューにする。

3 10秒以内に…
▲または▼を押して、
“DISC NAME”を選ぶ。

DISC
NAME

4 10秒以内に…
決定を押す。

カナ DISC

中止するには、ネーム／TOCエディット を押します。

5 1～0、タイム、クリア、▲または▼を使って、文字を入力する。（☞ P.73）

カナ

6 入力が終われば…
決定を押す。

カナ
ヘ゛ ストヒ゛ット

ディスク名が記録されます。

グループ名をつける（グループネーム）

1 グループ をくり返し押して、タイトルをつけたいグループを選ぶ。

GROUP
1

◀または▶を押しても選ぶことができます。

2 ネーム／TOCエディット を押して、編集メニューにする。

3 10秒以内に…
▲または▼を押して、
“GROUP NAME”を選ぶ。

GROUP
NAME

4 10秒以内に…
決定を押す。

カナ

中止するには、ネーム／TOCエディット を押します。

5 1～0、タイム、クリア、▲または▼を使って、文字を入力する。（☞ P.73）

6 入力が終われば…
決定を押す。

グループ名が記録されます。

お知らせ

ノングループにグループ名をつけることはできません。

お知らせ

- グループ録音したMDはグループモードが解除されると“GROUP DISC”が表示されて編集操作ができません。グループモードを設定して、操作してください。
- プログラム再生やランダム再生を設定しているときは、編集操作はできません。設定を解除してから操作してください。
- この製品でカタカナを入力したとき、他の機器では正常に表示されないことがあります。
- 他の機器でカタカナ入力されたMDは、この製品では正常に表示されないことがあります。
- 名前の先頭に“LP:”を入力すると、“LP:”が表示されないことがあります。（☞ P.93）

曲名をつける（トラックネーム）

1 ⏮または⏭を押して、タイトルをつけたい曲を選ぶ。

1　5：26

2 ネーム/TOCエディット を押して、編集メニューにする。

3 10 秒以内に…
▲または▼を押して、“TRACK NAME”を選ぶ。

TRACK
NAME

4 10 秒以内に…
決定を押す。

カナ　TRACK

中止するには、ネーム/TOCエディット を押します。

5 ①～⓪、タイム、クリア、▲または▼を使って、文字を入力する。（☞ 右記）

6 入力が終われば…
決定を押す。
曲名が記録されます。

お知らせ

- ディスク名やグループ名、各曲名で入力した文字が40文字を超えると“NAME FULL”と表示されます。
- 他の機器で 40 文字以上の名前をつけた MD は文字を修正することはできません。そのときは、ディスク名やグループ名、曲名を一度消去してください。
- 1 枚の MD では、約 1,700 文字までです。いっぱいになると“TOC FULL 1”と表示されます。

文字入力のしかた

① ▲または▼を押して、文字の種類を選ぶ。

カタカナ　⇔　英数大文字

カナ　⇔　A B

英数モードのときの大文字、小文字の切り換えは クリア を押して操作します。

英数大文字　⇔　英数小文字

A B　⇔　a b

② 文字を入力する。

- ①～⓪、タイム、クリア を押す回数によって、表示される文字が切り換わります。
- カーソルを移動するときは、◀または▶を押します。

（例）「ヒット A」と入力するときは

1. ▲または▼を押し、カタカナ入力モードにする。
2. ⑥ ⑥ ……（ヒ）
3. ④ ④ ④ ④ ④ ④ ……（ッ）
4. ▶を押して、一文字移動する
5. ④ ④ ④ ④ ④ ……（ト）
6. ▲または▼を押し、英数入力モードにする。
7. ② ……（A）

■ リモコンで入力できる文字の種類

文字入力ボタン	カタカナ入力モード	英数大文字モード	英数小文字モード
①	アイウエオ ア イ ウ エ オ	1	1
②	カキクケコ	ABC 2	abc 2
③	サシスセソ	DEF 3	def 3
④	タチツテト ッ	GHI 4	ghi 4
⑤	ナニヌネノ	JKL 5	jkl 5
⑥	ハヒフヘホ	MNO 6	mno 6
⑦	マミムメモ	PQRS 7	pqrs 7
⑧	ヤユヨ ャ ュ ョ	TUV 8	tuv 8
⑨	ラリルレロ	WXYZ 9	wxyz 9
⓪	ワヲン	0 スペース	0 スペース
クリア	゛ ゜ スペース	アルファベットの大文字／小文字の切り換え（数字の大きさは変わりません。）	
タイム	ー、。／：？＆（）！＇＃＄％＊ ＜＝＞＠＿＋（スペース）		

文字を削除するとき

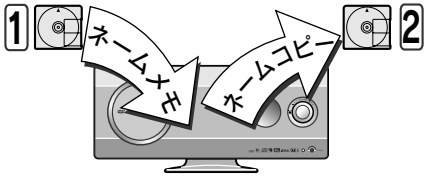
① 文字入力の画面にする。
② ◀または▶を押して、削除したい文字を選ぶ。
③ タイマー/削除 を押す。
④ 決定を押す。

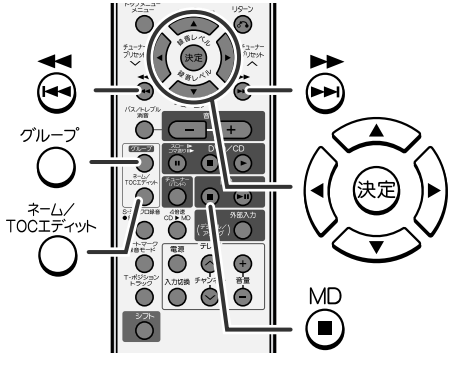
文字を追加入力するとき

① 文字入力の画面にする。
② ◀または▶を押して、追加したい位置の文字を選ぶ。
③ 文字を入力する。
もとの文字が 1 文字ずつ右に移動します。
④ 決定を押す。

MDのタイトルをメモして、他のMDにコピーする

MDのタイトルをこの製品に登録して、他のMDにコピーすることができます。





ご注意

電源コードを抜いたり、停電があったときは、この製品に登録したタイトルは消えます。

お知らせ

- グループモードを設定しているときは、ディスク名は表示されません。
  ディスク名を「**ネームメモ**」・「**ネームコピー**」するときは、グループモードを解除したあと操作してください。
  (このとき、編集モードにすると、"GROUP DISC"と表示されますが、そのまま続けて操作を行ってください。)
- 「**ネームコピー**」すると、以前ついていたタイトルは消えます。
- 1つの「**ネームメモ**」は25文字までです。26文字以降は登録されません。

1 タイトルをメモする (ネームメモ)

1 タイトルがついているMDを入れて…
ディスク名または グループ名、曲名を表示する。

DISC
ﾍﾞｽﾄﾋｯﾄ

2 **ネーム/TOCエディット を押して、編集メニューにする。**

3 10秒以内に…
▲または▼を押して、"NAME MEMO"を選び、決定を押す。

NAME
MEMO

4 **◀または▶を押して、登録するメモ番号M1～M20を選ぶ。**

M -1-:
-BEST-

5件登録済み
ここに登録すると、新しいタイトルに変更されます。

- M1:BEST
- M2:SINGLES
- M3:ALBUM
- M4:MY FAVOURITES
- M5:LIVE

15件未登録
はじめは、こちらにネームメモをしましょう。

- M6:(未登録)
- ～
- M20:(未登録)

中止するには、ネーム/TOCエディット を押します。

5 **決定を押す。**

M 6 :
ﾍﾞｽﾄﾋｯﾄ

タイトルがこの製品に登録されます。

2 メモしたタイトルを他のMDにつける (ネームコピー)

1 タイトルをつけたいMDを入れて…
MD■を押す。

2 **タイトルをつけたいディスク名または曲番、グループ名を表示させる。**

<ディスク名を選ぶとき>
MD■を押して、総曲数と総再生時間の表示にします。

17
75:56

(ディスク名をつけたいときは、グループモードを解除してください。)

<曲番を選ぶとき>
⏮または⏭をくり返し押す。

1
5:26

<グループ名を選ぶとき>
グループをくり返し押す。

GROUP
1

3 **ネーム/TOCエディット を押して、編集メニューにする。**

4 10秒以内に…
▲または▼を押して、"NAME COPY"を選び、決定を押す。

NAME
COPY

5 **◀または▶を押して、利用したいタイトルを選び、決定を押す。**
(M1～M20 ☞ 左記)

M -6-:
ﾍﾞｽﾄﾋｯﾄ

⇩

カナ
ﾍﾞｽﾄﾋｯﾄ

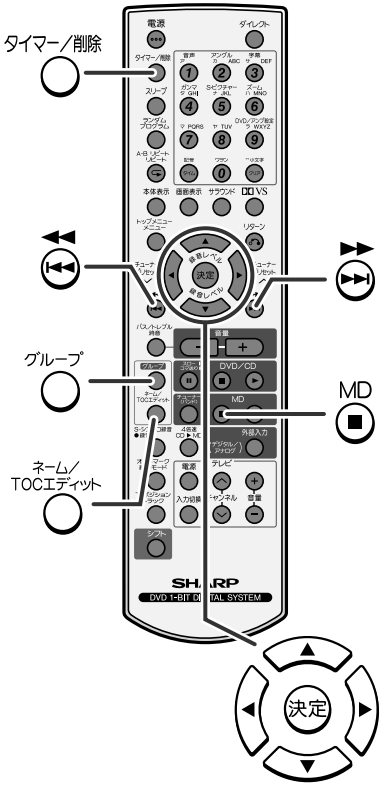
このとき、表示されたタイトルを修正することができます。

6 もう一度…**決定を押す。**
タイトルがMDにつきます。

入力したタイトルを消す

不要になったディスク名やグループ名、曲名を消すことができます。

はじめに：
1. 録音したMDを入れる。
2. MD ■を押して、入力を「MD」にする。



ディスク名を消去する

❶ MDを停止状態にする。

(17 / 75：56)

❷ ネーム／TOCエディット を押して、編集メニューにする。

❸ 10秒以内に…
▲または▼を押して、“DISC NAME”を選ぶ。

(DISC / NAME)

❹ 10秒以内に…
タイマー／削除 を2秒以上押す。

(NAME / CLEAR?)

中止するには、ネーム／TOCエディット を押します。

❺ 決定 を押す。

(NO NAME)

ディスク名が消去されます。

グループ名を消去する

❶ グループ をくり返し押して、タイトルを消したいグループを選ぶ。
◀または▶を押しても選ぶことができます。

(GROUP / 1)

❷ ネーム／TOCエディット を押して、編集メニューにする。

❸ 10秒以内に…
▲または▼を押して、“GROUP NAME”を選ぶ。

(GROUP / NAME)

❹ 10秒以内に…
タイマー／削除 を2秒以上押す。

(NAME / CLEAR?)

中止するには、ネーム／TOCエディット を押します。

❺ 決定 を押す。

(NO NAME)

グループ名が消去されます。

曲名を消去する

❶ ⏮または⏭を押して、タイトルを消したい曲を選ぶ。

(1 / 5：26)

❷ ネーム／TOCエディット を押して、編集メニューにする。

❸ 10秒以内に…
▲または▼を押して、“TRACK NAME”を選ぶ。

(TRACK / NAME)

❹ 10秒以内に…
タイマー／削除 を2秒以上押す。

(NAME / CLEAR?)

中止するには、ネーム／TOCエディット を押します。

❺ 決定 を押す。

(NO NAME)

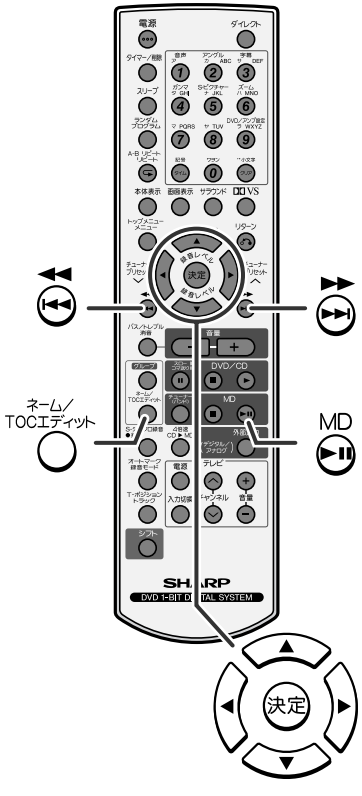
曲名が消去されます。

ご注意

グループリザーブ（☞P.79）をしたあとは、曲を録音するまで、そのグループの名前を消去することができません。

録音したMDを編集する

録音済みのMDを、あとから曲をつないだり、分けたり移動したりするなど、いろいろなことができます。
（プログラム再生やランダム再生を設定しているときは、編集操作はできません。設定を解除してから操作してください。）



■ 2曲を1つにつなぐ
（コンバイン）

❶ 停止中に…
⏮または⏭を押して、つなぐうしろの曲を選ぶ。

つなぐうしろの曲 — 4 / 2：21

うしろの曲を再生中に、MD ⏯を押して、一時停止状態にしてもできます。

❷ **ネーム/TOCエディット を押す。**

❸ 10秒以内に…
▲または▼を押して、“COMBINE”を選ぶ。

COMBINE

❹ 10秒以内に…
決定を押す。

3 + 4?

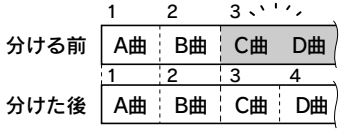
中止するには、ネーム/TOCエディット を押します。

❺ もう一度…
決定を押す。

COMPLET

曲がつながり、つながった曲の頭で停止します。

■ 1曲を2つに分ける
（デバイド）



❶ 再生中に…
曲を分けたいところで、MD ⏯を押して、一時停止状態にする。

❷ **ネーム/TOCエディット を押す。**

❸ 10秒以内に…
▲または▼を押して、“DIVIDE”を選ぶ。

DIVIDE

❹ 10秒以内に…
決定を押す。

DIVIDE?

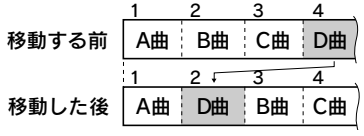
中止するには、ネーム/TOCエディット を押します。

❺ もう一度…
決定を押す。

COMPLET

曲が分けられ、うしろの曲の頭で停止します。

■ 曲を移動する
（ムーブ）



❶ 停止中に…
⏮または⏭を押して、移動する曲を選ぶ。

移動したい曲を再生中に、MD ⏯を押して、一時停止状態にしてもできます。

❷ **ネーム/TOCエディット を押す。**

❸ 10秒以内に…
▲または▼を押して、“MOVE”を選ぶ。

MOVE

❹ 10秒以内に…
決定を押す。

4 → 1?

❺ **◀または▶を押して、移動先を選ぶ。**

4 → 2?

中止するには、ネーム/TOCエディット を押します。

❻ **決定を押す。**

COMPLET

曲が移動し、その曲の頭で停止します。

グループ録音したMDを編集する

DVD 1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-MX1

お知らせ

■ コンバイン

- 連続していない2つの曲をつなぐには、あらかじめ、**「ムーブ」**を使って2つの曲を連続させてから、つないでください。
- デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲をつなぐことはできません。
- 録音モードの異なる曲をつなぐことはできません。
- 短い曲（ステレオ録音：12秒、モノラル録音・2倍長時間録音：24秒、4倍長時間録音：48秒）はつながらないことがあります。
- つなぐ2つの曲に、両方とも曲名・録音日時がついているときは、前の曲名・録音日時がつきます。
  ただし、他の機器で録音した曲は、曲名がつかないことがあります。
- グループにしている曲は、グループ内の曲しかつなぐことはできません。別のグループの曲とつなぐときは、**「グループチェンジ」**（☞ P.78）を使って2つの曲を連続させてから、つないでください。
- ノングループの曲はつながらないことがあります。**「グループアレンジ」**を使って曲を移動してからつないでください。

■ デバイド

- 1枚のMDで最大255曲まで曲を分けられます。ただし、254曲以下でも曲を分けられないことがあります。（☞ P.93）
- 分ける曲に曲名・録音日時がついているときは、両方に同じ曲名・録音日時がつきます。ただし、TOC（トック）に文字情報を登録する空きがないときは、うしろの曲には曲名・録音日時がつきません。

■ ムーブ

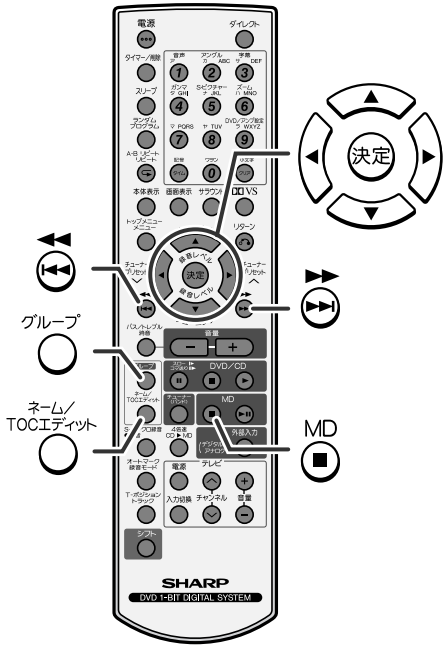
- グループにしている曲は、グループ内での移動しかできません。別のグループに移動するには、**「グループチェンジ」**（☞ P.78）を使って曲を移動してください。

グループ編集に関するお知らせ

- グループ録音したMDを他の機器で編集すると、正しく動作しないことがあります。
- 他の機器でグループ録音したMDをこの製品で編集すると正しく動作しないことがあります。

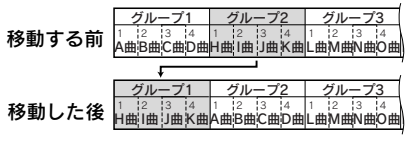
はじめに：

1. グループ録音したMDを入れる。
   （グループエントリーは、グループ録音をしていないMDでも操作できます。）
2. MD ■ を押して、入力を「MD」にする。



■ グループを先頭に移動する

（グループトップムーブ）



1 停止中に…
グループ ◯ **をくり返し押して、移動するグループを選ぶ。**

GROUP 2

2 ネーム/TOCエディット ◯ **を押す。**

3 10秒以内に…
▲ または ▼ **を押して、**
グループ トップ ムーブ
"Gr- TOP-MOV" を選ぶ。

Gr-
TOP-MOV

4 10秒以内に… 決定 **を押す。**

Gr-
MOVE ?

中止するには、ネーム/TOCエディット ◯ を押します。

5 もう一度… 決定 **を押す。**

COMPLET

グループが移動します。

お知らせ

- グループ名が記録されていると、グループトップムーブをしてもグループ名は変わりません。
- 先頭のグループをグループトップムーブしようとすると、"Can't EDIT"（キャント エディット）と表示され、操作できません。
- ノングループや曲が録音されていないグループは、グループトップムーブをすることはできません。

グループ録音したMDを編集する（続き）

■ ノングループの曲をMDの最後に移動する（グループアレンジ）

❶ 停止中に…
ネーム/TOCエディット を押す。
（GROUP NAME）

❷ 10秒以内に…
▲または▼を押して、
グループ アレンジ
“Gr-ARRANGE”を選ぶ。
（Gr－ ARRANGE）

❸ 10秒以内に…
決定を押す。
（ARRANG?）
中止するには、ネーム/TOCエディット を押します。

❹ もう一度…
決定を押す。
（COMPLET）
ノングループの曲がMDの最後に移動します。

■ 曲を別のグループに移動する（グループチェンジ）

❶ 停止中に…
グループ をくり返し押して、
移動したい曲が入っているグループを選ぶ。
（GROUP 2）

❷ ⏮または⏭を押して、移動したい曲を選ぶ。

❸ ネーム/TOCエディット を押す。

❹ 10秒以内に…
▲または▼を
押して、グループ チェンジ “Gr-CHANGE”を選ぶ。
（Gr－ CHANGE）

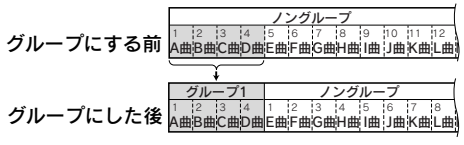
❺ 10秒以内に… 決定を押す。

❻ ◀または▶を押して、
移動先のグループを選ぶ。
（→ GROUP 1）

❼ 決定を押す。
（CHANGE?）
中止するには、ネーム/TOCエディット を押します。

❽ もう一度… 決定を押す。
（COMPLET）
曲が移動し、その曲の頭で停止します。

■ グループになっていない曲をグループにする（グループエントリー）



❶ 停止中に… ネーム/TOCエディット を押す。
（GROUP NAME）

❷ 10秒以内に…
▲または▼を
押して、グループ エントリー “Gr-ENTRY”を選ぶ。
（Gr－ ENTRY）

❸ 10秒以内に… 決定を押す。
（ENTRY ?）
中止するには、ネーム/TOCエディット を押します。

❹ もう一度… 決定を押す。
（START TNO.）

❺ ◀または▶を押して、
（1 2:02）
グループにしたい最初の曲を選ぶ。
ノングループの曲番1から順に表示されます。

❻ 決定を押す。
（END TNO.）

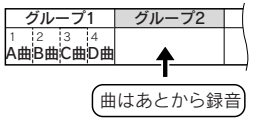
❼ ◀または▶を押して、
（4 2:20）
グループにしたい最後の曲を選ぶ。
ノングループの曲番1から順に表示されます。

❽ 決定を押す。
（1 – 40K?）
中止するには、ネーム/TOCエディット を押します。

❾ もう一度… 決定を押す。
選んだ曲がグループになります。
（COMPLET）

■ グループを作成する

（グループリザーブ）



❶ 停止中に…
ネーム/TOCエディット を押す。
（GROUP NAME）

❷ 10秒以内に…
▲ または ▼ を押して、"Gr-RESERVE"（グループ リザーブ）を選ぶ。
（Gr- RESERVE）

❸ 10秒以内に…
決定 を押す。
（*NEW GROUP*）

中止するには、ネーム/TOCエディット を押します。

❹ グループ名を入力する。
（☞ P.73）
（カナ）
グループ名がないと、グループを作成することができません。

❺ 入力が終われば…
決定 を押す。
グループが作成されます。

■ グループを消去する

（グループイレース）

❶ 停止中に…
グループ をくり返し押して、消したいグループを選ぶ。
（GROUP 1）

❷ ネーム/TOCエディット を押す。

❸ 10秒以内に…
▲ または ▼ を押して、"Gr & Tr - ERASE"（グループ トラック イレース）を選ぶ。
（Gr&Tr -ERASE）

❹ 10秒以内に…
決定 を押す。
（Gr ERASE ?）

中止するには、ネーム/TOCエディット を押します。

❺ もう一度…
決定 を押す。
（COMPLET）

選んだグループが消去されます。

■ グループ情報を消去する

（グループキャンセル）

❶ 停止中に…
ネーム/TOCエディット を3秒以上押す。
（Gr- CANCEL）

❷ 10秒以内に…
決定 を押す。
（EDIT ?）

中止するには、ネーム/TOCエディット を押します。

❸ もう一度…
決定 を押す。
（COMPLET）

グループ情報が消去されます。

お知らせ

■ グループアレンジ
グループアレンジをすると、ノングループの曲をすべて後ろに移動するため、曲順がわからなくなり、もとに戻せなくなります。
移動してもよいか、よく確かめてから操作してください。

■ グループチェンジ
すべての曲を別のグループに移動すると、そのグループとグループ名は消えます。

■ グループエントリー
- グループエントリーをすると、ノングループの曲をすべて後ろに移動するため、曲順がわからなくなり、もとに戻せなくなります。
グループにしてもよいか、よく確かめてから操作してください。
- ノングループの曲がないときは、操作❸で"NO TRACK"（ノー トラック）と表示され、グループエントリーすることはできません。
- 連続していない曲をグループにするには、あらかじめ「ムーブ」（☞ P.76）を使って曲を移動させてから、グループエントリーしてください。

■ グループリザーブ
グループリザーブしたときは、曲を録音するまで、そのグループ名を消去することはできません。

■ グループイレース
グループを消すと、もとには戻せません。
消してもよいか、よく確かめてから操作してください。

■ グループキャンセル
グループキャンセルをすると、すべてのグループ情報が消去されます。

タイマーについて

おやすみタイマーを使うと…

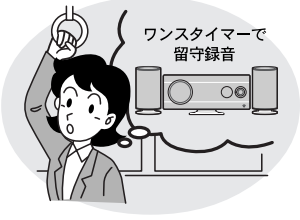
設定した時間に電源が切れます。

おやすみのときに便利

ワンスタイマーを使うと…

1回だけタイマー動作をします。
(終了後、タイマーは解除されます。)

タイマー録音に便利



デイリータイマーを使うと…

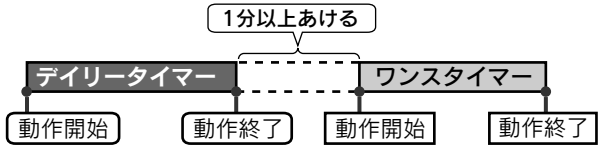
1回の設定で、毎日同じ時刻にタイマー動作をします。
(設定を解除するまで、毎日くり返します。)

毎朝の目覚ましに便利

■ タイマーの準備

1. 時計を合わせておきます。(☞ P.27)
2. 再生または録音に必要なディスクを入れておきます。
3. ラジオ放送を聞いたり、録音するときは、放送局を登録しておきます。(☞ P.35)

■ ワンスタイマーとデイリータイマーを組み合わせて使用することもできます



デイリータイマーとワンスタイマーは時間が重なると、ワンスタイマーが優先されますので、1分以上間をあけてください。

お知らせ

次のとき、タイマー録音することはできません。

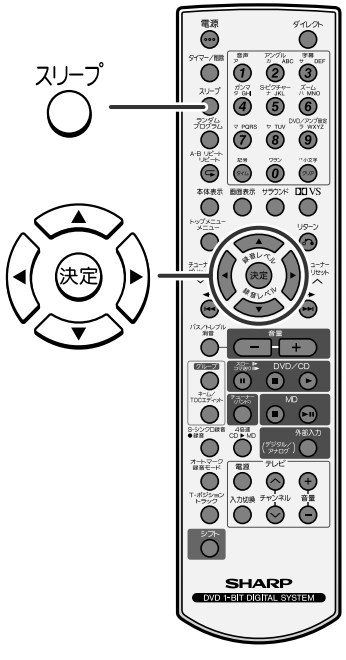
- 再生専用MDが入っているとき。
- MDが誤消去防止状態になっているとき。(☞ P.57)
- MDに録音できる部分がないとき("TOC FULL"、"DISC FULL"の状態など)
- MDのデータが異常なとき("Can't REC"の状態など)

停電時のご注意

タイマーを設定したあとに、電源コードを抜いたり停電があると、時計が止まり、タイマー設定も解除されます。
そのときは、もう一度タイマー設定をやり直してください。

おやすみタイマーを使う（スリープ）

DVD・CD・MD・ラジオ放送を聞きながら設定した時間で電源を切ることができます。



❶ 聞きたい曲の再生中に、スリープを押す。

❷ 10 秒以内に…
決定を押す。

❸ ◀または▶を押して、スリープ時間を設定する。

- **1 分～ 2 時間まで設定できます。**
- 5 分から 2 時間までは 5 分単位で、1 分から 5 分までは 1 分単位で設定できます。

❹ 決定を押す。

スリープ動作が始まります。

⇩

スリープ終了時刻になると

再生が終わり、電源が切れます。
終了 1 分前になると、音量が徐々に小さくなります。このとき、音量を調整することはできません。

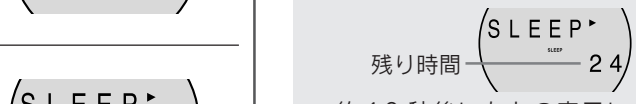
スリープ中にタイマー設定（☞P.82、83）することができます

スリープ時間が過ぎると電源が切れ、タイマーの開始時刻になると電源が自動的に入り、タイマーが始まります。

- スリープ中にタイマーの開始時刻がくるとタイマー動作は始まりません。スリープ時間と重ならないようにタイマーを設定してください。

スリープ中に残り時間を確認するには

1. **スリープ動作中に、スリープを押す。**
2. 10 秒以内に…
   ▲または▼を押して、残り時間を表示させる。



- 約 10 秒後にもとの表示に戻ります。
- スリープ残り時間が表示されているときに、左の操作❷～❹で時間を変更することができます。

スリープを解除するには

電源を切ると、スリープは解除されます。

電源を切らずに、スリープだけを解除したいときは、次の操作で解除することもできます。

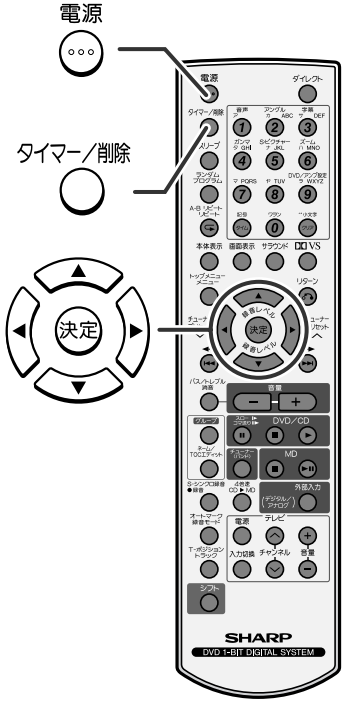
1. **スリープ動作中に、スリープを押す。**
2. 10 秒以内に…
   ▲または▼を押して、“SLEEP OFF”を選ぶ。

3. 10 秒以内に…
   決定を押す。
   スリープが解除されます。
   （“SLEEP”消灯）

タイマー再生やタイマー録音を使う

設定した時刻にDVD、CD、MD、ラジオ放送を聞くことができるタイマー再生や、ラジオ放送をMDに録音できるタイマー録音が可能です。
「ワンスタイマー」と「デイリータイマー」の２種類が使えます。

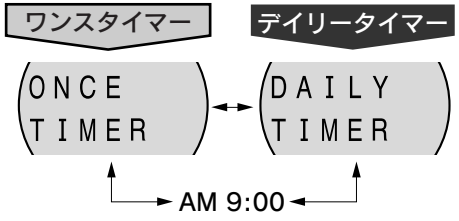
お知らせ
準備は、「タイマーの準備」をごらんください。
(☞ P.80)



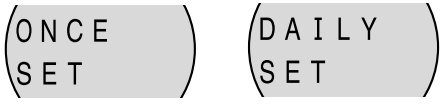
❶ 電源が入った状態で、タイマー／削除 を押す。

❷ 10秒以内に… ▲ または ▼ を押して、“ONCE TIMER” または “DAILY TIMER” を選び、決定 を押す。

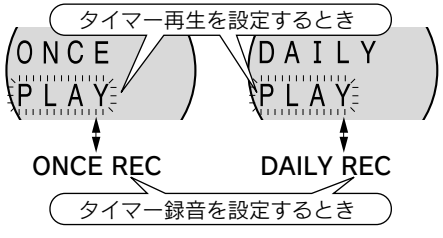
“ONCE TIMER” または “DAILY TIMER” が表示されないときは、時計を合わせてください。



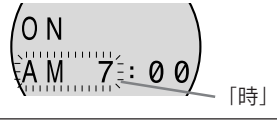
❸ 10秒以内に… ▲ または ▼ を押して、“ONCE SET” または “DAILY SET” を選び、決定 を押す。



❹ ◀ または ▶ を押して、“PLAY” または “REC” を選び、決定 を押す。



❺ ◀ または ▶ を押して、開始時刻の「時」を合わせ、決定 を押す。



❻ ◀ または ▶ を押して、開始時刻の「分」を合わせ、決定 を押す。

❼ 操作❺～❻と同じ手順で、終了時刻を設定する。

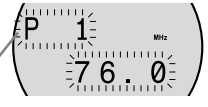
＜タイマー再生を選んだとき＞

❽ ◀または▶を押して、聞きたい入力を選び、決定を押す。

DVD/CD ↔ TUNER ↔ MD ↔ AUX ANALOG ↔ AUX DIGITAL ↔ DVD/CD

「TUNER（チューナー）」を選んだときは…

◀または▶を押して、希望の放送局を選び、決定を押す。



プリセット番号

❾ ◀または▶を押して、音量を設定し、決定を押す。

音量をあまり大きくしないように注意してください。

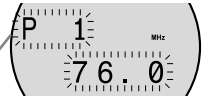
＜タイマー録音を選んだとき＞

❽ ◀または▶を押して、録音したい入力を選び、決定を押す。

TUNER ↔ AUX ANALOG ↔ AUX DIGITAL ↔ TUNER

「TUNER（チューナー）」を選んだときは…

◀または▶を押して、希望の放送局を選び、決定を押す。



プリセット番号

❾ ◀または▶を押して、録音モードを選び、決定を押す。

SP ↔ LP2 ↔ MONO ↔ LP4 ↔ SP

❿ ◀または▶を押して、音量を設定し、決定を押す。

音量をあまり大きくしないように注意してください。

ワンスタイマーまたはデイリータイマーの設定が終わりました。

⇩

電源を押して、電源を切る。

⇩

タイマー開始時刻になると…

タイマー再生またはタイマー録音が始まります。
タイマー再生のときは、音量が徐々に大きくなります。

設定内容を変更したいときは

82ページから操作をやり直し、新たにタイマー設定をしてください。

設定内容を確認または解除したいときは

84 ページをごらんください。

お知らせ

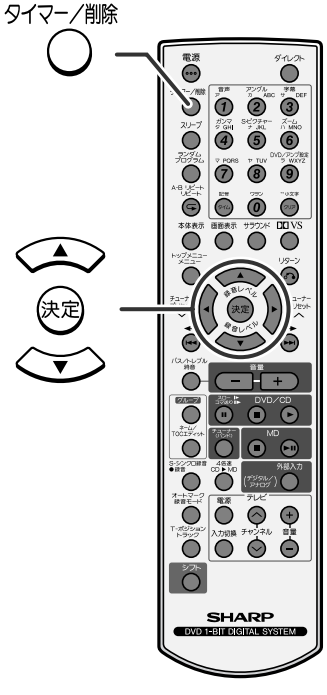
- 操作❽で、「AUX DIGITAL」または「AUX ANALOG」を選んだときは、他の機器とこの製品を接続（☞ P.85 ～ 87）して、それぞれタイマー設定してください。
- 放送局が登録されていないときは、“NO P.SET（ノー プリセット）”と表示され、設定操作が終了します。
  このときは、放送局を登録したあと、はじめからやり直してください。
- グループ録音されたMDにタイマー録音すると、“NON GROUP（ノン グループ）”に録音されます。
- タイマー開始時刻に電源が入っていると、タイマー再生またはタイマー録音は始まりません。
- グループモードに設定して MD のタイマー再生をすると、電源が切れる前に選んでいたグループから再生を始めます。
- メニュー画面の表示されるDVDは、タイマー再生ができません。

ご注意

他の機器を、この製品のタイマー設定で操作することはできません。

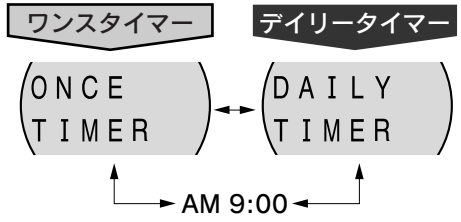
タイマーの確認や解除、再設定のしかた

設定したタイマーの内容を確認したり、解除したり、もう一度同じ内容で設定したりできます。

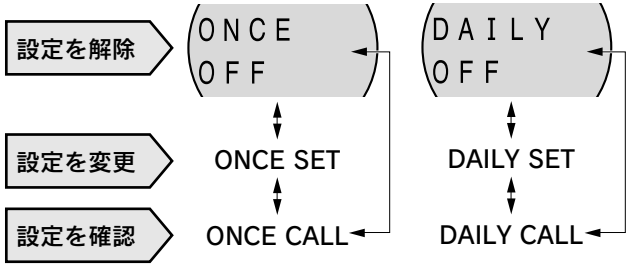


1 電源が入った状態で、タイマー／削除 を押す。

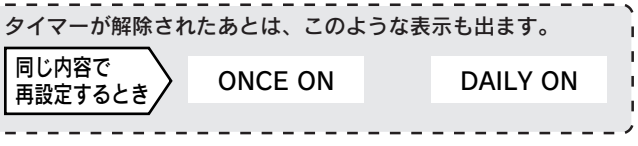
2 10秒以内に… ▲ または ▼ を押して、"ONCE TIMER" または "DAILY TIMER" を選び、決定 を押す。



3 ▲ または ▼ を押して、項目を選ぶ。



タイマーが解除されたあとは、このような表示も出ます。



- 内容を変更したいときは、82ページから操作をやり直し、新たにタイマー設定をしてください。

4 決定 を押す。

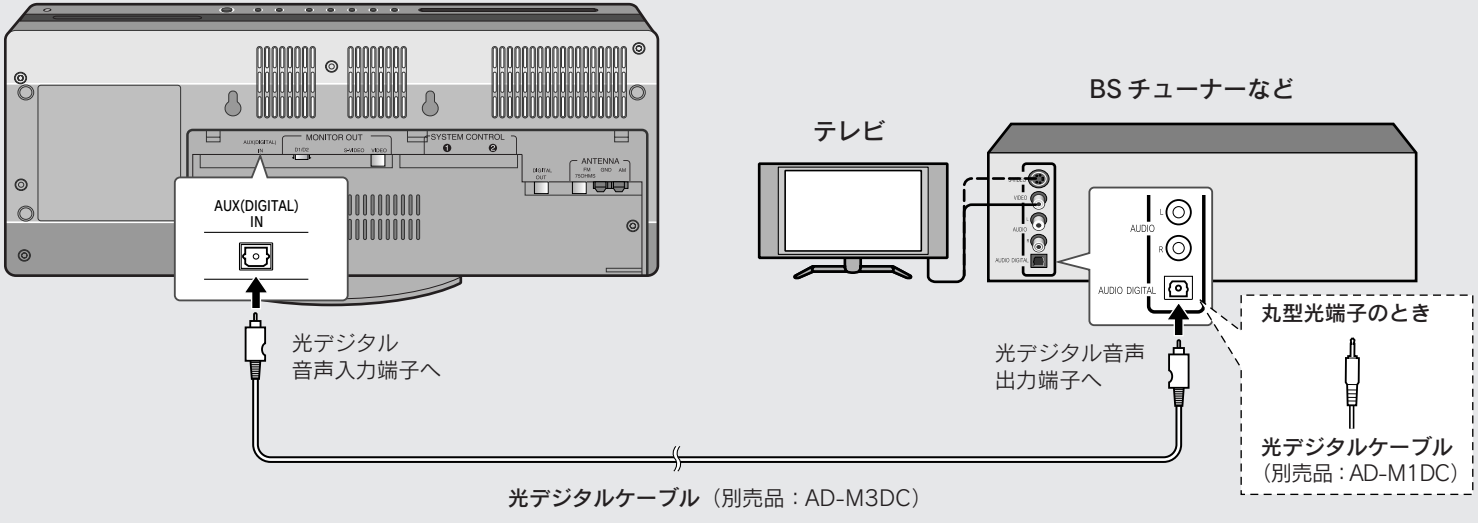
- 設定を解除すると、タイマーは解除されます。（設定した内容は消えません。）
- 設定を変更するときは、引き続き設定します。
- 内容を確認したときは、設定内容が順に表示されます。

他の機器と接続して使う

■ BS チューナーなどを接続する（デジタル接続）

光デジタルケーブルで接続すると音声を聞くことができます。
BS チューナーの映像は、BS チューナーとテレビを直接つないでください。

- 接続をする前には、各機器の電源を切ってください。
- 各プラグは確実に差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書も合わせてごらんください。



光デジタル端子のキャップについて

光デジタル端子をお使いのときは、キャップを抜いてからご使用ください。
ご使用後は、必ずキャップを差し込んでください。

お知らせ

光デジタルケーブルは付属されていません。別売品または市販品をお買い求めください。

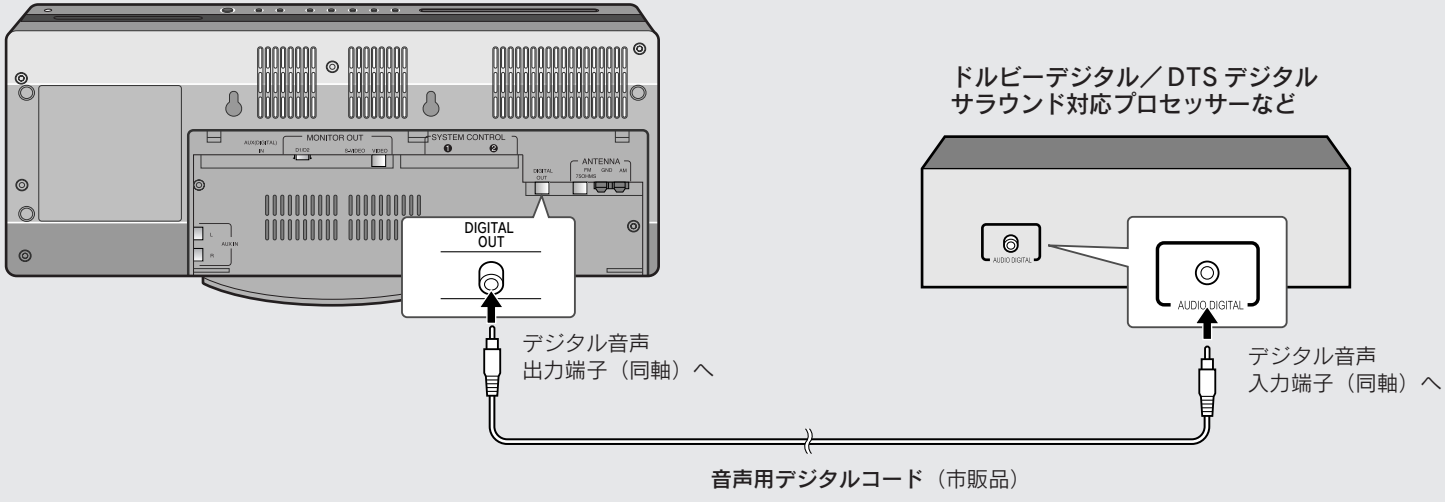
他の機器と接続して使う（続き）

■ サラウンド対応プロセッサーなどを接続する

（デジタル接続）

ドルビーデジタル/DTSデジタルサラウンド対応プロセッサーなどを接続することにより、DVD・CD の音声を他の機器でお楽しみいただけます。

- 接続をする前には、各機器の電源を切ってください。
- 各プラグは確実に差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書も合わせてごらんください。



デジタル音声出力端子に他の機器を接続するときは、DVD／アンプ初期設定で「DOLBY DIGITAL」を他の機器に合った音声出力に設定してください。（☞ P.50）

STREAM	5.1chのドルビーデジタル/DTSデジタルサラウンド対応プロセッサーなど
PCM	2ch のデジタル入力端子つきアンプなど

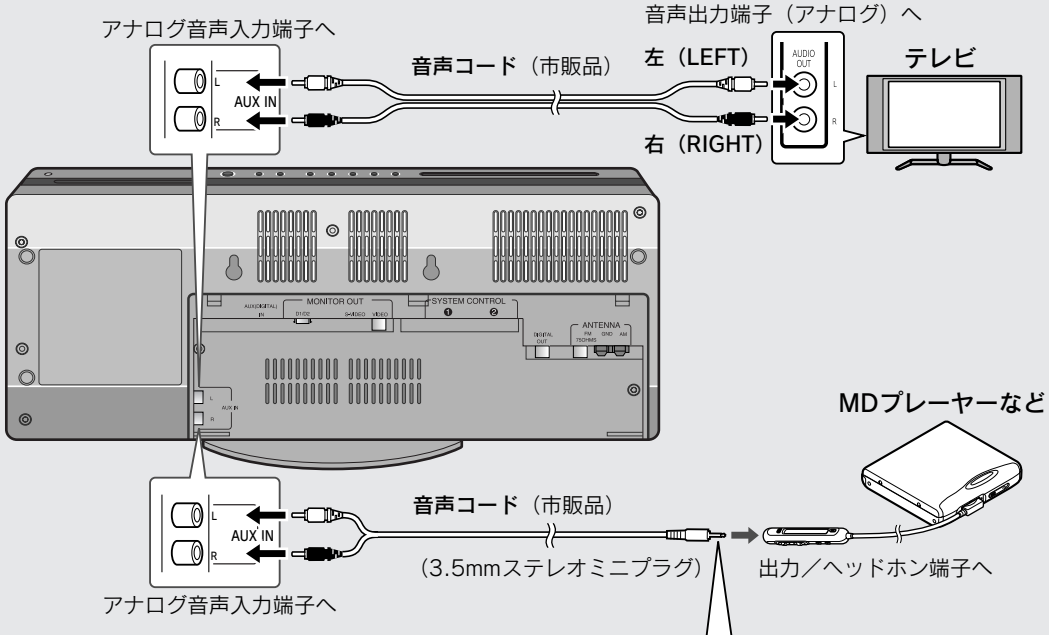
お知らせ

- デジタル音声出力端子からは、DVD/CD の音声のみ出力されます。その他の入力（MD、TUNER、AUX）からの音声は出力されません。
- 音声用デジタルコードは付属されていません。市販品をお買い求めください。

■ テレビやMDプレーヤーなどを接続する（アナログ接続）

音声コードを接続すると、テレビやMDプレーヤーなどの音声をこの製品のスピーカーで聞くことができます。

- 接続をする前には、各機器の電源を切ってください。
- 各プラグは確実に差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書も合わせてごらんください。



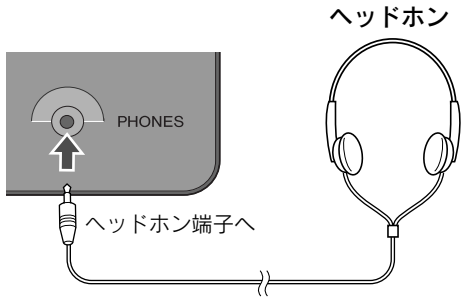
お知らせ

- 音声コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。
- 音声コードは抵抗の入っていないものをお買い求めください。
  抵抗の入っている音声コードを使うと、音が小さくなります。

シャープ1ビットポータブルMDプレーヤーを接続する場合は、ヘッドホン端子が4極プラグになっていますので、専用の接続コードが必要です。

くわしくは、ポータブルMDプレーヤーの取扱説明書をごらんください。

■ ヘッドホンを接続する



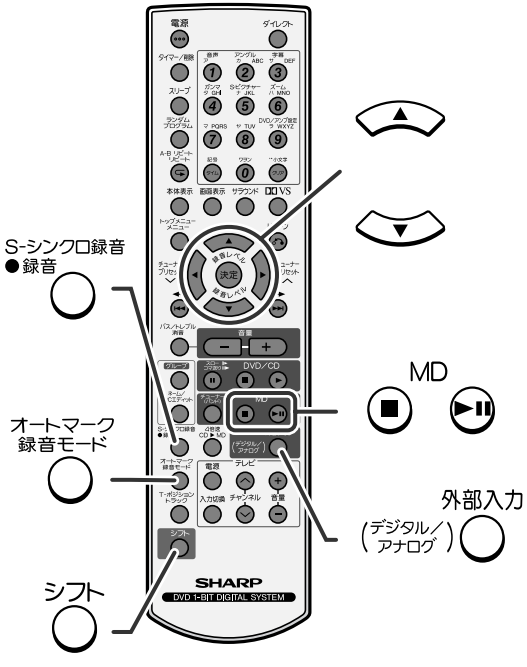
- プラグを抜き差しするときは、音量を下げてから行ってください。
- インピーダンス16～50Ω（推奨32Ω）で直径3.5mmステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。
- ヘッドホンを接続すると、すべてのスピーカーから音は聞こえなくなります。

音のエチケット

- 楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、十分気をつけましょう。
- 夜間にお使いになるときは、ご近所のご迷惑にならないよう、音量を小さくするか、ヘッドホンでお楽しみください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、耳をあまり刺激しないよう音量を小さくしてお楽しみください。

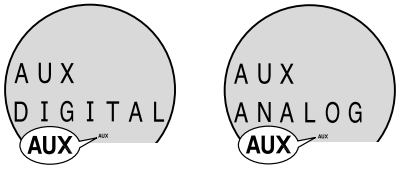
他の機器の再生音を聞いたり、録音する

はじめに：
1. 他の機器の電源を入れる。
2. 録音用 MD を入れる。



他の機器の再生音を聞く

❶ (デジタル/アナログ)外部入力 を押して、"AUX DIGITAL"（オグジュアリー デジタル）または "AUX ANALOG"（オグジュアリー アナログ）を選ぶ。



DVD プレーヤー部の FUNCTION を押しても選べます。

❷ 接続した機器を再生する。

❸ この製品で音量を調整する。

MD/CD プレーヤーなどから MD に録音する（サウンドシンクロ録音）

❶ (デジタル/アナログ)外部入力 を押して、"AUX DIGITAL"（オグジュアリー デジタル）または "AUX ANALOG"（オグジュアリー アナログ）を選ぶ。

❷ オートマーク録音モード を押して、録音モードを選ぶ。（☞ P.58）

❸ シフト を押したまま S-シンクロ録音●録音 を押して、録音の待機状態にする。

"S-SYNC" が点灯します。

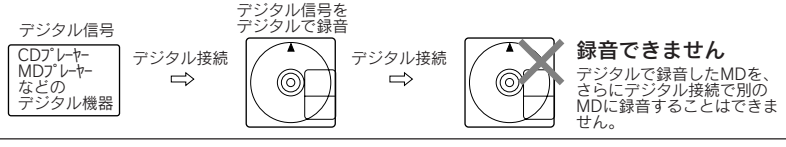
❹ 他の機器を再生すると、録音が開始します。

■ 録音を停止するには

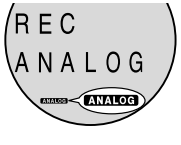
MD■ を押す。

デジタル録音に関するご注意

デジタル入力で録音したMDを、さらに別のMDやDATなどにデジタル録音（コピー）することはできません。これは、SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）により定められた規格です。
なお、アナログ入力にはこのような制限はありません。



このときは、オートマーク録音モード を３秒以上押して、"REC ANALOG"（レコード アナログ）を選んでください。



テレビなどの音声をMDに録音する
（マニュアル録音）

❶ 録音の準備をする。
（サウンドシンクロ録音 ☞P.88 操作❶～❷）

❷ シフト を押したまま オートマーク録音モード を押して、曲番のつけかたを選ぶ。

（ひと続きの曲として録音します。）
OFF
A. MARK
⇨
（再生音に1秒以上無音があるときに自動的に曲番がつきます。）
ON
A. MARK
⇩
5m
T. MARK
（5分ごとに曲番がつきます。）
⇦
10m
T. MARK
（10分ごとに曲番がつきます。）
⇧

❸ S-シンクロ録音 ●録音 を押して、録音の待機状態にする。

❹ 他の機器を再生する。

❺ 録音したいところで…
MD ▶II を押す。
録音が始まります。

■ 録音を一時停止するには

MD ▶II を押す。

再び録音を始めるには、もう一度押します。

■ 録音を停止するには

MD ■ を押す。

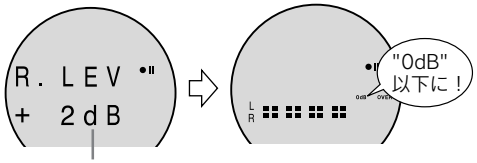
録音レベルの調整について

録音をする前に、次の方法で調整することができます。

① **接続した機器を再生する。**

② **S-シンクロ録音 ●録音 を押して、録音の待機状態にする。**

③ **チューニング▲ 録音レベル▼ または 録音レベル▼ チューニング▲ を押して、録音レベルを調整する。**



-4dB ～ +10dB

- 録音レベルを調整したあと、約3秒後にレベルメーター表示に戻ります。
- 最も大きなレベルで“0dB”をこえないように調整してください。低すぎると音が小さくなり、高すぎるとひずみが増えます。
- 録音レベルは、-4dBから+10dBまで2dBステップで調整することができます。
- 録音レベルは、録音中にも調整することができます。

④ **録音レベルを調整したあと、接続した機器を停止する。**

⑤ **サウンドシンクロ録音やマニュアル録音の手順❶から操作する。**

お知らせ

■ **サウンドシンクロ録音**

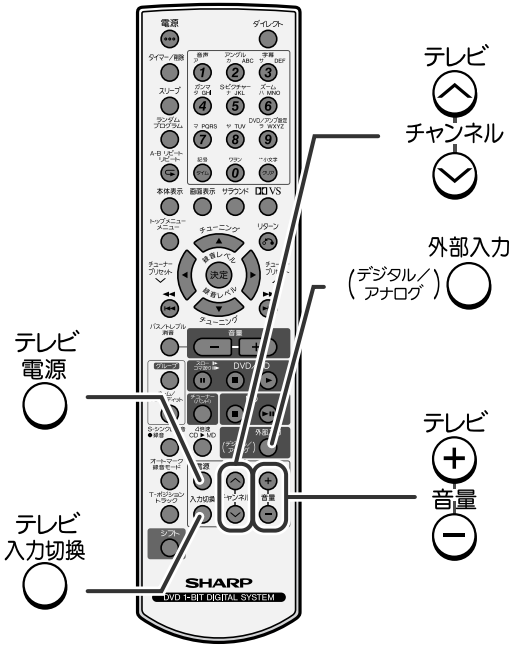
- オートマークの設定に関係なく再生音に1秒以上無音があると曲番がつきます。
- 録音中に MD ▶II を押しても一時停止することはできません。
- 再生音が入力されなくなると、録音は一時停止します。
- サウンドシンクロ録音のときは、停止後サウンドシンクロ録音モードが解除されます。

■ **マニュアル録音**

- 曲番が多すぎたり、少ないときは、録音が終わったあとMD編集（**コンバイン・デバイド** ☞P.76）で曲番を修正してください。
- オートマークによる5分おき、10分おきの曲番は、正確な時間につかないことがあります。
- 「ON A.MARK（オン オートマーク）」で録音中に雑音が多いときは、曲番が正しくつかないことがあります。このときは、「OFF A.MARK（オフ オートマーク）」で録音してください。

テレビを操作する

本機のリモコンで、シャープ製テレビの一部機能を操作することができます。



テレビを見るときは

❶ テレビ電源 を押して、テレビの電源を入れる。

❷ テレビチャンネル または テレビチャンネル を押して、テレビのチャンネルを合わせる。

❸ テレビ音量 または テレビ音量 を押して、テレビの音量を調整する。

本機のスピーカーから音を聞きたいときは

本機の電源を入れて…

(デジタル/アナログ)外部入力 を押して、"AUX ANALOG"（オグジュアリー アナログ）を選ぶ。

接続方法は、87 ページをごらんください。

BS 放送を見るときは

❶ 本機の電源を入れて…

(デジタル/アナログ)外部入力 を押して、"AUX DIGITAL"（オグジュアリー デジタル）を選ぶ。

❷ BS チューナーの電源を入れる。

❸ テレビ入力切換 を押して、テレビの入力を「ビデオ 1・ビデオ 2」などに設定する。

接続方法は、85 ページをごらんください。

ご 注 意

シャープ製のテレビでも、一部の機種は操作できないものがあります。

DVD プレーヤー部を壁にかけて使う

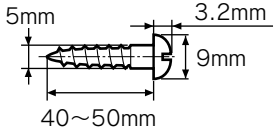
DVD プレーヤー部は壁にかけて使用することができます。

■ 準備

DVD プレーヤー部のスタンドを取りはずします。
（☞ P.16）

■ 用意するもの

ネジ（市販品）２本
ご用意いただく際は、販売店や工務店にご相談ください。



アンカー（市販品）２本
ご用意いただく際は、販売店や工務店にご相談ください。

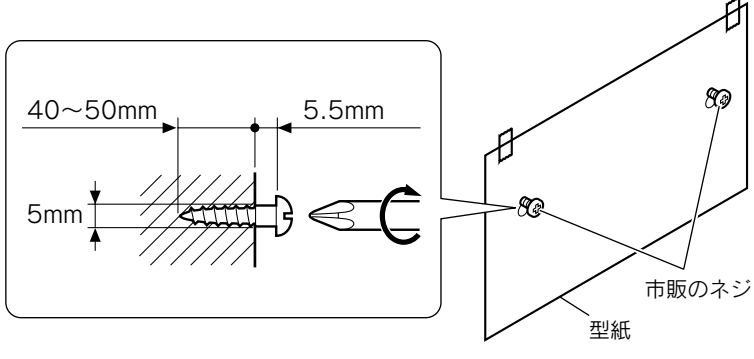
■ 取りつけ方法

① 型紙を壁にはりつけ、型紙のネジ止め位置に、市販のネジ（2本）を止めます。

ネジ頭はDVD プレーヤー部がかけられるよう、壁から5.5mm 浮いた状態にします。

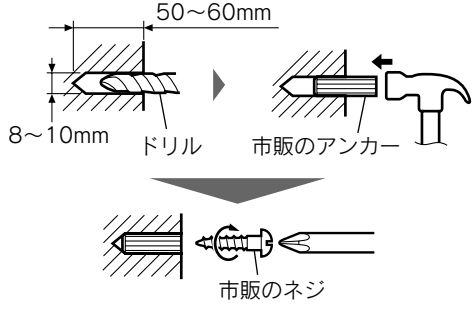
木壁に取り付けるとき

じょうぶな壁を選び、一定の厚み（5cm 以上）のある所へ取り付けてください。
ベニヤ板など薄い板壁やボード版（石こう板）には、直接取り付けないでください。

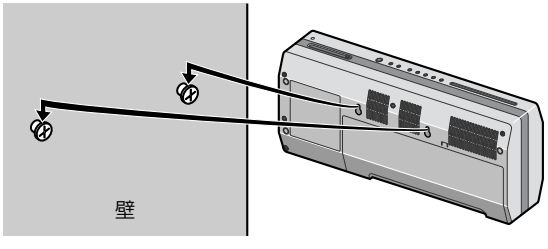


コンクリート壁に取り付けるとき

ドリルを使い壁に穴をあけ、市販のアンカーを打ち込んだあと、市販のネジを止めます。
市販のアンカーは、壁の表面と同じ高さまで打ち込んでください。



② 型紙を取りはずし、DVD プレーヤー部のフックにネジの頭を引っ掛け、しっかりと固定します。



お知らせ

- 取り付ける壁面は十分な強度があることを確認してください。（壁に補強材の入っている部分に取り付けてください。）
- 取り付け位置には十分ご注意ください。頭を打ったりしてケガの原因となることがあります。
- 壁面に取り付けるネジ類は、材質によって仕様が異なるため、付属していません。取り付ける場合は、適切なものを選んでください。
- 壁面の強度をよく確認してください。強度不足や、取り付けの不備による落下などの事故につきましては、当社は一切責任を負いません。
- **不安定な取り付けは、落下の危険性があります。**
  ご自分での取り付けが不安な方は、お買いあげの販売店や工務店にご相談ください。

4倍速録音の制約について

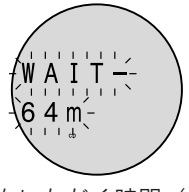
この製品は、CD から MD へ録音をするとき通常の４分の１の時間で録音することができます。
４倍速録音では、著作権保護を目的とした制約があります。

「著作権保護を目的とした制約」

CD から MD へ一度４倍速録音をしたあと、再び同じ CD から４倍速録音するときは、次に録音を始めるまでの、待ち時間が必要となります。

同じ CD は、１回目の４倍速録音を開始してから 74 分経過した後で、２回目の４倍速録音が開始できます。

たとえば、CD から MD への４倍速録音が 10 分間で終了した場合、再び同じ CD から４倍速録音をするときには、64 分間お待ちいただくことになります。

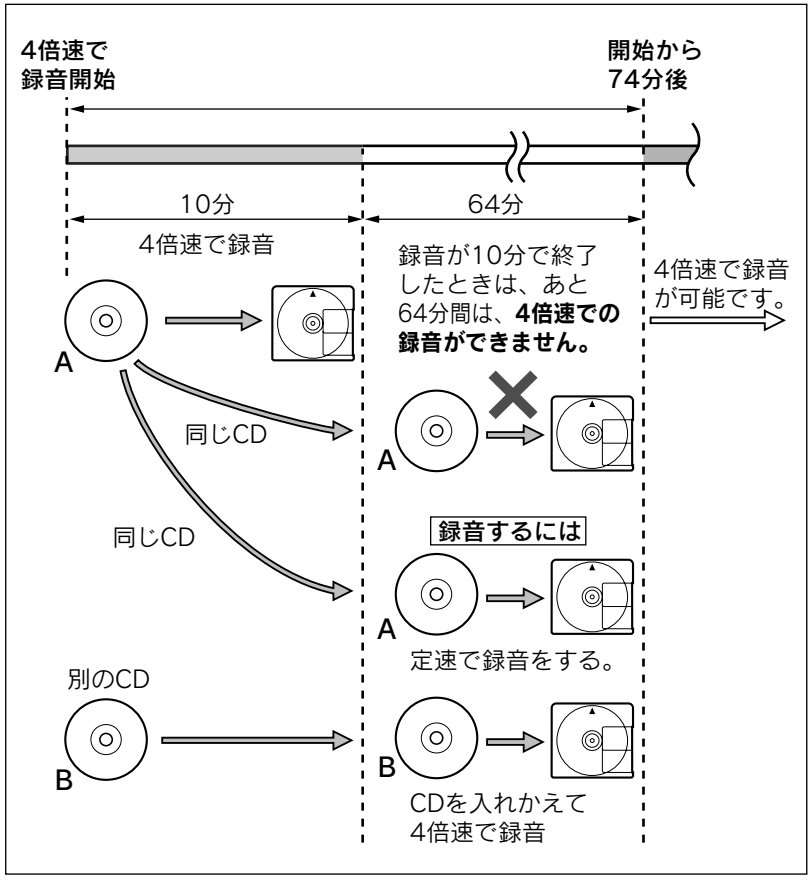


お待ちいただく時間（64 分）

同じ CD から 74 分以内に２回目の録音をしたい場合は、定速で録音してください。

次のようなときも、７４分間は、４倍速で録音をすることができません。

- ４倍速録音を途中で止めたり、１曲でも４倍速録音した CD から、もう一度録音しようとしたとき。
- 20枚のCDから4倍速録音したあと、21枚目を録音しようとしたとき。



MDのシステム上の制約

こんなとき	このような制約があります
MDの最大録音時間に満たなくても“DISC FULL”が表示されることがあります。	・ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため、録音時間が少なくなります。 ・最大録音曲数（255曲）まで録音されたMDは、それ以上録音することはできません。
MDの最大録音曲数（255曲）に満たなくても“TOC FULL”が表示されることがあります。	・MDシステムでは、TOCにMD上の録音場所の区切りが登録されます。 何度も部分的に消去して録音をしたり、編集をくり返すと、曲数が最大（255曲）にならなくても、TOCの情報がいっぱいになり、録音できなくなります。 このようなMDは、全曲消去し、一度“BLANK MD”にすると、最初から使用できます。
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがあります。	・MDの録音残り時間を表示するとき、短い曲（ステレオ録音：12秒、モノラル録音・2倍長時間録音：24秒、4倍長時間録音：48秒）は、曲として数えられないことがあります。
MDに録音した時間と残りの時間の合計が最大録音時間と一致しないことがあります。	・通常は、1クラスタ（約2秒）を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約2秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。 また、MDにキズなどがあると、その部分は録音不可となるため、録音時間が少なくなります。
編集で曲と曲をつなげられないことがあります。	・録音、編集をくり返して行ったMDでは、コンバイン機能を使えないことがあります。 デジタル録音した曲とアナログ録音した曲をつなぐことはできません。 ・録音モード（モノラル録音、ステレオ録音、2倍長時間録音、4倍長時間録音）の異なる曲をつなぐことはできません。
録音された曲を早送り/早戻しすると、音がとぎれることがあります。	・録音、編集をくり返して行ったMDでは、早送り/早戻し中に音がとぎれることがあります。
タイトルの先頭に“LP:”を入力すると表示されないことがあります。	・2倍、4倍長時間録音（LP2･LP4）した曲の曲名の先頭に“LP:”を入力すると、“LP:”が表示されません。“LP”のあとに“:”以外の記号や文字を入力してください。

音楽著作権について

DVD 1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-MX1

放送やレコード、ディスク、テープなどの音楽作品は著作権法によって保護されています。したがって、次のような場合には権利者の許諾が必要です。

■ 放送やレコード、ディスク、テープなどから録音したテープ、MDを売る、配る、譲る、貸すときなど。

■ 営利（店のBGMなど）のために、レコード、ディスク、テープなどを演奏するとき。

- くわしい内容や申請、その他の手続きについては「音楽著作権協会」の本部またはもよりの支部へお問い合わせください。
- この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

お問い合わせ先：（社）私的録音補償金管理協会 ☎(03) 5353-0336

日本音楽著作権協会

本部	☎(03) 3481－2121	横浜支部	☎(045) 662－6551
北海道支部	☎(011) 221－5088	静岡支部	☎(054) 254－2621
盛岡支部	☎(019) 652－3201	中部支部	☎(052) 583－7590
仙台支部	☎(022) 264－2266	北陸支部	☎(076) 221－3602
長野支部	☎(026) 225－7111	京都支部	☎(075) 251－0134
大宮支部	☎(048) 643－5461	大阪支部	☎(06) 6244－0351
上野支部	☎(03) 3832－1033	神戸支部	☎(078) 322－0561
東京支部	☎(03) 3562－4455	中国支部	☎(082) 249－6362
西東京支部	☎(03) 5321－9530	四国支部	☎(087) 821－9191
東京イベント・コンサート支部	☎(03) 5321－9881	九州支部	☎(092) 441－2285
立川支部	☎(042) 529－1500	鹿児島支部	☎(099) 224－6211
		那覇支部	☎(098) 863－1228

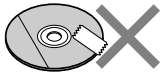
DVD・CDやMDの取り扱いについて

DVD・CD

■ 取り扱い上のご注意

- ディスクを持つときは、再生面（印刷されていない面）に触れないように、必ずふちを持ってください。
  再生面のホコリやキズ、変形などは、雑音や動作不良の原因となることがあります。
- ケースから出し入れするときは、再生面に触れないようにしてください。

- 印刷面に硬い鉛筆やボールペンなどで文字を書かないでください。再生面にも影響をおよぼし、動作不良の原因となります。
- ラベルやシールを貼らないでください。



- セロハンテープやラベル（レンタルCDなど）などののりがはみ出していたり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。
  そのまま再生すると、故障の原因となることがあります。

- 特殊形状（ハート型や八角形やふち取りをしているものなど）のディスクは、使用しないでください。
  故障の原因となります。

■ お手入れ

ディスクに汚れやキズがあると、映像や音声が乱れることがあります。
ディスクを取り出し、汚れを落としてから、再生してください。

- 再生面に指紋や汚れがついたときは、やわらかい布で、中央からふちの方向にまっすぐに軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽くふき取り、乾いた布でから拭きしてください。
- ふちから中央の方向にふいたり、回転方向に回しながらふくとキズがつくことがあります。

次のものは使用しないでください。

- ベンジンやアルコールなどの溶剤
- 研磨剤を含むクリーナー
- レコード用のクリーナー
- 静電防止剤

MD

■ 種類について

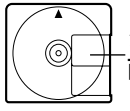
MDには、再生専用と録音・再生用があります。

再生専用MD

シャッターが片面（裏面）にあります。

市販の音楽ソフトはこのタイプです。CDと同じ光ディスクを使っています。
録音や編集はできません。

録音・再生用MD



シャッターが両面にあります。

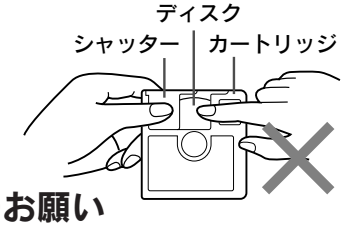
録音もできる「生ディスク」です。光磁気ディスクを使っているため、くり返して録音することができます。

■ 取り扱いについて

MDはカートリッジに収納されていますので、ホコリ、キズ、指紋などがつきにくくなっています。ただし、カートリッジのすき間から入る砂ボコリやカートリッジのよごれなどが誤動作の原因となることもありますので、次のことに注意してください。

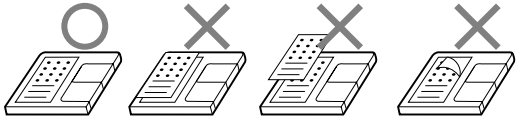
ディスクに直接触れないでください。

シャッターを開けて、ディスクに直接触れないでください。
シャッターは無理に開けると壊れます。



■ ラベルを貼り付けるときのお願い

必ず次のことをお守りください。正しく貼り付けないと、MDが内部につまって取り出せなくなることがあります。



- 指定の場所（エリア内）に正しく貼る。
  （指定エリア以外には貼り付けないでください。）
- ラベルを重ねて貼り付けない。
- ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り換えて使用する。

■ お手入れ

カートリッジ表面にホコリやゴミなどがついたときは、乾いた布でふき取ってください。

■ ATRAC（音声圧縮技術）について

ATRAC（アトラック）（Adaptive TRansform Acoustic Coding ）は、人の耳には聞こえない音をカットして音楽データを約 1/5 に圧縮します。
聴覚心理学に基づいてデータが取捨選択されるので、聴感上の音質が損なわれにくくなっています。
この機器では、音楽データを約1/10または1/20に圧縮するATRAC3（アトラック）という圧縮方式も採用しています。

この方式を用いることにより、２倍・４倍のステレオ長時間録音を可能としています。

■ 音とびガードメモリー

再生中は常に半導体メモリーに約10秒間の情報を蓄積します。
このため、外部からの衝撃によりピックアップが情報を一時的に読み取れなくなっても、蓄積した情報を送ることによって、音が途切れることなく再生することができます。

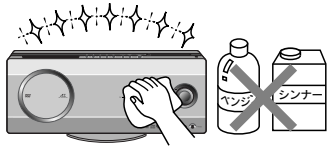
共通

■ 保管上のご注意

ホコリやキズ、変形などを避けるため、必ず専用ケースに入れて保管してください。
次のような所に置かないでください。

- 直射日光が長時間あたる場所。（特に密閉した自動車内等）
- 温度の高い所や湿度の高い所。
- 専用ケースの中に砂やホコリが入りやすい場所。（海辺や砂地等）

■ 本体のお手入れ



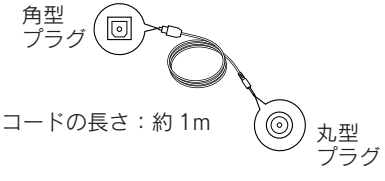
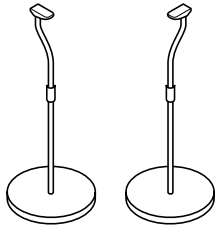
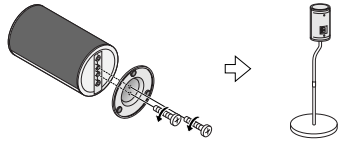
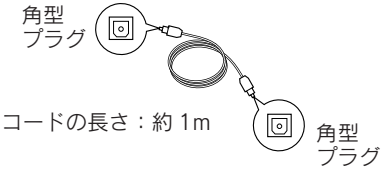
- やわらかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

ご注意

- **ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使わないでください。また、殺虫剤などの揮発性のあるものをかけないでください。表面の仕上げをいためたり、変色の原因となることがあります。**
- 油をささないでください。故障の原因となります。

■ 別売品について

この製品を正しく動作させるために、別売品は指定のものをお使いください。

光デジタルケーブル	フロアー型スピーカースタンド
形名：AD-M1DC  	形名：AD-AT11ST  取り付けかたについては、フロアー型スピーカースタンドの取扱説明書をごらんください。 
形名：AD-M3DC  	

「故障かな？」と思ったら

次のようなときは故障でないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、102ページの「**保証とアフターサービス**」をごらんのうえ修理を依頼してください。

■ 共通

スピーカーから音が出ない。
- ➡ 音量が“0”になっていませんか。 ☞ P.26
- ➡ ヘッドホンをつないでいませんか。 ☞ P.87
- ➡ スピーカーは正しく接続されていますか。 ☞ P.18
- ➡ 4倍速録音中ではないですか。 ☞ P.58

スピーカーの音にばらつきがある。
- ➡ スピーカーコードの ⊕、⊖ をまちがえていませんか。 ☞ P.18、19

再生中に雑音が出る。
- ➡ テレビ、パソコン、携帯電話などの機器が本機の近くにある場合は、離してください。

ボタンを押しているうちに正常な動作をしなくなった。
- ➡ 一度、電源を切り、操作をやり直してください。
  それでも動作しないときは、リセット操作をしてください。
  ☞ P.98

テレビの映像に乱れや雑音が生じる。
- ➡ 室内アンテナを使用しているテレビを近くに置いていると、テレビに映像の乱れや雑音が生じることがあります。

タイマー再生やタイマー録音が動作しない。
また、時刻が表示されない。
- ➡ 各タイマーの設定時刻が重なっていませんか。
- ➡ 電源コードを抜いたり、停電がありませんでしたか。
  時計を合わせ直してください。 ☞ P.27

表示部が暗い。
- ➡ 表示部の明るさの設定が“ON DIMMER”（オン ディマー）または“AUTO DIMMER”（オート ディマー）になっていませんか。
  “OFF DIMMER”（オフ ディマー）にしてください。 ☞ P.23

電源が入らない。
- ➡ 電源コードはつながっていますか。 ☞ P.22
- ➡ システム接続コードは正しく接続されていますか。 ☞ P.18

映像が出ない。
- ➡ テレビの電源は入っていますか。 ☞ P.28
- ➡ テレビの入力を切り換えていますか。 ☞ P.28
- ➡ 映像出力の設定は合っていますか。 ☞ P.24、25

■ リモコン

リモコンで操作できない。
または、正しい動作をしない。
- ➡ 乾電池の⊕ ⊖の向きが逆になっていませんか。 ☞ P.22
- ➡ 乾電池が消耗していませんか。
- ➡ リモコンの送信部をDVDプレーヤー部のリモコンセンサーに正しく向けていますか。☞ P.22
- ➡ リモコンセンサーと距離が遠すぎませんか。または、近すぎませんか。☞ P.22
- ➡ リモコンセンサーに強い光（インバーター蛍光灯や直射日光など）があたっていませんか。 ☞ P.22
- ➡ 他の機器のリモコンを同時に操作していませんか。

リモコンで電源が入らない。
- ➡ 電源コードはつながっていますか。 ☞ P.22
- ➡ システム接続コードは正しく接続されていますか。 ☞ P.18
- ➡ 乾電池は入っていますか。 ☞ P.22

■ DVD・CD

ディスクを入れても "CD NO DISC" や "Can't READ" が表示される。再生音がとぎれる。
- ➡ ディスクの裏表をまちがえていませんか。
- ➡ ディスクに汚れやキズがありませんか。
- ➡ 規格外のディスクを使用していませんか。
- ➡ 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
- ➡ つゆつき現象が起きていませんか。 ☞ P.98

操作ボタンを押しても動作をしない。
また、映像や曲の途中で止まってしまい、正しい再生をしなくなる。
- ➡ ディスクに汚れやキズがありませんか。
- ➡ 規格外のディスクを使用していませんか。
- ➡ 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
- ➡ つゆつき現象が起きていませんか。 ☞ P.98

映像や再生音がとぎれる。
- ➡ ディスクに汚れやキズがありませんか。
- ➡ 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
- ➡ つゆつき現象が起きていませんか。 ☞ P.98

電源が入っているのに動かない。
- ➡ DVD（リージョン番号2、ALL）、音楽CD以外のものが入っていませんか。 ☞ P.15

再生画像が出ない。（音声が出ない）
- ➡ 映像コード・スピーカーコードが正しく接続されていますか。 ☞ P.18、20、21
- ➡ DVD（リージョン番号2、ALL）、音楽CD以外のものが入っていませんか。 ☞ P.15
- ➡ ディスクに汚れやキズがありませんか。☞ P.94
- ➡ ディスクの表裏をまちがえていませんか。 ☞ P.28
- ➡ テレビの入力が**「ビデオ1・ビデオ2」**などになっていますか。 ☞ P.28
- ➡ 電源は入っていますか。 ☞ P.23

■ MD

MDを入れても "MD NO DISC" や "Can't READ ※" が表示される。再生音がとぎれる。
- ➡ ディスクにキズがついていませんか。
- ➡ 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
- ➡ つゆつき現象が起きていませんか。 ☞ P.98
- ➡ Hi-MDを使用していませんか。
  この製品では、「Hi-MD」ディスクや「Hi-MD」フォーマットされたディスクを再生することはできません。

録音ができない。
- ➡ MDの誤消去防止用ツマミが開いていませんか。 ☞ P.57
- ➡ 再生専用MDに録音しようとしていませんか。 ☞ P.94
- ➡ "TOC FULL ※" や "DISC FULL" になっていませんか。
  ☞ P.98、99

グループ録音したMDでグループが使えなくなった。
また、名前が正しく表示されない。
- ➡ 他の機器でTOCデータが書きかえられた可能性があります。

■ ラジオ

放送に "シー"、"ザー" という連続音が入る。
- ➡ テレビやコンピュータ、ワープロなどの近くでラジオ放送を受信すると雑音が入ります。このようなときは、雑音の発生しやすいところから離してみてください。
- ➡ アンテナの方向が悪くありませんか。 ☞ P.19

放送がよく受信できない。雑音も多い。
- ➡ アンテナ線の近くに電源コードがある場合は離してください。
- ➡ 受信状態が改善されない場合は、屋外アンテナを設置する方法もあります。 ☞ P.100

登録した放送局を呼び出すことができない。
- ➡ 電源コードを抜いたり、停電がありませんでしたか。
  登録し直してください。 ☞ P.35
- ➡ リセット操作をしませんでしたか。登録し直してください。 ☞ P.35

「故障かな？」と思ったら（続き）

異常が起きたら

この製品を使用中に、強い外来ノイズ（衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けたときや誤った操作をしたときなどに、正しく表示しなくなったり、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。
このようなときは、次のようにリセット操作をしてください。

リセット操作

❶ 電源が切れているときに…
DVD プレーヤー部の DVD ▲ と TUNER (BAND) を押したまま、POWER を押す。

❷ **リモコンの ▲ または ▼ を押して、“SYS INIT” を選ぶ。**
SYS INIT： システム動作がリセットされます。
（DVD/アンプの初期設定は残ります。）

❸ **リモコンの 決定 を押す。**

SYS
COMPLET

つゆつき現象について

次のようなときには、内部のレンズやディスクにつゆ（水滴）がつくことがあります。

- 暖房をつけた直後。
- 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
- 冷えた場所（部屋）から急に暖かい部屋に移動したとき。

つゆがつくと……ディスクの信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

つゆを取るには…ディスクを取り出して電源を入れておけば、約 1 時間位でつゆが取り除かれ、正常な動作をするようになります。

こんな表示が出たときは

DVD 1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-MX1

■DVD プレーヤー表示

表　示	意　味	このようにしてください
BLANK MD（ブランク）	・MDに何も記録されていない。（音楽もディスク名も記録されていない。）	・再生するときは、録音された MD と取り換える。
Can't COPY（キャント コピー）	・コピー禁止のディスクから録音しようとした。	・コピー可能なディスクから録音する。
Can't EDIT（キャント エディット）	・MD 編集できない。	・別の曲を編集してみる。 ・グループトップムーブ、グループチェンジができないときは、不要なタイトルを消す。 ・ノングループの曲を結合できないときは、グループアレンジを行ってから、再度行ってみてください。 ・グループリザーブで新しくグループを作成したときは、グループ名をつけてください。
Can't play（キャント プレイ）	・再生できないディスク（ビデオCDなど）を再生しようとした。 ・リージョン番号が、「2」、「ALL」以外の DVD を再生しようとした。 ・ディスクが表裏逆。 ・情報が記録されていない CD-R/CD-RW ディスクを入れた。	・再生可能なディスクに取り換える。 ・ディスクを入れ直す。 ・正しく記録された CD-R/CD-RW を入れる。
Can't READ ※（リード） （※は数字や記号です。）	・ディスクにキズがある。 ・TOC 情報が読めない。 ・規格外のディスクや MD。	・ディスクや MD を入れ直すか、取り換える。 ・オールイレースをして、録音をやり直す。
Can't REC（キャント レコード）	・ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。	・録音をやり直すか、MD を換えてみる。
Can't WRITE（キャント ライト）	・ショックやディスクのキズで TOC 情報が正しく作成できない。	・電源を切って、もう一度書き込みをしてみる。 書き込み中はショックを与えないでください。
DISC FULL（ディスク フル）	・MDに録音できる空きがない。	・他の録音用 MD と取り換える。
EDIT OVER（エディット オーバー）	・マイトラックエディット（☞ P.61）で25曲目を登録しようとした。	・マイトラックエディットは最大24曲までしか登録できません。他の曲の登録を取り消して、登録し直してください。

表　示	意　味	このようにしてください
エラー Er- ※※ （※※は数字や記号です。）	・アンプまたはMD動作異常 ・DVD通信異常	・電源を切って、再度電源を入れてみる。また、リセット操作（☞ P.98）をしてみる。それでもエラー表示が出るときは、お買いあげの販売店に修理をお申しつけください。
グループ ディスク GROUP DISC	・グループ録音したMDをグループモードに設定しないで編集をしようとした。	・グループモードに設定して編集をする。
グループ フル GROUP FULL	・グループ数が99を超えている。	・不要なグループを消す。
ノー ディスク MD NO DISC	・MDが入っていない。 ・MDのデータが読めない。	・MDを入れる。 ・MDをもう一度入れ直す。
ネーム フル NAME FULL	・ディスク名･グループ名･曲名が40文字を超えている。	・ディスク名・グループ名・曲名を短くする。
ノー ディスク CD NO DISC	・ディスクが入っていない。 ・ディスクが表裏逆。	・ディスクを入れる。 ・ディスクを入れ直す。
ノー トラック NO TRACK	・再生、編集する曲がない。	・曲のあるグループ、ノングループを選択する。
ノット オーディオ NOT AUDIO	・オーディオ用でないデータが記録されている。	・ディスクやMDを取り換える。
ノット NOT CD	・CD以外のディスクを（4倍速 CD▶MD）ボタンで録音しようとした。	・ディスクにあった操作で録音する。
プレイ PLAY MD	・再生専用MDに録音や編集をしようとした。	・録音用MDと取り換える。
プロテクト PROTECT	・MDの誤消去防止ツマミが開いている書き込み禁止のMDに録音や編集をしようとした。	・誤消去防止ツマミを閉じて、録音や編集をやり直す。
トック フォーム TOC FORM ※※ （※※は数字や記号です。）	・記録されているTOC情報がMDの規格に合っていなかったり、読めない。	・他のMDと取り換える。 ・オールイレースをして、録音をやり直す。

表　示	意　味	このようにしてください
トック フル TOC FULL ※ （※※は数字です。）	・曲番を登録する空きがない。 ・TOCに文字情報を登録する空きがない。 ・グループ録音ができない。 ・グループエントリーができない。 ・グループリザーブができない。	・他のMDと取り換える。 ・不要な文字を消す。 ・不要なディスク名･グループ名･曲名を消す。
ウェイト WAIT- ※※ m ↓ ガード GUARD （※※は数字です。）	・4倍速での録音ができない。	・表示された時間だけ録音を待つか、定速で録音する。
ディスク ? DISC	・データに異常がある。 ・規格外のMD。 ・MDが正しく入っていない。	・他のMDと取り換える。 ・MD ▲ ○を押してみる。
グループ フォーム ? Gr Form. ↓ ニュー フォーム New Form.?	・グループ録音ができない。 ・グループエントリーができない。 ・グループリザーブができない。	・グループモードを解除する。 ・決定を押して、ディスク名を消す。 （☞ P.69）
電源が切れて TIMER ○ 点滅	・保護回路が働いた。	しばらくして電源を入れてみる。それでも点滅するときは、お買いあげの販売店に修理をお申しつけください。

こんな表示が出たときは（続き）

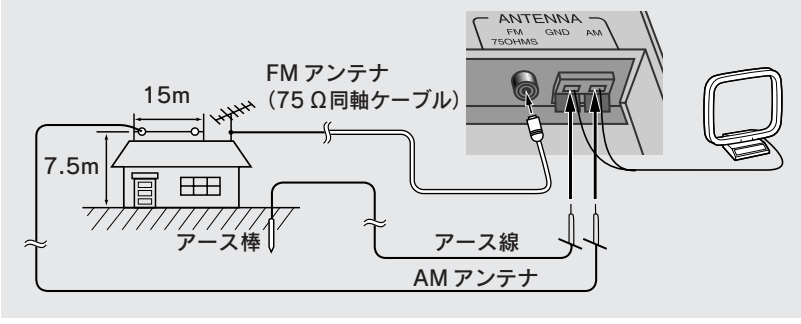
■テレビ画面表示

テレビ画面表示	エラーの内容
不明	本機で再生できないディスクを入れたり、裏表を逆に入れたとき。
Different Region Code	リージョン番号が「2」「ALL」以外の DVD を入れたとき。
⊘	・誤った操作をしたとき。 ・操作を禁止されている場面で操作したとき。 ・本書に記載されている操作を、ディスク側で禁止しているとき。

屋外アンテナの接続

DVD 1-BIT DIGITAL SYSTEM SD-MX1

付属のアンテナでラジオ放送がきれいに聞こえないときは、屋外アンテナを設置することができます。



- アンテナ工事には、技術と経験が必要です。また、高い所での作業は危険です。設置するときは、販売店に相談してください。
- AM用外部アンテナを接続するときは、AM用ループアンテナを接続したままにしておいてください。

屋外アンテナの設置場所について

- 放送局の送信アンテナがある方向に立てます。
- ビルや山のかげなど、障害物がある所では、最もよく受信できる所に立てて方向も変えてみます。
- 自動車や電車の雑音が入らないよう、道路や線路から離れた所、またはそれらが見えない所に立てるようにしてください。
- 送電線の下には立てないでください。
  送電線にアンテナが触れると大変危険です。
- 落雷のおそれがありますので、あまり高い所には立てないでください。

アース棒について

アースの接続（接地）は、万一の感電事故を防止することができます。
アース棒を地中に埋めるか、または鉄製の水道管につないでください。
危険ですので、ガス管にはつながないでください。

仕様

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

DVDプレーヤー／共通部

水平解像度	DVD:500本
信号方式	NTSCカラー方式準拠
読み取り方式	非接触光学式読み取り方式 (半導体レーザー使用)
周波数特性	20～20,000 Hz(+1/-3dB)(JEITA※)
ワウ・フラッター	測定限界(±0.001%W.PEAK)以下(JEITA※)
音声入力端子	デジタル外部入力：角型光入力×1 アナログ外部入力：500mV(47kΩ) ピンジャック(L/R)×1
音声出力端子	ヘッドホン出力:16～50Ω(推奨32Ω) 直径3.5mmステレオミニジャック×1 デジタル外部出力:同軸出力×1
映像出力端子	映像出力×1 S映像出力×1 D1/D2映像出力×1
システム端子	丸型専用×2
最大外形寸法	430(幅)×192(高さ)×100(奥行)mm (スタンド部含む、JEITA※) 430(幅)×171(高さ)×88(奥行)mm (スタンド部含まず、JEITA※)
質量	約2.3kg

ミニディスク部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
録音方式	磁界変調オーバーライト方式
読み取り方式	非接触光学式読み取り方式 (半導体レーザー使用)
回転数	約400～900 rpm
エラー訂正方式	アドバンスド クロス インターリーブ リードソロモン コード(ACIRC)
音声圧縮/伸長方式	ATRAC(Adaptive TRansform Acoustic Coding)/ ATRAC3 24ビット演算方式
チャンネル数	ステレオ2チャンネル/モノラル (長時間モード)1チャンネル
サンプリング周波数	44.1 kHz
周波数特性	20～20,000 Hz(+1/-3dB)(JEITA※)
ワウ・フラッター	測定限界(±0.001%W.PEAK)以下(JEITA※)

チューナー部

受信周波数	FM:76.0～108.0 MHz （TV音声 1～3CH) AM:522～1,629 kHz
回路方式	クオーツデジタルシンセサイザー方式 スーパーヘテロダインFM/AMチューナー
アンテナ	FM、AM、アース

タイマー／時計部

形式	デジタルクロック
タイマー	デイリータイマー/ワンスタイマー/ スリープタイマー

リモコン部

電源	DC 3 V(付属単4乾電池×2個)

サブウーハー／アンプ部

実用最大出力	総合：100W フロント：25W+25W(JEITA※) サブウーハー：50W(JEITA※)
A/Dノイズシェーピング	7次 ⊿Σ(デルタシグマ)変調
音声出力端子	スピーカー出力:4Ω
システム端子	丸型専用×2
電源端子	AC電源×1
電源	100V AC、50/60 Hz
消費電力	85W
形式	バスレフ型
スピーカー	ウーハー:16 cm×1
最大外形寸法	200(幅)×380(高さ)×443(奥行)mm(JEITA※)
質量	約11.3kg

フロントスピーカー部

形式	2ウェイ [防磁設計(JEITA※)]
スピーカー	ウーハー:8 cm×1、ツイーター:4 cm×1
インピーダンス	4Ω
最大入力	50W
最大外形寸法	105(幅)×205(高さ)×105(奥行)mm(JEITA※)
質量	約1kg×2

※ JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書（別添）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
  保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- **保証期間**
  お買いあげの日から１年間です。
  保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、DVD1ビットデジタルシステムの補修用性能部品を製造打切後、８年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（103 ページ）にお問い合わせください。

愛情点検

長年ご使用のオーディオ機器の点検を！

このような症状はありませんか？

- 電源コードやプラグが異常に熱い
- コゲくさい臭いがする
- 電源コードに深いキズや変形がある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

修理を依頼されるときは　出張修理

- 「故障かな？」と思ったら（96 ～ 98 ページ）を調べてください。
  それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

■ ご連絡していただきたい内容

品　　名：DVD1ビットデジタルシステム
形　　名：SD-MX1
お買いあげ日　（年 月 日）
故障の状況　（できるだけ具体的に）
ご住所　（付近の目印も合わせてお知らせください。）

お名前
電話番号
ご訪問希望日

■ 便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電　話（　　）　－

■ 保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ 修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は・・・ **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は・・・・・ **お客様相談センター** へ

お客様相談センター

■ 受付時間： ＊月曜～土曜：午前9時～午後6時
＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL **043-297-4649**	FAX **043-299-8280**
	〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	
西日本相談室	TEL **06-6621-4649**	FAX **06-6792-5993**
	〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72	

● 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

修理相談センター

● 修理相談センター（沖縄･奄美地区を除く）

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

ナビダイヤル **0570-02-4649**
当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、ＮＴＴより通話料金の目安をお知らせ致します。
（注）携帯電話・ＰＨＳからは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ 携帯電話／ＰＨＳでのご利用は・・・	（一般電話）	043-299-3863	06-6792-5511
○ ＦＡＸを送信される場合は・・・・・・・	（ＦＡＸ）	043-299-3865	06-6792-3221

○ 沖縄･奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にても承っております。

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄･奄美地区〕は････＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌 サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台 サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮 サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩 サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉 サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡 サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水鳥坂1170-1
	名古屋 サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢 サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都 サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	阪神 サービスセンター	06-6422-0455	〒661-0981	兵庫県尼崎市猪名寺3-2-10
中国地区	広島 サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松 サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡 サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄･奄美地区	那覇 サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

● 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

● 製品についてのお問い合わせは‥	
お客様相談センター	東日本相談室　TEL **043-297-4649**　FAX **043-299-8280** 西日本相談室　TEL **06-6621-4649**　FAX **06-6792-5993**
《受付時間》 月曜～土曜：午前９時～午後６時　　日曜・祝日：午前 10 時～午後５時（年末年始を除く）	

● 修理のご相談は‥	103 ページ記載の『**お客様ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。
● シャープホームページ	**http://www.sharp.co.jp/**

シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

Printed in China
TINSJA024SJZZ
05J N YT ③

SD-MX1

DVD1ビットデジタルシステム

SHARP